

ヤングケアラーの実態に関する調査

結果報告書

令和4年10月

石川県

目次

調査概要	3
調査結果	
Ⅰ. 小学6年生	4
1. 基本分析	5
(1) 基本情報	5
(2) ふだんの生活について	7
(3) 家庭や家族のことについて	10
2. 追加分析	19
(1) 家族の世話の有無による学校生活等の状況	19
(2) 性別による世話の状況の違い	22
(3) 家族構成による世話の状況の違い	27
(4) 平日1日あたりの世話に費やす時間による生活状況等	32
(5) 世話を必要としている家族による世話の状況等	36
(6) 世話をすることに感じているきつさによる世話の状況の違い	39
(7) 世話に関しての相談の状況	43
3. 自由意見	43
Ⅱ. 中学2年生	48
1. 基本分析	49
(1) 基本情報	49
(2) ふだんの生活について	51
(3) 家庭や家族のことについて	54
(4) ヤングケアラーについて	63
2. 追加分析	65
(1) 家族の世話の有無による学校生活等の状況	65
(2) 性別による世話の状況の違い	68
(3) 家族構成による世話の状況の違い	73
(4) 平日1日あたりの世話に費やす時間による生活状況等	78
(5) 世話を必要としている家族による世話の状況等	82
(6) 世話をすることに感じているきつさによる世話の状況の違い	85
(7) ヤングケアラーの自己認識による生活状況、世話の状況の違い	89
(8) 世話に関しての相談の状況	95
3. 自由意見	96

III. 高校2年生	106
1. 基本分析	107
(1) 基本情報	107
(2) ふだんの生活について	109
(3) 家庭や家族のことについて	112
(4) ヤングケアラーについて	121
2. 追加分析	123
(1) 家族の世話の有無による学校生活等の状況	123
(2) 性別による世話の状況の違い	126
(3) 家族構成による世話の状況の違い	131
(4) 平日1日あたりの世話に費やす時間による生活状況等	136
(5) 世話を必要としている家族による世話の状況等	140
(6) 世話をすることに感じているきつさによる世話の状況の違い	143
(7) ヤングケアラーの自己認識による生活状況、世話の状況の違い	147
(8) 世話に関しての相談の状況	153
3. 自由意見	154
IV. 調査結果とりまとめ、考察	160
1. 調査結果とりまとめ	160
2. 考察	163
添付資料（調査票）	173

調査概要

調査目的

ヤングケアラーは家庭内のデリケートな問題であること、本人や家族に自覚がないといった理由から、支援が必要であっても表面化しにくいという特徴があることを踏まえ、実態調査により、本県のヤングケアラーの傾向を把握することで、早期発見と適切な支援に向けた体制作りを促進する。

調査対象、方法等

令和4年6月20日～7月20日の期間で、以下の小中高生に対して、web調査を実施した。

- ①**小学6年生**（回収数4,866人 回収率51.2%）
調査対象：県内の全ての小学校に在籍する小学6年生

- ②**中学2年生**（回収数4,294人 回収率42.5%）
調査対象：県内の全ての中学校に在籍する中学2年生

- ③**高校2年生**（回収数3,114人 回収率32.6%）
調査対象：県内の全ての高校に在籍する高校2年生

調査項目（調査票は本報告書のおわりに添付している）

- ①小学6年生への調査票は、
令和3年度子ども・子育て支援推進調査研究事業「ヤングケアラーの実態に関する調査研究 報告書」（令和4年3月 日本総合研究所）と同様とした。

- ②中学2年生・高校2年生への調査票は、
令和2年度子ども・子育て支援推進調査研究事業「ヤングケアラーの実態に関する調査研究 報告書」（令和3年3月 三菱UFリサーチ&コンサルティング）と同様とした。

I. 調査結果 [小学6年生]

I - 1. 基本分析 全体及び居住地別

(1) 基本情報

①性別

回答者の性別は、以下の通り。

(%)

	(調査数 n)	男性	女性	答えたくない	その他	無回答
全体	4866	47.6	48.8	2.2	0.2	1.2
南加賀	1121	46.2	50.7	2.7	0.1	0.4
石川中央	3108	48.7	49.0	1.9	0.3	0.2
能登中部	325	46.8	50.5	2.2	0.3	0.3
能登北部	223	48.4	48.0	3.6	-	-

②居住地

回答者の居住地は、以下の通り。

(%)

	(調査数 n)	金沢市	七尾市	小松市	輪島市	珠洲市	加賀市	羽咋市	かほく市	白山市	能美市
全体	4866	39.1	3.7	12.1	1.8	0.9	4.3	1.4	3.8	8.0	5.3
南加賀	1121	-	-	52.5	-	-	18.8	-	-	-	22.9
石川中央	3108	61.3	-	-	-	-	-	-	6.0	12.6	-
能登中部	325	-	54.8	-	-	-	-	20.6	-	-	-
能登北部	223	-	-	-	39.9	19.3	-	-	-	-	-

	(調査数 n)	野々市市	川北町	津幡町	内灘町	志賀町	宝達志水町	中能登町	穴水町	能登町	無回答
全体	4866	9.1	1.3	3.3	0.4	0.4	0.5	0.8	0.1	1.7	1.8
南加賀	1121	-	5.7	-	-	-	-	-	-	-	-
石川中央	3108	14.2	-	5.2	0.6	-	-	-	-	-	-
能登中部	325	-	-	-	-	6.5	6.8	11.4	-	-	-
能登北部	223	-	-	-	-	-	-	-	3.1	37.7	-

③同居家族（複数回答）

「母親」が最も高く、次いで「父親」、「兄・姉」、「弟・妹」となっている。

(%)

	(調査数)	母親	父親	祖母	祖父	兄・姉	弟・妹	その他	無回答
全体	4866	97.5	87.9	22.0	15.8	51.2	46.7	7.2	1.1
南加賀	1121	98.2	89.5	26.4	18.6	54.1	48.9	8.6	0.1
石川中央	3108	98.6	88.5	17.7	12.5	50.3	46.4	6.7	0.2
能登中部	325	96.9	89.2	38.5	29.8	59.1	47.1	7.1	0.3
能登北部	223	97.8	84.8	37.2	30.5	48.9	49.8	8.5	-

④家族構成

「二世世代世帯」が最も高くなっている。

(%)

	(調査数)	三世世代世帯	二世世代世帯	ひとり親家庭	その他	無回答
全体	4866	18.7	68.3	11.4	0.5	1.1
南加賀	1121	23.0	65.6	10.5	0.8	0.1
石川中央	3108	14.7	72.9	11.8	0.3	0.2
能登中部	325	32.6	54.8	11.4	0.9	0.3
能登北部	223	32.7	51.1	14.8	1.3	-

⑤健康状態

「よい」と「まあよい」を合わせ、「よい」と回答した人は8割を超えている。

(%)

	(調査数)	よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	無回答
全体	4866	67.8	15.5	13.1	2.0	0.4	1.2
南加賀	1121	63.8	19.4	13.9	2.1	0.4	0.3
石川中央	3108	69.6	14.7	12.9	2.1	0.3	0.4
能登中部	325	74.8	12.6	10.5	1.5	0.6	-
能登北部	223	68.2	13.5	16.6	0.9	0.9	-

(2) ふだんの生活について

①学校への通学状況：出席状況

学校の出席状況は、「ほとんど欠席しない」が8割を超えている。

(%)

	(調査数 n)	ほとんど 欠席しない	たまに 欠席する	よく 欠席する	無回答
全体	4866	82.3	14.8	1.7	1.3
南加賀	1121	79.6	18.3	1.7	0.4
石川中央	3108	84.1	13.8	1.7	0.4
能登中部	325	86.5	12.0	1.5	-
能登北部	223	83.0	15.7	1.3	-

②学校への通学状況：遅刻や早退の状況

学校の遅刻や早退の状況は、「ほとんどしない」が9割弱と最も高くなっている。

(%)

	(調査数 n)	ほとんど しない	たまに する	よく する	無回答
全体	4866	86.9	9.9	2.0	1.3
南加賀	1121	87.7	10.5	1.5	0.3
石川中央	3108	88.1	9.4	2.2	0.3
能登中部	325	86.2	10.8	2.5	0.6
能登北部	223	84.8	13.0	1.3	0.9

③放課後の習い事への参加状況

放課後の習い事の参加状況は、「参加している」が7割を超えている。

(%)

	(調査数 n)	参加 している	参加 していない	無回答
全体	4866	74.7	23.8	1.5
南加賀	1121	76.6	22.7	0.6
石川中央	3108	75.1	24.4	0.5
能登中部	325	72.9	27.1	-
能登北部	223	75.3	23.8	0.9

④ふだんの学校生活等であてはまること（複数回答）

ふだんの学校生活等であてはまることについては、「特にない」が7割弱で最も高くなっているが、その他では、「持ち物の忘れ物が多い」が最も高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	授業中に居眠りすることが多い	宿題や課題ができていないことが多い	持ち物の忘れ物が多い	部活動や習い事を休むことが多い	提出しなげればいけない書類などの提出が遅れることが多い	修学旅行などの宿泊行事を欠席する	保健室で過ごすことが多い	学校では一人で過ごすことが多い	友人と遊んだりおしゃべりした時間が少ない	特にない	無回答
全 体	4866	5.2	9.8	17.4	2.1	13.3	0.5	1.4	4.9	4.3	68.2	2.7
南加賀	1121	5.3	9.8	20.0	1.7	12.6	0.5	1.9	4.6	4.4	68.3	2.1
石川中央	3108	4.9	10.0	16.2	2.0	13.5	0.5	1.3	5.1	4.4	69.3	1.8
能登中部	325	6.8	8.3	17.8	3.1	15.4	-	0.9	3.1	4.3	69.5	1.5
能登北部	223	8.1	10.3	22.0	3.6	13.0	0.4	1.3	5.4	2.7	66.8	0.4

⑤現在の悩みや困りごと（複数回答）

現在の悩みや困りごとについては、「友達のこと」が最も高く、次いで「学校の成績のこと」となっている。

(%)

	調査数 (n)	友達のこと	学校の成績のこと	習い事のこと	家族のこと	生活や勉強に必要なお金のこと	自分のために使える時間が少ないこと	特にない
全 体	4866	13.0	9.8	6.0	4.7	2.4	3.9	69.9
南加賀	1121	16.2	10.6	6.2	6.2	3.7	3.9	67.7
石川中央	3108	11.9	9.9	5.8	4.5	2.1	4.0	71.4
能登中部	325	13.2	8.6	8.0	3.7	1.5	3.1	69.5
能登北部	223	13.5	6.7	5.8	1.8	0.9	3.6	76.7

	調査数 (n)	その他	無回答
全 体	4866	3.4	4.1
南加賀	1121	3.4	3.2
石川中央	3108	3.5	3.2
能登中部	325	2.8	3.1
能登北部	223	3.1	2.2

⑥悩みごとを聞いてくれる人の有無

何らかの悩みや困りごとがあると回答した人に、相談相手・話を聞いてくれる人の有無について聞いたところ、「相談相手や話を聞いてくれる人がいる」が7割を超えている。

(%)

	調査数 (n)	相談相手や話を聞いてくれる人がいる	相談相手や話を聞いてくれる人がいない	相談や話はしたくない	無回答
全体	4866	74.1	5.9	14.7	5.2
南加賀	1121	76.0	6.5	13.3	4.2
石川中央	3108	74.8	5.6	15.0	4.6
能登中部	325	76.6	6.5	14.5	2.5
能登北部	223	68.6	7.2	20.2	4.0

(3) 家庭や家族のことについて

①世話をしている家族の有無

世話をしている家族の有無については、以下の通り。

(%)

	(調査数 n)	いる	いない	答えたくない
全体	4866	8.0	89.5	2.5
南加賀	1121	10.8	86.0	3.2
石川中央	3108	7.4	90.3	2.3
能登中部	325	6.5	92.0	1.5
能登北部	223	5.4	91.9	2.7

②世話を必要としている家族（複数回答）

世話を必要としている家族については、「兄弟・姉妹」と「父母」が高くなっている。

(%)

	(調査数 n)	父母	祖父母	兄弟・姉妹	その他	無回答
全体	390	43.8	18.7	47.9	11.8	5.1
南加賀	121	43.0	21.5	46.3	11.6	5.8
石川中央	231	43.3	17.7	50.2	10.8	5.2
能登中部	21	57.1	14.3	47.6	9.5	-
能登北部	12	33.3	25.0	25.0	33.3	8.3

③父母の状況（複数回答）／父母への世話の内容（複数回答）

世話を必要としている家族として「父母」と回答した人に、父母の状況を聞いたところ、「高齢」と「要介護」が高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	高齢 (65歳以上)	要介護	認知症	身体障がい	知的障がい	精神疾患、 依存症（疑い含む）	精神疾患、 依存症以外 の病気	日本語が苦手	わからない	その他	無回答
全 体	171	5.8	4.7	-	1.8	0.6	0.6	0.6	1.8	45.0	9.4	35.7
南加賀	52	7.7	9.6	-	1.9	-	-	-	3.8	50.0	11.5	25.0
石川中央	100	4.0	2.0	-	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	45.0	9.0	38.0
能登中部	12	16.7	8.3	-	-	-	-	-	-	25.0	8.3	50.0
能登北部	4	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	50.0

世話を必要としている家族として「父母」と回答した人に、世話の内容を聞いたところ、「家事」が最も高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	家事	入浴やトイレの世話	買い物や散歩に しよに行く	病院へいつしよに行く	話を聞く	見守り	通訳	お金の管理	薬の管理	その他	無回答
全 体	171	41.5	5.8	19.9	1.2	19.3	13.5	1.8	4.7	1.8	5.3	35.7
南加賀	52	44.2	3.8	17.3	-	28.8	11.5	1.9	3.8	-	7.7	32.7
石川中央	100	43.0	8.0	22.0	1.0	16.0	14.0	2.0	4.0	3.0	4.0	35.0
能登中部	12	16.7	-	16.7	8.3	8.3	16.7	-	16.7	-	-	50.0
能登北部	4	25.0	-	25.0	-	25.0	25.0	-	-	-	-	50.0

④祖父母の状況（複数回答）／祖父母への世話の内容（複数回答）

世話を必要としている家族として「祖父母」と回答した人に、祖父母の状況を聞いたところ、「高齢」が最も高く、次いで「要介護」となっている。

(%)

	調査数 (n)	高齢 (65歳以上)	要介護	認知症	身体障がい	知的障がい	精神疾患、 依存症（疑 い含む）	精神疾患、 依存症以外 の病気	日本語が 苦手	わからない	その他	無回答
全 体	73	35.6	6.8	2.7	4.1	2.7	2.7	-	1.4	27.4	4.1	32.9
南加賀	26	50.0	11.5	-	-	3.8	3.8	-	3.8	26.9	3.8	19.2
石川中央	41	24.4	4.9	4.9	7.3	2.4	2.4	-	-	31.7	4.9	39.0
能登中部	3	66.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3
能登北部	3	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	66.7

世話を必要としている家族として「祖父母」と回答した人に、世話の内容を聞いたところ、「家事」が最も高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	家事	入浴や トイレの 世話	買い物や 散歩に いく	病院へ いっしょ に行く	話を 聞く	見守り	通 訊	お金の 管理	薬の 管理	その他	無回答
全 体	73	39.7	6.8	17.8	-	20.5	17.8	1.4	1.4	2.7	4.1	28.8
南加賀	26	53.8	7.7	15.4	-	19.2	15.4	-	-	-	7.7	19.2
石川中央	41	36.6	7.3	22.0	-	19.5	22.0	2.4	2.4	4.9	2.4	29.3
能登中部	3	-	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-	66.7
能登北部	3	-	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-	66.7

⑤兄弟・姉妹の状況（複数回答）／兄弟・姉妹への世話の内容（複数回答）

世話を必要としている家族として「兄弟・姉妹」と回答した人に、兄弟・姉妹の状況を聞いたところ、「若い」が最も高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	若い	介護が必要	身体障がい	知的障がい	病気	日本語が苦手	わからない	その他	無回答
全 体	187	58.3	3.7	1.6	1.6	1.1	-	22.5	8.6	9.6
南加賀	56	53.6	3.6	-	1.8	-	-	26.8	7.1	8.9
石川中央	116	59.5	3.4	2.6	1.7	1.7	-	22.4	10.3	8.6
能登中部	10	80.0	-	-	-	-	-	10.0	-	10.0
能登北部	3	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	33.3

世話を必要としている家族として「兄弟・姉妹」と回答した人に、世話の内容を聞いたところ、「見守り」が最も高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	家事	兄弟・姉妹の 送り迎え	入浴やトイレの 世話	買い物や散歩に しよに行く	病院へいつしよに 行く	話を聞く	見守り	通訳	お金の管理	薬の管理	その他	無回答
全 体	187	34.8	26.7	21.9	20.3	2.7	25.7	42.8	1.1	2.7	2.1	5.9	12.3
南加賀	56	44.6	21.4	16.1	21.4	3.6	25.0	33.9	1.8	5.4	3.6	5.4	14.3
石川中央	116	32.8	30.2	25.9	22.4	2.6	28.4	49.1	0.9	1.7	0.9	6.9	8.6
能登中部	10	20.0	20.0	20.0	-	-	10.0	30.0	-	-	10.0	-	20.0
能登北部	3	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-	-	-	66.7

⑥世話を一緒にしている人（複数回答）

世話を一緒にしている人については、「母親」が最も高くなっている。

(%)

	(調査数 n)	母親	父親	祖母	祖父	兄弟・姉妹	親戚の人	自分のみ	利用 福祉サ ービスを	その他	無回 答
全 体	390	52.8	34.1	10.0	5.1	29.7	1.5	10.8	1.5	4.1	24.1
南加賀	121	46.3	27.3	10.7	6.6	32.2	2.5	12.4	2.5	5.0	19.8
石川中央	231	59.7	39.4	10.0	4.8	29.4	1.3	9.5	1.3	3.5	23.4
能登中部	21	33.3	28.6	14.3	4.8	28.6	-	14.3	-	4.8	38.1
能登北部	12	25.0	8.3	-	-	16.7	-	8.3	-	8.3	50.0

⑦世話を始めた年齢

世話を始めた時期については、「小学校（高学年）」が最も高くなっている。

(%)

	(調査数 n)	就学 前	小学 （低学 年）	小学 （高学 年）	無回 答
全 体	390	15.6	26.7	33.3	24.4
南加賀	121	12.4	29.8	33.9	24.0
石川中央	231	18.6	25.5	33.8	22.1
能登中部	21	14.3	38.1	19.0	28.6
能登北部	12	-	8.3	41.7	50.0

⑧世話をしている頻度

世話をしている頻度については、「ほぼ毎日」が最も高くなっている。

(%)

	(調査数 n)	ほ ぼ 毎 日	週 に 3 〜 5 日	週 に 1 〜 2 日	1 ヶ 月 に 数 日	そ の 他	無回 答
全 体	390	33.3	16.2	17.4	7.9	3.1	22.1
南加賀	121	36.4	17.4	15.7	6.6	2.5	21.5
石川中央	231	32.9	16.9	19.0	8.2	2.6	20.3
能登中部	21	19.0	9.5	19.0	9.5	9.5	33.3
能登北部	12	41.7	-	8.3	8.3	8.3	33.3

⑨平日1日あたりに世話に費やす時間

平日1日あたりに世話に費やす時間については、「1時間程度」が最も高く、平均では2時間前後となっている。

(%)

	(調査数 n)	1時間程度	2時間程度	3 ～ 6時間	7時間以上	無回答	平均(時間)
全体	390	40.3	13.1	13.6	6.9	26.2	2.7
南加賀	121	45.5	12.4	10.7	9.1	22.3	2.8
石川中央	231	37.2	14.3	15.6	6.5	26.4	2.7
能登中部	21	42.9	9.5	14.3	4.8	28.6	2.0
能登北部	12	50.0	-	8.3	-	41.7	1.3

⑩世話をしているために、やりたいけれどできていないこと(複数回答)

世話をしているために、やりたいけれどできていないことについては、「特になし」が最も高く5割以上を占めているが、その他では「自分の時間が取れない」、「寝る時間が足りない」、「宿題など勉強する時間がない」が高くなっている。

(%)

	(調査数 n)	学校を休んでしまう	遅刻や早退をしてしまう	宿題など勉強する時間がない	眠る時間が足りない	友達と遊ぶことができない	習い事ができない	自分の時間がとれない	特になし	その他	無回答
全体	390	3.1	3.6	5.4	6.4	4.9	0.3	11.0	56.9	1.0	22.1
南加賀	121	0.8	2.5	2.5	9.1	5.8	-	9.1	61.2	1.7	19.0
石川中央	231	4.3	4.3	6.9	5.6	5.2	0.4	13.0	54.5	0.9	22.1
能登中部	21	4.8	4.8	9.5	-	-	-	9.5	61.9	-	23.8
能登北部	12	-	-	-	8.3	-	-	-	50.0	-	41.7

⑪世話のきつき（複数回答）

世話をすることを感じているきつきについては、「特にきつきは感じていない」が最も高く、その他では「気持ちの面で大変」が最も高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	体力の面で大変	気持ちの面で大変	時間の余裕がない	特に大変さを感じていない	無回答
全体	390	10.3	17.2	12.8	46.9	23.1
南加賀	121	9.9	14.0	14.9	50.4	21.5
石川中央	231	10.0	19.0	13.4	45.9	22.1
能登中部	21	23.8	14.3	4.8	42.9	28.6
能登北部	12	-	16.7	-	41.7	41.7

⑫世話について相談した経験

世話について相談した経験は、「ある」が2割程度となっている。

(%)

	調査数 (n)	ある	ない	答えたくない
全体	390	21.5	63.8	14.6
南加賀	121	20.7	63.6	15.7
石川中央	231	22.1	64.1	13.9
能登中部	21	28.6	61.9	9.5
能登北部	12	16.7	58.3	25.0

⑬世話についての相談相手（複数回答）

世話についての相談相手は、「家族」が最も高く、次いで「友達」が続いている。

(%)

	調査数 (n)	家族	親戚	友達	学校の先生	保健室の先生	スクールソーシャルワーカー・カウンセラー	病院・医療・福祉サービスの人	近所の人	SNS上での知り合い	その他	無回答
全体	84	75.0	4.8	38.1	14.3	2.4	1.2	1.2	2.4	-	1.2	7.1
南加賀	25	72.0	4.0	52.0	20.0	4.0	-	4.0	4.0	-	-	4.0
石川中央	51	76.5	3.9	35.3	9.8	2.0	-	-	2.0	-	2.0	7.8
能登中部	6	66.7	16.7	16.7	33.3	-	16.7	-	-	-	-	16.7
能登北部	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

⑭世話について相談したことがない理由（複数回答）

世話について相談した経験が「ない」と回答した人に、その理由について聞いたところ、「相談するほどの悩みではないから」が4割強で最も高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	相談するほどの悩みではないから	誰に相談するのがよいかかわらないから	相談できる人がいないから	家族のことを話したくないから	相談しても何も変わらないから	その他	無回答
全体	249	41.4	8.4	4.4	4.4	12.9	6.4	32.5
南加賀	77	42.9	7.8	2.6	3.9	13.0	7.8	36.4
石川中央	148	41.2	9.5	6.1	5.4	13.5	4.7	29.7
能登中部	13	46.2	7.7	-	-	7.7	7.7	30.8
能登北部	7	28.6	-	-	-	14.3	28.6	28.6

⑮世話について悩みを聞いてくれる人の有無

世話について相談した経験が「ない」と回答した人に、世話について悩みを聞いてくれる人の有無を聞いたところ、6割強が「いる」と回答している。

(%)

	(調査数 n)	いる	いない	無回答
全体	249	61.4	17.7	20.9
南加賀	77	63.6	14.3	22.1
石川中央	148	60.1	20.3	19.6
能登中部	13	69.2	7.7	23.1
能登北部	7	57.1	14.3	28.6

⑯学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援（複数回答）

学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援については、「特にない」が5割強を占めているが、その他では、「自由に使える時間がほしい」、「自分のことについて話を聞いてほしい」、「勉強を教えてほしい」が高くなっている。

(%)

	(調査数 n)	自分のことについて話を聞いてほしい	家族の世話について相談のつてほしい	家族の病気や障がい、世話などわかりやすく説明してほしい	わかってほしい世話すべてを誰かに代わってほしい	行っている世話の一部を誰かに代わってほしい	自由に使える時間がほしい	勉強を教えてほしい	お金の面で支援してほしい	わからない	特にない	その他	無回答
全体	333	11.4	1.5	1.2	1.2	3.0	11.7	11.4	3.3	7.8	55.6	0.3	13.5
南加賀	102	9.8	2.9	-	1.0	1.0	9.8	12.7	1.0	4.9	56.9	1.0	12.7
石川中央	199	11.6	1.0	1.5	1.5	4.0	12.6	10.6	3.5	9.0	56.8	-	13.1
能登中部	19	10.5	-	5.3	-	-	15.8	10.5	15.8	10.5	31.6	-	26.3
能登北部	9	11.1	-	-	-	-	-	11.1	-	11.1	66.7	-	11.1

⑰希望する連絡手段（複数回答）

「自分のことについて話を聞いてほしい」、「家族のお世話について相談のつてほしい」と回答した人に、希望する連絡手段を聞いたところ、「直接会って」が7割を超えている。

(%)

	(調査数 n)	直接会って	電話	SNS	電子メール	無回答
全体	41	73.2	7.3	7.3	4.9	12.2
南加賀	11	72.7	9.1	9.1	9.1	9.1
石川中央	25	72.0	8.0	8.0	4.0	12.0
能登中部	2	100.0	-	-	-	-
能登北部	1	-	-	-	-	100.0

I - 2. 追加分析

(1) 家族の世話の有無による学校生活等の状況

① 家族の世話×家族構成

世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、家族構成で差は見られない。

(%)

		(調査数)	三世帯世帯	二世帯世帯	ひとり親家庭	その他	無回答
世話をしている家族	いる	390	20.8	66.2	11.5	1.3	0.3
	いない	4353	18.4	68.9	11.3	0.4	1.1
	答えたくない	123	20.3	56.1	17.1	1.6	4.9

② 家族の世話の有無×健康状態

世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、健康状態で差は見られない。

(%)

		(調査数)	よい・まあよい	ふつう	よあまりよくない・よくない	無回答
世話をしている家族	いる	390	81.3	13.8	3.8	1.0
	いない	4353	84.1	12.7	2.0	1.2
	答えたくない	123	60.2	24.4	11.4	4.1

③ 家族の世話の有無×出席状況

世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、学校を「たまに欠席する」「よく欠席する」割合が高くなっている。

(%)

		(調査数)	欠席ほとんどない	欠たまにする	欠よくする	無回答
世話をしている家族	いる	390	71.0	25.4	3.3	0.3
	いない	4353	83.7	13.5	1.5	1.3
	答えたくない	123	65.9	26.8	2.4	4.9

④家族の世話の有無×遅刻や早退の状況

世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、遅刻や早退を「たまにする」、「よくする」割合が高くなっている。

(%)

		調査数 (nII)	ほとんどしない	たまにする	よくする	無回答
世話をしている家族	いる	390	78.7	16.9	3.6	0.8
	いない	4353	87.9	9.1	1.8	1.2
	答えたくない	123	76.4	15.4	3.3	4.9

⑤家族の世話の有無×学校生活等であてはまること（複数回答）

世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、全体的に回答割合が高い傾向が見られ、「持ち物の忘れ物が多い」、「提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い」、「宿題や課題ができていないことが多い」が高くなっている。

(%)

		調査数 (nII)	授業中に居眠りすることが多い	宿題や課題ができていないことが多い	持ち物の忘れ物が多い	部活動や習い事を休むことが多い	提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い	修学旅行などの宿泊行事を欠席する	保健室で過ごすことが多い	学校では一人で過ごすことが多い	友人と遊んだりおしゃべりしたりする時間が少ない	特にない	無回答
世話をしている家族	いる	390	9.2	17.4	24.9	2.6	19.5	0.8	2.1	10.3	8.5	53.8	2.8
	いない	4353	4.6	8.8	16.3	1.9	12.3	0.4	1.3	4.3	3.8	70.1	2.6
	答えたくない	123	15.4	20.3	30.9	6.5	27.6	1.6	4.1	8.1	11.4	48.0	6.5

⑥家族の世話の有無×現在の悩みや困りごと（複数回答）

世話をしている家族がいる場合、いない場合を比較して、全体的に回答割合が高い傾向が見られ、「友達のこと」、「学校の成績のこと」、「家族のこと」が高くなっている。

(%)

		(調査数 n)	友達のこと	学校の成績のこと	習い事のこと	家族のこと	生活や勉強に必要な お金のこと	自分のために使える 時間が少ないこと	特にな い
世話をしている家族	いる	390	17.2	15.6	7.2	9.5	4.4	7.2	59.0
	いない	4353	12.3	9.0	5.7	3.9	2.1	3.4	71.5
	答えたくない	123	24.4	19.5	15.4	17.9	7.3	11.4	49.6

		(調査数 n)	その他	無回答
世話をしている家族	いる	390	4.9	4.1
	いない	4353	3.0	4.0
	答えたくない	123	10.6	8.1

⑦家族の世話の有無×相談相手の有無

世話をしている家族がいる場合、いない場合を比較して、大きな差は見られない。

(%)

		(調査数 n)	相談相手や話を聞いて くれる人がいる	相談相手や話を聞いて くれる人がいない	相談や話はしたくない	無回答
世話をしている家族	いる	390	73.1	8.2	15.6	3.1
	いない	4353	75.1	5.6	14.0	5.3
	答えたくない	123	42.3	11.4	38.2	8.1

(2) 性別による世話の状況の違い

①性別×家族の世話の有無

世話をしている家族の有無については、性別による大きな差は見られない。

(%)

	(調査数 n)	いる	いない	答えたくない
男性	2315	9.0	88.3	2.7
女性	2375	7.0	91.5	1.5

②性別×世話の内容（複数回答）

世話の内容については、世話を必要としている家族が、
 父母の場合は、「話を聞く」、「買い物や散歩にいっしょに行く」は女性が高い。
 祖父母の場合は、「話を聞く」、「買い物や散歩にいっしょに行く」は女性が高い。
 兄弟・姉妹の場合は、「家事」、「買い物や散歩にいっしょに行く」、「外出の付き添い」は女性が、「見守り」は男性が高い。

[父母への世話の内容]

	調査数 (n)	家事	入浴やトイレの世話	買い物や散歩にいっしょに行く	病院へいっしょに行く	話を聞く	見守り	通訳	お金の管理	薬の管理	その他	無回答
男性	113	43.4	6.2	18.6	0.9	16.8	15.0	0.9	6.2	2.7	6.2	34.5
女性	49	38.8	6.1	24.5	2.0	26.5	12.2	4.1	2.0	-	4.1	36.7

[祖父母への世話の内容]

	調査数 (n)	家事	入浴やトイレの世話	買い物や散歩にいっしょに行く	病院へいっしょに行く	話を聞く	見守り	通訳	お金の管理	薬の管理	その他	無回答
男性	41	41.5	7.3	17.1	-	19.5	19.5	-	2.4	4.9	7.3	26.8
女性	27	37.0	7.4	22.2	-	25.9	18.5	3.7	-	-	-	25.9

[兄弟・姉妹への世話の内容]

	調査数 (n)	家事	兄弟・姉妹のお世話や送り迎え	入浴やトイレの世話	買い物や散歩にいっしょに行く	病院へいっしょに行く	話を聞く	見守り	通訳	お金の管理	薬の管理	その他	無回答
男性	81	39.5	27.2	21.0	23.5	3.7	23.5	38.3	-	4.9	3.7	3.7	14.8
女性	103	32.0	27.2	23.3	17.5	1.9	27.2	46.6	1.9	1.0	1.0	7.8	10.7

③性別×世話の開始時期

世話を始めた時期については、男女とも「小学生（高学年）」が最も高くなっている。

(%)

	(調査数)	就学前	小学生 (低学年)	小学生 (高学年)	無回答
男性	209	16.3	23.4	32.1	28.2
女性	167	15.0	31.1	35.3	18.6

④性別×世話の頻度

世話の頻度については、男女とも「ほぼ毎日」が最も高くなっている。

(%)

	(調査数)	ほぼ毎日	週に3〜5日	週に1〜2日	1ヶ月に数日	その他	無回答
男性	209	30.1	14.8	19.6	7.7	2.9	24.9
女性	167	39.5	17.4	14.4	8.4	3.0	17.4

⑤性別×世話に費やす時間

世話に費やす時間については、女性の方が長めの傾向が見られる。

(%)

	(調査数)	1時間程度	2時間程度	3〜6時間	7時間以上	無回答
男性	209	41.6	12.9	12.9	4.8	27.8
女性	167	39.5	14.4	15.0	9.0	22.2

⑥性別×世話のきつさ（複数回答）

世話をすることを感じているきつさについては、女性で「気持ちの面で大変」、「時間の余裕がない」が高くなっている。

(%)

	調査数 (nII)	体力の面で 大変	気持ちの面で 大変	時間の余裕が ない	特に大変さを感じ ていない	無回答
男性	209	10.5	11.5	9.6	47.4	25.8
女性	167	10.8	24.6	18.0	47.3	17.4

⑦性別×世話について相談した経験

世話について相談した経験の有無では、性別で大きな差は見られない。

(%)

	調査数 (nII)	ある	ない	答えたくない
男性	209	21.1	61.7	17.2
女性	167	24.0	66.5	9.6

⑧性別×世話についての相談相手（複数回答）

世話についての相談相手では、男女とも「家族」が最も高く、女性では「友達」も高くなっている。

(%)

	調査数 (nII)	家族	親戚	友達	学校の先生	保健室の先生	スクールソーシャルワーカー・カウンセラー	病院・医療・福祉サービスの人	近所の人	SNS上での知り合い	その他	無回答
男性	44	75.0	4.5	29.5	11.4	-	-	2.3	4.5	-	-	9.1
女性	40	75.0	5.0	47.5	17.5	5.0	2.5	-	-	-	2.5	5.0

⑨性別×学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援（複数回答）

学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援については、女性の方が全体的に回答割合が高い傾向が見られ、「自分のことについて話を聞いてほしい」、「自由に使える時間がほしい」、「勉強を教えてほしい」は女性で高くなっている。

(%)

	調査数 (n=)	自分のことについて話を聞いてほしい	家族の世話について相談にのってほしい	家族の病気や障がい、世話などわかりやすく説明してほしい	代わっている世話をすべてを誰かに代わってほしい	代わっている世話の一部を誰かに代わってほしい	自由に使える時間がほしい	勉強を教えてほしい	お金の面で支援してほしい	わからない	特にない	その他	無回答
男性	173	8.1	2.3	1.2	0.6	3.5	9.2	9.2	1.7	5.8	57.2	-	17.3
女性	151	15.2	0.7	1.3	2.0	2.6	15.2	14.6	5.3	9.9	53.0	0.7	8.6

(3) 家族構成による世話の状況の違い

① 家族構成×世話を必要としている家族（複数回答）

世話を必要としている家族について、三世代世帯では「祖父母」が、二世代世帯では「兄弟・姉妹」が、ひとり親家庭では「父母」が最も高くなっている。

(%)

	(調査数)	父母	祖父母	兄弟・姉妹	その他	無回答
三世代世帯	81	43.2	46.9	39.5	14.8	2.5
二世代世帯	258	42.6	8.9	53.9	9.3	6.2
ひとり親家庭	45	55.6	22.2	35.6	13.3	4.4
その他	5	-	40.0	-	80.0	-

②家族構成×世話の内容（複数回答）

父母及び祖父母への世話の内容では、いずれの家族構成でも「家事」が最も高い。
兄弟・姉妹の世話の内容では、二世帯世帯、ひとり親家庭で「見守り」の割合が高い。

[父母への世話の内容]

	調査数 (n)	家事	入浴やトイレの世話	買い物や散歩に しよに行く	病院へいつしよに 行く	話を聞く	見守り	通訳	お金の管理	薬の管理	その他	無回答
三世帯世帯	35	45.7	8.6	17.1	-	20.0	5.7	-	-	-	11.4	37.1
二世帯世帯	110	44.5	5.5	20.9	-	20.9	14.5	1.8	6.4	2.7	3.6	33.6
ひとり親家庭	25	24.0	4.0	16.0	4.0	12.0	16.0	4.0	-	-	4.0	44.0
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(%)

[祖父母への世話の内容]

	調査数 (n)	家事	入浴やトイレの世話	買い物や散歩に しよに行く	病院へいつしよに 行く	話を聞く	見守り	通訳	お金の管理	薬の管理	その他	無回答
三世帯世帯	38	44.7	10.5	15.8	-	21.1	10.5	-	-	2.6	7.9	31.6
二世帯世帯	23	39.1	4.3	26.1	-	30.4	30.4	-	4.3	4.3	-	17.4
ひとり親家庭	10	30.0	-	10.0	-	-	20.0	10.0	-	-	-	30.0
その他	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0

(%)

[兄弟・姉妹への世話の内容]

	調査数 (n)	家事	兄弟・姉妹のお世話や 送り迎え	入浴やトイレの世話	買い物や散歩に しよに行く	病院へいつしよに 行く	話を聞く	見守り	通訳	お金の管理	薬の管理	その他	無回答
三世帯世帯	32	28.1	15.6	37.5	25.0	3.1	34.4	31.3	-	3.1	3.1	6.3	12.5
二世帯世帯	139	37.4	32.4	18.7	16.5	2.2	23.7	43.9	0.7	2.9	2.2	6.5	12.2
ひとり親家庭	16	25.0	-	18.8	43.8	6.3	25.0	56.3	6.3	-	-	-	12.5
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(%)

③家族構成×世話を一緒にする人（複数回答）

世話を一緒にする人は、いずれの家族構成でも「母親」が最も高くなっている。

(%)

	(調査数 n)	母親	父親	祖母	祖父	兄弟・姉妹	親戚の人	自分のみ	福祉サービスを利用	その他	無回答
三世帯世帯	81	46.9	32.1	24.7	12.3	29.6	2.5	16.0	4.9	7.4	18.5
二世帯世帯	258	57.0	40.3	5.0	3.1	31.8	1.6	7.8	0.8	3.1	24.4
ひとり親家庭	45	46.7	6.7	13.3	4.4	22.2	-	17.8	-	2.2	26.7
その他	5	-	-	-	-	-	-	-	-	20.0	80.0

④家族構成×世話の頻度

世話の頻度は、いずれの家族構成でも「ほぼ毎日」の割合が最も高くなっている。

(%)

	(調査数 n)	ほぼ毎日	週に3〜5日	週に1〜2日	1ヶ月に数日	その他	無回答
三世帯世帯	81	29.6	16.0	22.2	7.4	3.7	21.0
二世帯世帯	258	34.9	17.4	16.7	8.1	3.1	19.8
ひとり親家庭	45	35.6	11.1	13.3	8.9	-	31.1
その他	5	-	-	-	-	20.0	80.0

⑤家族構成×世話に費やす時間

世話に費やす時間は、いずれの家族構成でも2時間までで5割前後を占めている。

(%)

	(調査数 n)	1時間程度	2時間程度	3〜6時間	7時間以上	無回答
三世帯世帯	81	45.7	13.6	11.1	7.4	22.2
二世帯世帯	258	39.9	13.6	15.1	7.0	24.4
ひとり親家庭	45	35.6	11.1	11.1	6.7	35.6
その他	5	-	-	-	-	100.0

⑥家族構成×世話による制約（複数回答）

世話による制約は、いずれの家族構成でも「自分の時間がとれない」が最も高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	学校を休んでしまう	遅刻や早退をしてしまう	宿題など勉強する時間がない	眠る時間が足りない	友達と遊ぶことができない	習い事ができない	自分の時間がとれない	特にない	その他	無回答
三世代世帯	81	2.5	4.9	4.9	6.2	4.9	1.2	7.4	60.5	1.2	18.5
二世帯世帯	258	3.5	3.1	6.2	7.0	5.0	-	12.8	58.9	0.8	19.4
ひとり親家庭	45	2.2	4.4	2.2	4.4	4.4	-	8.9	44.4	-	37.8
その他	5	-	-	-	-	-	-	-	-	20.0	80.0

⑦家族構成×世話をするに感じているきつさ（複数回答）

世話をするに感じているきつさについては、いずれの家族構成でも「気持ちの面で大変」が最も高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	体力の面で大変	気持ちの面で大変	時間の余裕がない	特に大変さを感じない	無回答
三世代世帯	81	11.1	17.3	16.0	44.4	19.8
二世帯世帯	258	10.9	17.4	12.4	50.0	20.9
ひとり親家庭	45	6.7	17.8	11.1	35.6	35.6
その他	5	-	-	-	20.0	80.0

⑧家族構成×学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援（複数回答）

学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援については、ひとり親家庭で全体的に回答割合が高くなっている。

(%)

	調査数 (nⅡ)	自分のことについて話を聞いてほしい	家族の世話について相談にのってほしい	家族の病気や障がい、世話などわかりやすく説明してほしい	家族の病気や障がい、世話などわかってほしい	行っている世話すべてを誰かに代わってほしい	行っている世話の一部を誰かに代わってほしい	自由に使える時間がほしい	勉強を教えてほしい	お金の面で支援してほしい	わからない	特にない	その他	無回答
三世代世帯	65	13.8	-	-	-	1.5	13.8	16.9	3.1	9.2	50.8	-	10.8	
二世帯世帯	226	11.1	1.8	1.8	1.3	3.1	11.1	10.2	3.1	7.1	59.3	0.4	13.3	
ひとり親家庭	39	10.3	2.6	-	2.6	5.1	12.8	10.3	2.6	10.3	43.6	-	17.9	
その他	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	50.0	

(4) 平日1日あたりの世話に費やす時間による生活状況等

①平日1日あたりの世話に費やす時間×健康状態

世話に費やす時間が「7時間以上」で、健康状態が「よい・まあよい」の割合が低くなっている。

(%)

	(調査数 n)	よい・まあよい	ふつう	あまりない・よくない	無回答
1時間程度	157	81.5	14.0	3.8	0.6
2時間程度	51	82.4	15.7	2.0	-
3～6時間	53	83.0	7.5	7.5	1.9
7時間以上	27	63.0	33.3	3.7	-

②平日1日あたりの世話に費やす時間×欠席の状況

世話に費やす時間が長いほど、欠席が多くなる傾向が見られる。

(%)

	(調査数 n)	欠席ほとんどない	欠席たまにする	欠席よくする	無回答
1時間程度	157	76.4	21.0	1.9	0.6
2時間程度	51	68.6	29.4	2.0	-
3～6時間	53	54.7	37.7	7.5	-
7時間以上	27	59.3	29.6	11.1	-

③平日1日あたりの世話に費やす時間×遅刻や早退の状況

世話に費やす時間と遅刻や早退の状況に相関は見られない。

(%)

	(調査数 n)	しほなど	たまにする	よくする	無回答
1時間程度	157	82.8	14.6	2.5	-
2時間程度	51	72.5	19.6	5.9	2.0
3～6時間	53	77.4	17.0	5.7	-
7時間以上	27	74.1	22.2	3.7	-

④平日1日あたりの世話に費やす時間×学校生活等であてはまること（複数回答）

学校生活等であてはまることについて、世話に費やす時間が長い方が、全体的に回答割合が高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	授業中に居眠りすることが多い	宿題や課題ができていないことが多い	持ち物の忘れ物が多い	部活動や習い事を休むことが多い	提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い	修学旅行などの宿泊行事を欠席する	保健室で過ごすことが多い	学校では一人で過ごすことが多い	友人と遊んだりおしゃべりする時間が少ない	その他	無回答
1時間程度	157	5.1	12.7	17.8	1.9	14.0	1.3	1.9	10.8	7.6	58.6	3.2
2時間程度	51	7.8	21.6	23.5	3.9	21.6	-	-	17.6	11.8	51.0	2.0
3～6時間	53	11.3	22.6	34.0	5.7	32.1	-	1.9	5.7	3.8	43.4	1.9
7時間以上	27	18.5	25.9	40.7	-	29.6	3.7	-	14.8	18.5	51.9	7.4

⑤平日1日あたりの世話に費やす時間×現在の悩みや困りごと（複数回答）

世話に費やす時間が「3時間」以上で、全体的に回答割合が高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	友達のこと	学校の成績のこと	習い事のこと	家族のこと	生活や勉強に必要なお金のこと	自分のために使える時間が少ないこと	特にない
1時間程度	157	15.3	11.5	7.6	8.3	3.2	8.3	62.4
2時間程度	51	19.6	19.6	7.8	5.9	3.9	-	60.8
3～6時間	53	18.9	24.5	9.4	17.0	9.4	11.3	47.2
7時間以上	27	29.6	37.0	7.4	37.0	11.1	25.9	29.6

	調査数 (n)	その他	無回答
1時間程度	157	6.4	3.8
2時間程度	51	5.9	2.0
3～6時間	53	3.8	3.8
7時間以上	27	7.4	3.7

⑥平日1日あたりの世話に費やす時間×世話をすることに感じるきつさ（複数回答）

世話に費やす時間が長いほど、全体的に回答割合が高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	体力の面で大変	気持ちの面で大変	時間の余裕がない	特に大変さを感じていない	無回答
1時間程度	157	6.4	19.1	12.7	67.5	3.2
2時間程度	51	13.7	15.7	15.7	64.7	2.0
3～6時間	53	26.4	34.0	20.8	39.6	-
7時間以上	27	22.2	37.0	40.7	25.9	7.4

⑦平日1日あたりの世話に費やす時間×世話に関する相談の経験

世話に費やす時間と世話に関する相談の経験に相関は見られない。

(%)

	調査数 (n)	ある	ない	答えたくない
1時間程度	157	21.0	65.0	14.0
2時間程度	51	35.3	52.9	11.8
3～6時間	53	32.1	56.6	11.3
7時間以上	27	18.5	66.7	14.8

⑧平日1日あたりの世話に費やす時間×世話に関する相談相手（複数回答）

世話に関する相談相手は、世話をする時間にかかわらず、「家族」が最も高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	家族	親戚	友達	学校の先生	保健室の先生	スクールソーシャルワーカー・カウンセラー	病院・医療・福祉サービスの人	近所の人	SNS上での知り合い	その他	無回答
1時間程度	33	84.8	-	24.2	18.2	3.0	-	-	-	-	3.0	3.0
2時間程度	18	66.7	16.7	66.7	5.6	5.6	-	5.6	-	-	-	5.6
3～6時間	17	70.6	5.9	23.5	17.6	-	5.9	-	11.8	-	-	-
7時間以上	5	100.0	-	80.0	20.0	-	-	-	-	-	-	-

⑨平日1日あたりの世話に費やす時間×世話に関する相談をしたことがない理由（複数回答）

世話に関する相談をしたことがない理由について、世話をする時間が「3時間」以上で、「誰に相談するのがよいかわからないから」、「家族のことを話したくないから」の割合が高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	相談するほどの悩みではないから	誰に相談するのがよいかわからないから	相談できる人がいないから	家族のことを話したくないから	相談しても何も変わらないから	その他	無回答
1時間程度	102	51.0	8.8	2.9	2.9	11.8	2.9	27.5
2時間程度	27	44.4	3.7	3.7	-	7.4	11.1	29.6
3～6時間	30	56.7	16.7	16.7	10.0	10.0	-	13.3
7時間以上	18	22.2	22.2	5.6	22.2	33.3	16.7	22.2

(5) 世話を必要としている家族による世話の状況等

①世話を必要としている家族×(回答者の)性別

世話を必要としている家族が兄弟・姉妹の場合、他に比べ「女性」の割合が高くなっている。

(%)

	(調査数 n)	男性	女性	その他	無回答
父母	171	66.1	28.7	0.6	1.2
祖父母	73	56.2	37.0	1.4	-
兄弟・姉妹	187	43.3	55.1	-	0.5
その他	46	43.5	47.8	4.3	-

②世話を必要としている家族×世話を一緒にする人(複数回答)

世話を必要としている家族にかかわらず、「母親」の割合が最も高くなっている。

(%)

	(調査数 n)	母親	父親	祖母	祖父	兄弟・姉妹	親戚の人	自分のみ	福祉サービスを利用	その他	無回答
父母	171	43.3	25.7	7.6	2.9	22.8	0.6	9.9	1.2	1.8	36.8
祖父母	73	47.9	26.0	17.8	8.2	23.3	2.7	11.0	5.5	1.4	26.0
兄弟・姉妹	187	72.7	49.2	13.4	6.4	44.9	1.1	9.1	1.1	2.1	9.1
その他	46	30.4	17.4	6.5	2.2	19.6	4.3	19.6	-	28.3	28.3

③世話を必要としている家族×世話を始めた年齢

世話を必要としている家族が兄弟・姉妹の場合、他に比べ、「小学生(低学年)」、「就学前」の割合が高くなっている。

(%)

	(調査数 n)	就学前	(小学生 低学年)	(小学生 高学年)	無回答
父母	171	15.2	22.8	25.1	36.8
祖父母	73	15.1	27.4	28.8	28.8
兄弟・姉妹	187	20.9	35.3	35.8	8.0
その他	46	8.7	10.9	34.8	45.7

④世話を必要としている家族×世話の頻度

世話を必要としている家族が兄弟・姉妹の場合、「ほぼ毎日」の割合が他に比べ高くなっている。

(%)

	(調査数 n)	ほぼ毎日	週に3～5日	週に1～2日	1ヶ月に数日	その他	無回答
父母	171	21.1	15.8	18.1	10.5	1.8	32.7
祖父母	73	20.5	16.4	23.3	12.3	-	27.4
兄弟・姉妹	187	48.1	20.3	16.0	5.9	2.7	7.0
その他	46	23.9	10.9	13.0	2.2	15.2	34.8

⑤世話を必要としている家族×世話に費やす時間

世話を必要としている家族が兄弟・姉妹の場合、「3時間」以上の割合が他に比べ高くなっている。

(%)

	(調査数 n)	1時間程度	2時間程度	3～6時間	7時間以上	無回答
父母	171	38.6	9.4	11.1	4.7	36.3
祖父母	73	42.5	11.0	15.1	6.8	24.7
兄弟・姉妹	187	43.3	17.6	17.1	9.6	12.3
その他	46	28.3	8.7	10.9	6.5	45.7

⑥世話を必要としている家族×世話をすることを感じているきつさ（複数回答）

世話を必要としている家族が兄弟・姉妹の場合、何らかのきつさを感じている割合が、他に比べ高くなっている。

(%)

	(調査数 n)	体力の面で大変	気持ちの面で大変	時間の余裕がない	特に大変さを感じていない	無回答
父母	171	10.5	12.3	5.3	44.4	35.1
祖父母	73	6.8	16.4	8.2	43.8	27.4
兄弟・姉妹	187	13.4	24.1	20.3	50.3	8.0
その他	46	8.7	13.0	6.5	41.3	43.5

⑦世話を必要としている家族×世話に関する相談の経験

世話を必要としている家族が兄弟・姉妹の場合、世話について相談したことが「ある」と回答した割合が高くなっている。

(%)

	(調査数 n)	ある	ない	答えたくない
父母	171	18.7	63.7	17.5
祖父母	73	15.1	68.5	16.4
兄弟・姉妹	187	30.5	62.6	7.0
その他	46	8.7	58.7	32.6

⑧世話を必要としている家族×世話について相談したことがない理由（複数回答）

世話について相談したことがない理由について、世話を必要としている家族が父母の場合、「相談しても何も変わらない」の割合が、他に比べ高くなっている。

(%)

	(調査数 n)	相談するほどの悩みではないから	誰に相談するのがよいかわからないから	相談できる人がいないから	家族のことを話したくないから	相談しても何も変わらないから	その他	無回答
父母	109	32.1	6.4	2.8	5.5	21.1	1.8	38.5
祖父母	50	52.0	6.0	2.0	4.0	14.0	-	26.0
兄弟・姉妹	117	47.9	12.8	6.8	6.0	9.4	6.8	28.2
その他	27	29.6	3.7	3.7	-	18.5	25.9	22.2

(6) 世話をすることに感じているきつさによる世話の状況の違い

①世話をしていることに感じているきつさ×世話対象の状況（複数回答）

世話を必要としている家族が父母の場合、「体力の面で大変」と回答した人で「高齢」が、兄弟・姉妹の場合はきつさの内容にかかわらず「若い」の割合が高くなっている。

[父母]

	(調査数 n)	高齢 (65歳以上)	要 介 護	認 知 症	身 体 障 が い	知 的 障 が い	精 神 疾 患、 依 存 症 (疑 い 含 む)	精 神 疾 患、 依 存 症 以 外 の 病 気	日 本 語 が 苦 手	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答
体力の面で大変	18	27.8	5.6	-	-	5.6	5.6	-	5.6	44.4	11.1	11.1
気持ちの面で大変	21	-	9.5	-	-	4.8	4.8	-	-	57.1	14.3	14.3
時間の余裕がない	9	11.1	-	-	-	11.1	11.1	-	-	33.3	22.2	22.2
特に大変さを感じていない	76	7.9	6.6	-	3.9	-	-	-	2.6	53.9	17.1	15.8

[祖父母]

	(調査数 n)	高齢 (65歳以上)	要 介 護	認 知 症	身 体 障 が い	知 的 障 が い	精 神 疾 患、 依 存 症 (疑 い 含 む)	精 神 疾 患、 依 存 症 以 外 の 病 気	日 本 語 が 苦 手	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答
体力の面で大変	5	20.0	-	-	-	-	-	-	-	60.0	-	20.0
気持ちの面で大変	12	50.0	8.3	16.7	8.3	-	-	-	-	33.3	8.3	16.7
時間の余裕がない	6	33.3	-	-	-	-	-	-	-	16.7	-	50.0
特に大変さを感じていない	32	46.9	12.5	-	6.3	6.3	6.3	-	3.1	28.1	6.3	15.6

[兄弟・姉妹]

	(調査数 n)	幼 い	介 護 が 必 要	身 体 障 が い	知 的 障 が い	病 気	日 本 語 が 苦 手	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答
体力の面で大変	25	60.0	8.0	4.0	4.0	-	-	24.0	8.0	4.0
気持ちの面で大変	45	64.4	8.9	2.2	2.2	2.2	-	22.2	11.1	4.4
時間の余裕がない	38	65.8	5.3	2.6	5.3	-	-	13.2	15.8	5.3
特に大変さを感じていない	94	63.8	3.2	-	1.1	1.1	-	20.2	7.4	7.4

②世話をしていることに感じているきつさ×世話の内容（複数回答）

父母の世話の内容では、きつさの内容にかかわらず「家事」の割合がもっと高くなっている。兄弟・姉妹の場合は、「気持ちの面で大変」と回答した場合、「見守り」、「話を聞く」の割合が高く、「時間の余裕がない」と回答した場合、「家事」と「見守り」の割合が高くなっている。

[父母]

(%)

	調査数 (n=)	家事	入浴やトイレの世話	買い物や散歩にいつしよに行く	病院へいつしよに行く	話を聞く	見守り	通訳	お金の管理	薬の管理	その他	無回答
体力の面で大変	18	72.2	16.7	38.9	5.6	33.3	16.7	5.6	16.7	5.6	-	-
気持ちの面で大変	21	47.6	4.8	28.6	4.8	28.6	23.8	4.8	9.5	4.8	4.8	4.8
時間の余裕がない	9	66.7	-	44.4	11.1	33.3	44.4	-	-	11.1	11.1	-
特に大変さを感じていない	76	61.8	7.9	26.3	1.3	27.6	21.1	1.3	6.6	-	7.9	11.8

[祖父母]

(%)

	調査数 (n=)	家事	入浴やトイレの世話	買い物や散歩にいつしよに行く	病院へいつしよに行く	話を聞く	見守り	通訳	お金の管理	薬の管理	その他	無回答
体力の面で大変	5	60.0	20.0	40.0	-	40.0	20.0	-	-	-	-	-
気持ちの面で大変	12	41.7	8.3	8.3	-	25.0	25.0	8.3	-	16.7	8.3	-
時間の余裕がない	6	50.0	-	16.7	-	33.3	-	-	-	-	-	-
特に大変さを感じていない	32	53.1	9.4	31.3	-	25.0	28.1	-	3.1	-	6.3	9.4

[兄弟・姉妹]

(%)

	調査数 (n=)	家事	兄弟・姉妹のお世話や送り迎え	入浴やトイレの世話	買い物や散歩にいつしよに行く	病院へいつしよに行く	話を聞く	見守り	通訳	お金の管理	薬の管理	その他	無回答
体力の面で大変	25	36.0	24.0	32.0	28.0	4.0	40.0	48.0	-	8.0	8.0	8.0	8.0
気持ちの面で大変	45	33.3	40.0	28.9	24.4	4.4	46.7	57.8	4.4	2.2	-	-	4.4
時間の余裕がない	38	50.0	23.7	42.1	26.3	7.9	36.8	50.0	-	-	-	2.6	5.3
特に大変さを感じていない	94	38.3	28.7	14.9	19.1	2.1	19.1	43.6	1.1	3.2	2.1	7.4	7.4

③世話をしていることに感じているきつさ×世話による制約（複数回答）

世話をしているために、やりたいけれどできていないことについては、きつさの内容にかかわらず「自分の時間がとれない」が最も高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	学校を休んでしまう	遅刻や早退をしてしまう	宿題など勉強する時間がない	眠る時間が足りない	友達と遊ぶことができない	習い事ができない	自分の時間がとれない	特にない	その他	無回答
体力の面で大変	40	12.5	7.5	17.5	22.5	10.0	2.5	30.0	50.0	-	2.5
気持ちの面で大変	67	6.0	9.0	13.4	13.4	10.4	1.5	26.9	50.7	-	7.5
時間の余裕がない	50	4.0	8.0	18.0	26.0	18.0	2.0	58.0	32.0	-	-
特に大変さを感じていない	183	3.3	3.3	1.6	4.4	3.3	-	5.5	82.0	1.1	4.9

④世話をしていることに感じているきつさ×世話に関する相談経験の有無

「時間の余裕がない」と回答した場合、世話について相談したことが「ある」と回答した割合が他と比べ高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	ある	ない	答えたくない
体力の面で大変	40	30.0	57.5	12.5
気持ちの面で大変	67	28.4	58.2	13.4
時間の余裕がない	50	34.0	54.0	12.0
特に大変さを感じていない	183	20.8	66.1	13.1

⑤世話をしていることに感じているきつさ×世話について相談をしたことがない理由（複数回答）

世話について相談したことがない理由については、きつさの内容にかかわらず「相談するほどの悩みではないから」が最も高くなっている。

「時間の余裕がない」と回答した場合、「相談できる人がいない」、「家族のことを話したくない」が他に比べ高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	相談するほどの悩みではないから	誰に相談するのがよいかわからないから	相談できる人がいないから	家族のことを話したくないから	相談しても何も変わらないから	その他	無回答
体力の面で大変	23	43.5	17.4	8.7	13.0	21.7	4.3	26.1
気持ちの面で大変	39	48.7	23.1	12.8	17.9	17.9	-	12.8
時間の余裕がない	27	29.6	25.9	22.2	25.9	22.2	11.1	14.8
特に大変さを感じていない	121	48.8	6.6	2.5	-	13.2	5.0	28.9

⑥世話をしていることに感じているきつさ×世話の悩みを聞いてくれる人の有無

世話の悩みについて聞いてくれる人の有無について、「体力の面で大変」と回答した場合、「いる」が他に比べて高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	いる	いない	無回答
体力の面で大変	23	60.9	30.4	8.7
気持ちの面で大変	39	74.4	23.1	2.6
時間の余裕がない	27	70.4	25.9	3.7
特に大変さを感じていない	121	67.8	18.2	14.0

(7) 世話に関する相談の状況

① 世話に関する相談の経験×世話の頻度

世話に関する相談をしたことが「ある」と回答した場合、「ない」と回答した場合に比べ、世話の頻度について「ほぼ毎日」の割合が高くなっている。

(%)

		(調査数 n)	ほぼ毎日	週に3～5日	週に1～2日	1ヶ月に数日	その他	無回答
世話に関する相談	ある	84	42.9	20.2	14.3	8.3	4.8	9.5
	ない	249	34.1	15.7	18.1	6.8	2.4	22.9
	答えたくない	57	15.8	12.3	19.3	12.3	3.5	36.8

② 世話に関する相談の経験×世話による制約（複数回答）

世話に関する相談をしたことが「ある」と回答した場合、「ない」と回答した場合に比べ、「自分の時間がとれない」の割合が高くなっている。

(%)

		(調査数 n)	学校を休んでしまう	遅刻や早退をしてしまう	宿題など勉強する時間がない	眠る時間が足りない	友達と遊ぶことができない	習い事ができない	自分の時間がとれない	特にない	その他	無回答
世話に関する相談	ある	84	2.4	-	6.0	7.1	6.0	-	15.5	65.5	1.2	8.3
	ない	249	2.4	3.2	5.2	6.0	4.4	-	8.8	56.6	0.8	23.7
	答えたくない	57	7.0	10.5	5.3	7.0	5.3	1.8	14.0	45.6	1.8	35.1

1-3. 自由意見

本調査において、さまざまな自由意見が寄せられた。項目別に意見をまとめ掲載する。
※原文掲載を基本とし、一部編集・抜粋の上掲載。

(1) 家族の世話をしている子どものために必要だと思うこと

意見
お金の支援（複数意見）
その人が暮らしやすいようにする（複数意見）
みんなで協力すること（複数意見）
もっと優しくすること（複数意見）
気づいて声をかけたり手伝ってあげたりする。（複数意見）
思いやりの心を持つ（複数回答）
支える・聞く（複数意見）
少しでもいいから自由な時間が必要（複数意見）
少し休むことが必要だと思う（複数意見）
お世話している人のことを知って、大人が補助(必要なものの給付する、代わりにやっであげる等)するほうがいいと思う。
お世話の手伝い
お世話をしている子の気持ちを考えること
ご褒美をあげる
そのことを誰かに行って心を落ち着かせればよかった
そのような子供に給付金やケアが必要だと思う。
その子が困っているならできるだけ助ける。でもその子が話す事を嫌がっているなら深追いせず、その子が一番してほしい事をする。
その子供にお金やご飯、道具を支援したりする。
その人たちを差別しないこと
それに合った法律や介護をしてくれる人、話を聞いてくれる人、必要なお金
それを知ったとしても普段どおり仲良く接していくこと
ちゃんと面倒お見上げてお年寄りお大事にすること
みんなで支えながらその人を元気にする
メンタルを整える人が必要
ヤングケアラーのために、募金や手伝いなどが必要だと思う
一緒に遊ぶこと
家族のお世話をしている人に気軽に悩みを言えるアプリなどがあればいいと思う。
学校の担任の先生じゃない先生で、同じ性別の人に話を言えるといいと思う。
家族のお世話をしている人は、学校へ行きにくい場合があるのでリモートで授業をしたり勉強のできる環境を作ると良い。あと、地域ぐるみでヤングケアラーを支援することが必要。
学校はヤングケアラーだからなど言わずに、みんなと同じ平等な教育を受けると良い。
家族のことを誰かに話した方がいいと思う
家族の世話を代わりにしてくれる人をつくる。
子どもたちに介護などをさせないよう、親子に公的なサポートができることなどを情報として伝えてほしい。
子供のための簡単に介護を行える道具や機械のようなものがあればいいと思う
子供を愛する気持ちが必要
家事を全部子供に任せない
私はお世話などはしていませんが、もしそんな悩みを持っている子には、その子にとって良い方法で、大人の人に伝えてほしいと思います。

意見
児童保育
宿題など、家庭学習の軽減。
助ける
助けを求めること
小学生などでも通信講座のようにして勉強ができるようにすること
少し手伝いに来てもらう。
人の個性、感覚、価値観を見て、寄り添うこと
世話をしている人全員で協力してすること
声をかける
税金を使って病院の入院費や支援をしたらいいと思います
相談にのってもらおう。
相談を聞いてあげる
誰か手伝ってあげるといいと思う
悩みを気軽に相談できる場所
不安のある人の話を聞く
普通の生活が必要だと思う
勉強を教える
無料でお世話をしてくれる人が居ればいいと思う
無料で家に来てくれる介護施設
良心的な待遇
お世話をするのは良いことだけど、自分の時間を大切にしたらいいと思います。
障害の人などのことについて、どんなことが大変かや、何をしているのか、困っていることは何かなど、具体的なことを知ってもらう
食事の健康生活の自習が必要だと思う
親は仕事と家事に追われていて、幼い弟の面倒をみないといけな。家事を気軽にサポートしてくれる機関があれば、子どももっと関われると思う。

(2) 家族にしてもらいたいこと

意見
学校から帰ってきて家についたときに弟のお世話をしてほしい
2人を見る時喧嘩させないようにする
家族??で協力してよ__
子供のことも考えてほしい。
親が、もっと、早く帰ってほしい。
弟や妹の世話を手伝ってほしい
姉妹だからと言って、姉任せにしてほしくは無いです。
妹だけでなく私にも自由時間がほしいです。

(3) 学校や周りの大人にしてもらいたいこと

意見
みんなが元気にできるように。
やっぱり大人も子供に頼ってしまうことがあるから、そこはきちんと、大人の方が色々してほしいなって思います
介護が必要な時に周りの大人に手伝ってほしい
学校側からも、1対1の面談など、相手を気遣う行動をしてほしい
意外と学校での悩みはあると思うから悩みを聞いて欲しい
学校でお世話についての活動をしたらいいと思う
学校の先生に(女の先生)毎月か2ヶ月に一回など相談できる日を作って欲しいです。
自分からはなかなか言にくいのでそうして欲しいです。
子供に、虐待をしない大人になるように教育して欲しい
子供の心についても少し深く考えて欲しい
ゆっくりと教えてもらいたい

(4) 自身の気持ちや困っている状況について

意見
一緒に遊んだり楽しいことしたい (複数意見)
自分の時間が欲しい (複数意見)
勉強を教えてほしい (複数意見)
そうゆう人を変な目で見ないでください似たような意味でも差別とかしないでそのためにそうゆう人たちに早く気づいてあげて支えてください!
どうやったら友達を増やせるか教えてもらいたい
ふつうになりたい
へこんでる人の気持ちを聞いてほしい
もう少しゆうことを聞いてほしい
一人でお世話するのが大変だから助けてほしい
気軽に話せる人がほしい。
高校受験や大学受験のこと
差別とかは、しないで、その子に、できないこと、できることを認めてあげてほしい。また、そうゆうことで、いじめをしないでほしい
私のお兄ちゃんは自閉症です。お兄ちゃんは外に出て遊ぶのが大好きです、ですが遊びに行くとほとんどの人がお兄ちゃんを変な目で見てきます。そしてひどいときは「気持ち悪い」、「あれやばくね」など言われます。過去に友達にも色々言われました、私はそれが一番許せない、憎い。こういうことを少しでも減らしたいです。そのためにはポスターでもなんでもいいから何かしらしてほしいです。難しい話かもしれませんが、、、例えば授業で知的障がい者のことなどすこしでもいいから知的障がい者について皆さんに知ってもらいたいです。

意見
支援をしてほしい
事情を知って宿題など家庭学習を少しでも減らして欲しいです。
自分の話をしっかり聞いてほしい
自分は結構重い病気にかかってしまい、3ヶ月間入院していて、まだ治っていないし、そして世話をしていると、ストレスになる。そして悪化してしまいそう。
身軽に相談出来るようにしてあげたい
直接ではない形でのアドバイスや相談に乗って欲しい
任せることばかりじゃなくてももう少し手伝ってほしい
放課後の勉強教室がほしい（家ではあまり集中できないので放課後に勉強をする場所と時間がほしい）
遊び時間が欲しい
状況を知らないまわりの人に理解してほしい（どのくらい大変か）
保護などをしてほしい
知的障害者のお世話を手伝ってほしい

(5) その他の意見

意見
命の大切さ
いじめをしない
必要だと思うのは、お世話を大切にする。

II. 調査結果 [中学2年生]

II - 1. 基本分析 全体及び居住地別

(1) 基本情報

①性別

回答者の性別は、以下の通り。

(%)

	(調査数)	男性	女性	その他	無回答
全体	4294	45.4	53.0	0.3	1.3
南加賀	1213	47.2	51.3	0.5	1.0
石川中央	2546	44.9	54.5	0.3	0.4
能登中部	264	40.9	58.0	0.4	0.8
能登北部	215	51.6	47.9	0.5	-

②居住地

回答者の居住地は、以下の通り。

(%)

	(調査数)	金沢市	七尾市	小松市	輪島市	珠洲市	加賀市	羽咋市	かほく市	白山市	能美市
全体	4294	33.2	1.6	12.7	1.0	1.2	7.2	0.7	1.0	13.4	6.4
南加賀	1213	-	-	45.1	-	-	25.5	-	-	-	22.8
石川中央	2546	55.9	-	-	-	-	-	-	1.7	22.6	-
能登中部	264	-	25.8	-	-	-	-	11.0	-	-	-
能登北部	215	-	-	-	20.0	23.3	-	-	-	-	-

	(調査数)	野々市市	川北町	津幡町	内灘町	志賀町	宝達志水町	中能登町	穴水町	能登町	無回答
全体	4294	9.8	1.9	1.3	0.6	0.4	0.7	2.7	1.0	1.8	1.3
南加賀	1213	-	6.7	-	-	-	-	-	-	-	-
石川中央	2546	16.6	-	2.2	1.0	-	-	-	-	-	-
能登中部	264	-	-	-	-	7.2	11.7	44.3	-	-	-
能登北部	215	-	-	-	-	-	-	-	20.5	36.3	-

③同居家族

「母親」が最も高く、次いで「父親」、「兄・姉」、「弟・妹」となっている。

(%)

	(調査数 n)	母親	父親	祖母	祖父	兄・姉	弟・妹	その他	無回答
全体	4294	97.1	85.7	20.8	14.8	45.8	49.9	6.7	0.9
南加賀	1213	97.9	86.6	22.7	17.0	47.1	52.1	7.4	0.1
石川中央	2546	98.2	86.5	16.5	10.9	45.5	49.7	6.3	0.2
能登中部	264	95.8	84.8	36.0	28.0	44.3	47.7	9.1	0.8
能登北部	215	94.9	83.7	42.8	33.0	50.2	47.0	5.1	0.9

④家族構成

「二世代世帯」が最も高くなっている。

(%)

	(調査数 n)	三世代世帯	二世代世帯	ひとり親家庭	その他	無回答
全体	4294	18.0	66.3	14.3	0.5	0.9
南加賀	1213	18.3	66.5	14.8	0.2	0.1
石川中央	2546	14.8	70.7	13.9	0.5	0.2
能登中部	264	32.2	50.8	14.8	1.5	0.8
能登北部	215	35.8	45.1	16.7	1.4	0.9

⑤健康状態

「よい」と「まあよい」を合わせ、「よい」と回答した人は8割弱となっている。

(%)

	(調査数 n)	よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	無回答
全体	4294	59.8	19.7	16.1	2.9	0.7	0.8
南加賀	1213	56.6	22.1	17.4	2.7	0.9	0.3
石川中央	2546	60.6	19.8	15.8	3.1	0.6	0.2
能登中部	264	68.2	15.9	13.3	2.3	0.4	-
能登北部	215	67.0	12.6	18.6	1.4	-	0.5

(2) ふだんの生活について

①学校への通学状況：出席状況

学校の出席状況は、「ほとんど欠席しない」が7割を超え、最も高くなっている。

(%)

	(調査数 n)	ほとんど 欠席しない	たまに 欠席する	よく 欠席する	無回答
全体	4294	77.5	9.1	12.4	1.0
南加賀	1213	79.4	8.5	11.8	0.3
石川中央	2546	77.3	9.5	12.8	0.4
能登中部	264	81.4	6.1	12.5	-
能登北部	215	75.3	13.0	11.6	-

②学校への通学状況：遅刻や早退の状況

学校の遅刻や早退の状況は、「ほとんどしない」が9割弱と最も高くなっている。

(%)

	(調査数 n)	ほとんど しない	たまに する	よく する	無回答
全体	4294	87.3	9.5	2.1	1.0
南加賀	1213	87.1	10.1	2.1	0.7
石川中央	2546	87.9	9.7	2.1	0.4
能登中部	264	92.8	4.5	2.7	-
能登北部	215	85.6	12.6	1.9	-

③部活動への参加状況

部活動の参加状況は、「参加している」が9割を超えている。

(%)

	(調査数 n)	参加 している	参加 していない	無回答
全体	4294	93.6	5.2	1.2
南加賀	1213	95.8	3.9	0.3
石川中央	2546	93.0	6.3	0.7
能登中部	264	95.5	4.2	0.4
能登北部	215	97.2	2.3	0.5

④ふだんの学校生活等であてはまること（複数回答）

ふだんの学校生活等であてはまることについては、「特にない」が5割を超え最も高くなっているが、その他では、「宿題や課題ができていないことが多い」が最も高い。

(%)

	調査数 (n)	授業中に居眠りすることが多い	宿題や課題ができていないことが多い	持ち物の忘れ物が多い	部活動や習い事を休むことが多い	提出しなればいけない書類などの提出が遅れることが多い	修学旅行などの宿泊行事を欠席する	保健室で過ごすことが多い	学校では一人で過ごすことが多い	友人と遊んだりおしゃべりしたりする時間が少ない	特にない	無回答
全体	4294	15.1	18.0	14.7	4.5	15.8	0.3	0.9	5.0	3.9	59.9	3.4
南加賀	1213	17.7	25.1	18.1	4.0	20.6	0.1	1.3	4.8	3.5	53.7	3.0
石川中央	2546	13.8	15.1	13.4	5.0	14.4	0.3	0.7	5.2	4.1	62.6	2.6
能登中部	264	12.1	14.0	9.8	3.4	10.2	1.5	1.5	5.7	4.5	71.2	3.4
能登北部	215	19.5	18.6	18.6	4.2	13.0	-	0.5	3.7	2.8	56.3	3.3

⑤現在の悩みや困りごと（複数回答）

現在の悩みや困りごとについては、「学業成績のこと」が最も高く、次いで「進路のこと」となっている。

(%)

	調査数 (n)	友人との関係のこと	学業成績のこと	進路のこと	部活動のこと	学費など学校生活に必要なお金のこと	塾（通信含む）や習い事ができない	家庭の経済的状況のこと
全体	4294	13.4	30.0	24.1	14.4	1.7	1.4	2.7
南加賀	1213	16.8	32.9	25.1	16.3	1.8	0.7	2.3
石川中央	2546	12.2	30.6	24.8	13.5	1.8	1.8	3.1
能登中部	264	14.0	22.7	20.5	17.4	1.9	1.9	1.5
能登北部	215	7.4	19.5	18.1	11.2	0.5	0.5	2.3

	調査数 (n)	自分と家族との関係のこと	家族内の人間関係のこと	病気や障がいのある家族のこと	自分のために使える時間が少ない	特にない	その他	無回答
全体	4294	3.9	3.1	0.9	3.7	50.6	2.0	4.5
南加賀	1213	3.9	3.1	1.0	4.5	46.8	2.2	4.7
石川中央	2546	4.2	3.3	0.9	3.5	51.8	1.8	3.3
能登中部	264	3.4	1.1	0.8	4.2	56.1	2.7	4.9
能登北部	215	2.8	2.3	-	1.9	58.1	1.4	3.7

⑥悩みや困りごとの相談相手・話を聞いてくれる人の有無

何らかの悩みや困りごとがあると回答した人に、相談相手・話を聞いてくれる人の有無について聞いたところ、「相談相手や話を聞いてくれる人がいる」が7割を超え最も高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	相談相手や話を聞いてくれる人がいる	相談相手や話を聞いてくれる人がいない	相談や話はしたくない	無回答
全体	4294	75.6	2.6	19.0	2.9
南加賀	1213	76.5	2.6	18.7	2.1
石川中央	2546	76.0	2.6	19.1	2.2
能登中部	264	79.9	1.1	17.4	1.5
能登北部	215	71.6	3.3	22.8	2.3

(3) 家庭や家族のことについて

①世話をしている家族の有無

世話をしている家族の有無については、以下の通り。

(%)

	(調査数 n)	いる	いない	答えたくない
全 体	4294	5.0	92.9	2.1
南加賀	1213	4.9	93.0	2.1
石川中央	2546	4.6	93.4	2.0
能登中部	264	6.4	90.9	2.7
能登北部	215	7.9	90.2	1.9

②世話を必要としている家族（複数回答）

世話を必要としている家族については、「兄弟・姉妹」が最も高くなっている。

(%)

	(調査数 n)	父 母	祖 父 母	兄 弟 ・ 姉 妹	そ の 他	無 回 答
全 体	214	30.4	20.6	50.0	13.6	8.9
南加賀	60	41.7	18.3	50.0	5.0	10.0
石川中央	116	27.6	14.7	53.4	19.0	10.3
能登中部	17	11.8	41.2	47.1	17.6	-
能登北部	17	29.4	52.9	23.5	5.9	5.9

③父母の状況（複数回答）／父母への世話の内容（複数回答）

世話を必要としている家族として「父母」と回答した人に、父母の状況を聞いたところ、「高齢」が高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	高齢 (65歳以上)	要介護	認知症	身体障がい	知的障がい	精神疾患 (疑い含む)	依存症 (疑い含む)	精神疾患・依存症以外 の病気	その他	無回答
全 体	65	26.2	4.6	1.5	3.1	6.2	3.1	6.2	3.1	4.6	53.8
南加賀	25	40.0	12.0	4.0	4.0	12.0	4.0	16.0	8.0	4.0	32.0
石川中央	32	15.6	-	-	3.1	-	3.1	-	-	3.1	68.8
能登中部	2	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-	-	50.0
能登北部	5	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	80.0

世話を必要としている家族として「父母」と回答した人に、世話の内容を聞いたところ、「家事」が最も高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	家事	身体的な介護	外出の付き添い	通院の付き添い	感情面のサポート	見守り	通訳	金銭管理	薬の管理	その他	無回答
全 体	65	56.9	4.6	29.2	1.5	7.7	15.4	-	4.6	1.5	-	29.2
南加賀	25	64.0	4.0	32.0	4.0	4.0	24.0	-	4.0	4.0	-	20.0
石川中央	32	50.0	6.3	28.1	-	9.4	9.4	-	6.3	-	-	37.5
能登中部	2	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	50.0
能登北部	5	60.0	-	20.0	-	-	20.0	-	-	-	-	20.0

④ 祖父母の状況（複数回答） / 祖父母への世話の内容（複数回答）

世話を必要としている家族として「祖父母」と回答した人に、祖父母の状況を聞いたところ、「高齢」が最も高く、次いで「認知症」となっている。

(%)

	調査数 (n)	高齢 (65歳以上)	要介護	認知症	身体障がい	知的障がい	精神疾患 (疑い含む)	依存症 (疑い含む)	精神疾患・依存症以外 の病気	その他	無回答
全 体	44	72.7	4.5	6.8	4.5	4.5	-	2.3	-	2.3	22.7
南加賀	11	90.9	-	-	-	-	-	9.1	-	-	-
石川中央	17	47.1	-	5.9	5.9	5.9	-	-	-	-	47.1
能登中部	7	100.0	28.6	14.3	14.3	14.3	-	-	-	14.3	-
能登北部	9	77.8	-	11.1	-	-	-	-	-	-	22.2

世話を必要としている家族として「祖父母」と回答した人に、世話の内容を聞いたところ、「家事」、次いで「外出の付き添い」と「見守り」が高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	家事	身体的な介護	外出の付き添い	通院の付き添い	感情面のサポート	見守り	通訳	金銭管理	薬の管理	その他	無回答
全 体	44	47.7	4.5	29.5	2.3	15.9	29.5	-	2.3	-	4.5	13.6
南加賀	11	54.5	9.1	36.4	-	18.2	45.5	-	-	-	-	-
石川中央	17	47.1	5.9	29.4	-	-	11.8	-	5.9	-	5.9	29.4
能登中部	7	57.1	-	14.3	14.3	42.9	57.1	-	-	-	14.3	-
能登北部	9	33.3	-	33.3	-	22.2	22.2	-	-	-	-	11.1

⑤兄弟・姉妹の状況（複数回答）／兄弟・姉妹への世話の内容（複数回答）

世話を必要としている家族として「兄弟・姉妹」と回答した人に、兄弟・姉妹の状況を聞いたところ、「若い」が最も高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	若い	要介護	認知症	身体障がい	知的障がい	精神疾患 (疑い含む)	依存症 (疑い含む)	精神疾患・ 依存症以外 の病気	その他	無回答
全 体	107	69.2	1.9	-	2.8	9.3	-	1.9	0.9	4.7	14.0
南加賀	30	63.3	3.3	-	3.3	16.7	-	6.7	3.3	3.3	6.7
石川中央	62	71.0	1.6	-	1.6	8.1	-	-	-	3.2	19.4
能登中部	8	62.5	-	-	12.5	-	-	-	-	12.5	12.5
能登北部	4	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-

世話を必要としている家族として「兄弟・姉妹」と回答した人に、世話の内容を聞いたところ、「見守り」が最も高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	家事	兄弟・ 姉妹の 世話や 保	身体的な 介護	外出の 付き添い	通院の 付き添い	感情面 のサポ ート	見守り	通訳	金銭 管理	薬の 管理	その他	無 回 答
全 体	107	39.3	32.7	15.0	26.2	1.9	7.5	56.1	-	0.9	-	3.7	10.3
南加賀	30	40.0	26.7	10.0	23.3	-	6.7	60.0	-	-	-	-	6.7
石川中央	62	38.7	35.5	19.4	29.0	1.6	8.1	58.1	-	1.6	-	3.2	12.9
能登中部	8	37.5	37.5	-	25.0	12.5	12.5	50.0	-	-	-	12.5	12.5
能登北部	4	50.0	25.0	25.0	25.0	-	-	25.0	-	-	-	-	-

⑥世話を一緒にしている人（複数回答）

世話を一緒にしている人については、「母親」が最も高くなっている。

(%)

	(調査数 n)	母親	父親	祖母	祖父	兄弟・姉妹	親戚の人	自分のみ	福祉サービスを利用	その他	無回答
全体	214	59.3	46.7	15.9	9.8	33.2	3.3	13.1	2.3	2.8	18.7
南加賀	60	63.3	45.0	16.7	11.7	30.0	-	13.3	3.3	-	21.7
石川中央	116	55.2	45.7	14.7	9.5	34.5	2.6	14.7	1.7	4.3	19.0
能登中部	17	58.8	47.1	17.6	5.9	23.5	17.6	5.9	5.9	5.9	17.6
能登北部	17	70.6	58.8	17.6	11.8	29.4	5.9	5.9	-	-	11.8

⑦世話を始めた年齢

世話を始めた時期については、「小学校（高学年）以降」が最も高くなっている。

(%)

	(調査数 n)	就学前	小学校 (低学年)	小学校 (高学年)	中学生以降	無回答
全体	214	12.1	15.8	39.2	10.7	22.0
南加賀	60	8.3	15.0	43.3	11.7	21.7
石川中央	116	15.5	18.2	33.6	10.3	22.4
能登中部	17	11.8	11.8	41.2	0.0	35.3
能登北部	17	0.0	11.8	58.8	17.6	11.8

⑧世話をしている頻度

世話をしている頻度については、「ほぼ毎日」が最も高くなっている。

(%)

	(調査数 n)	ほぼ毎日	週に3〜5日	週に1〜2日	1ヶ月に数日	その他	無回答
全体	214	32.7	16.4	18.2	9.3	4.7	18.7
南加賀	60	28.3	18.3	18.3	13.3	-	21.7
石川中央	116	36.2	11.2	19.0	8.6	6.9	18.1
能登中部	17	47.1	11.8	11.8	-	5.9	23.5
能登北部	17	5.9	41.2	23.5	11.8	5.9	11.8

⑨平日1日あたりに世話に費やす時間

平日1日あたりに世話に費やす時間については、「1時間程度」が最も高く、平均では2時間前後となっている。

(%)

	(調査数 n)	1時間程度	2時間程度	3 ～ 6時間	7時間以上	無回答	平均(時間)
全体	214	43.0	17.3	13.1	3.3	23.4	2.2
南加賀	60	40.0	20.0	15.0	5.0	20.0	2.2
石川中央	116	46.6	14.7	12.1	2.6	24.1	2.0
能登中部	17	17.6	29.4	11.8	5.9	35.3	3.9
能登北部	17	52.9	17.6	11.8	-	17.6	1.7

⑩世話をしているために、やりたいけれどできていないこと(複数回答)

世話をしているために、やりたいけれどできていないことについては、「特になし」が最も高く6割以上を占めているが、その他では「自分の時間が取れない」、「宿題や勉強する時間が取れない」、「睡眠が十分に取れない」が高くなっている。

(%)

	(調査数 n)	学校に行きたくてもいけない	どうしても学校を遅刻・早退してしまう	宿題をする時間や勉強する時間が取れない	睡眠が十分に取れない	友人と遊ぶことができない	部活や習い事ができない、辞めざるを得なかった	進路の変更を考えざるを得ない、進路を変更したい	自分の時間が取れない	特になし	その他	無回答
全体	214	0.9	1.4	7.9	5.1	4.7	0.5	0.5	8.4	68.7	-	15.9
南加賀	60	3.3	1.7	10.0	6.7	3.3	-	-	11.7	63.3	-	16.7
石川中央	116	-	1.7	7.8	5.2	5.2	0.9	0.9	6.9	68.1	-	16.4
能登中部	17	-	-	11.8	5.9	11.8	-	-	5.9	76.5	-	11.8
能登北部	17	-	-	-	-	-	-	-	5.9	82.4	-	17.6

⑪世話のきつさ（複数回答）

世話をすることを感じているきつさについては、「特にきつさは感じていない」が最も高く、その他では「時間的余裕がない」が高くなっている。

(%)

	(調査数 n)	身体的にきつい	精神的にきつい	時間的余裕がない	特にきつさは感じていない	無回答
全体	214	3.7	7.9	10.3	69.6	15.9
南加賀	60	5.0	6.7	11.7	61.7	20.0
石川中央	116	2.6	8.6	10.3	71.6	15.5
能登中部	17	5.9	11.8	11.8	58.8	17.6
能登北部	17	-	-	-	94.1	5.9

⑫世話について相談した経験

世話について相談した経験は、「ある」が2割弱となっている。

(%)

	(調査数 n)	ある	ない	答えたくない
全体	214	17.3	73.4	9.3
南加賀	60	18.3	76.7	5.0
石川中央	116	16.4	71.6	12.1
能登中部	17	11.8	70.6	17.6
能登北部	17	17.6	82.4	-

⑬世話についての相談相手（複数回答）

世話についての相談相手は、「家族」と「友人」が高くなっている。

(%)

	調査数 (n11)	家族	親戚	友人	学校の先生	保健室の先生	スクールソーシャルワーカー・カウンセラー	医師や看護師、その他病院の人	社サ―ビスの人	ヘルパー、ケアマネージャー、福祉	役所や保健センターの人	近所の人	SNS上での知り合い	その他
全 体	37	83.8	2.7	54.1	27.0	8.1	8.1	2.7	-	-	-	-	2.7	-
南加賀	11	90.9	9.1	63.6	45.5	-	9.1	-	-	-	-	-	-	-
石川中央	19	89.5	-	52.6	26.3	5.3	-	-	-	-	-	-	-	-
能登中部	2	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-
能登北部	3	66.7	-	33.3	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-

⑭世話について相談したことがない理由（複数回答）

世話について相談した経験が「ない」と回答した人に、その理由について聞いたところ、「誰かに相談するほどの悩みではない」が5割強で最も高くなっている。

(%)

	調査数 (n11)	誰かに相談するほどの悩みではない	家族以外の人に相談するよ	うな	誰に相談するのがよいか	から	相談できる人が身近に	いない	家族のこのため話し	に	家族のこのため話し	い	家族のこのため話し	た	家族に対して偏見を持たれ	は	相談しても状況が変わると	は	思わない	その他	無回答
全 体	157	55.4	8.9	4.5	3.2	3.8	1.9	1.3	8.9	4.5	24.8										
南加賀	46	56.5	13.0	2.2	-	6.5	2.2	2.2	13.0	2.2	23.9										
石川中央	83	51.8	8.4	4.8	4.8	3.6	2.4	1.2	7.2	3.6	30.1										
能登中部	12	58.3	-	8.3	8.3	-	-	-	8.3	16.7	16.7										
能登北部	14	71.4	7.1	7.1	-	-	-	-	-	7.1	7.1										

⑮世話について悩みを聞いてくれる人の有無

世話について相談した経験が「ない」と回答した人に、世話について悩みを聞いてくれる人の有無を聞いたところ、6割強が「いる」と回答している。

(%)

	調査数 (n)	いる	いない	無回答
全 体	157	68.8	19.1	12.1
南加賀	46	60.9	28.3	10.9
石川中央	83	66.3	19.3	14.5
能登中部	12	75.0	8.3	16.7
能登北部	14	100.0	-	-

⑮学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援（複数回答）

学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援については、「特にない」が6割前後を占めているが、その他では、「学校の勉強や受験勉強など学習のサポート」、「進路や就職など将来の相談にのってほしい」が高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	自分のいまの状況について話を聞いてほしい	家族の世話について相談にのってほしい	家族の病気や障がい、ケアなどわかりやすく説明してほしい	行っている世話をすべて代わってくれる人やサビスがほしい	行っている世話の一部を代わってくれる人やサビスがほしい	自由に使える時間がほしい	進路や就職など将来の相談にのってほしい	学校の勉強や受験勉強など学習のサポート	家庭への経済的な支援	わからない	特にない	その他	無回答
全 体	214	8.4	5.1	2.3	1.4	0.9	7.0	9.3	12.1	2.8	13.1	61.7	-	7.9
南加賀	60	10.0	8.3	1.7	-	1.7	8.3	10.0	13.3	-	8.3	56.7	-	8.3
石川中央	116	7.8	3.4	2.6	1.7	0.9	6.9	9.5	12.9	4.3	13.8	64.7	-	7.8
能登中部	17	11.8	5.9	5.9	5.9	-	11.8	11.8	17.6	5.9	23.5	41.2	-	11.8
能登北部	17	-	-	-	-	-	-	5.9	-	-	11.8	82.4	-	5.9

(4) ヤングケアラーについて

①ヤングケアラーの自覚

自分がヤングケアラーにあてはまると思うかについて聞いたところ、「あてはまる」が全体で1.6%となっている。

家族の世話の有無別に見ると、家族の世話をしていると回答した人のうち、13.6%が「自分がヤングケアラーにあてはまる」と回答し、56.1%が「あてはまらない」と回答している。

(%)

	(調査数 n)	あてはまる	あてはまらない	わからない	無回答
全体	4294	1.6	89.3	8.5	0.6
南加賀	1213	2.1	87.8	9.7	0.3
石川中央	2546	1.2	90.7	7.7	0.5
能登中部	264	2.3	89.8	8.0	-
能登北部	215	1.9	85.1	12.1	0.9

[家族の世話の有無別]

(%)

		(調査数 n)	あてはまる	あてはまらない	わからない	無回答
世話をしている家族	いる	214	13.6	56.1	28.0	2.3
	いない	3989	0.9	92.2	6.6	0.4
	答えたくない	91	6.6	41.8	49.5	2.2

②ヤングケアラーの認知度

ヤングケアラーの認知度については、「聞いたことがあり、内容も知っている」が全体の19.5%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が全体の18.4%となっている。

(%)

	調査数 (n)	聞いたことがあり、 内容も知っている	聞いたことはあるが、 よく知らない	聞いたことはない	答えたくない
全 体	4294	19.5	18.4	61.4	0.6
南加賀	1213	22.0	20.9	56.4	0.7
石川中央	2546	18.9	17.8	62.8	0.5
能登中部	264	20.8	18.9	59.8	0.4
能登北部	215	11.6	12.6	74.9	0.9

③ヤングケアラーについて知ったきっかけ（複数回答）

ヤングケアラーについて、「聞いたことがあり、内容も知っている」、「聞いたことはあるが、よく知らない」と回答した人に、知ったきっかけを聞いたところ、「テレビや新聞、ラジオ」が6割を超え最も高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	テレビや新聞、 ラジオ	雑誌や本	SNSや インターネット	広報やチラシ、 提示物	イベントや交流会など	学校	友人・知人から聞いた	その他	無回答
全 体	1630	61.6	12.5	24.2	7.2	1.1	31.2	5.4	3.6	1.8
南加賀	521	56.0	10.2	22.1	6.5	1.2	43.6	5.4	3.1	1.5
石川中央	933	66.1	12.8	25.3	7.6	0.9	24.1	5.9	3.6	2.0
能登中部	105	51.4	15.2	25.7	6.7	2.9	36.2	3.8	6.7	-
能登北部	52	61.5	23.1	23.1	5.8	-	25.0	1.9	1.9	-

II - 2. 追加分析

(1) 家族の世話の有無による学校生活等の状況

① 家族の世話×家族構成

世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、「三世代世帯」の割合が高くなっている。

(%)

		(調査数)	三世代世帯	二世代世帯	ひとり親家庭	その他	無回答
世話をしている家族	いる	214	23.4	57.5	16.8	0.9	1.4
	いない	3989	17.6	67.1	14.0	0.5	0.9
	答えたくない	91	22.0	53.8	18.7	2.2	3.3

② 家族の世話の有無×健康状態

世話をしている家族がいる場合といない場合を比べて、健康状態が「よくない・あまりよくない」割合に差は見られない。

(%)

		(調査数)	よい・まあよい	ふつう	よくない・あまりよくない	無回答
世話をしている家族	いる	214	78.0	17.3	3.3	1.4
	いない	3989	80.1	15.8	3.4	0.8
	答えたくない	91	57.1	29.7	11.0	2.2

③ 家族の世話の有無×出席状況

世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、学校を「たまに欠席する」割合が高くなっている。

(%)

		(調査数)	ほとんど欠席しない	たまに欠席する	よく欠席する	無回答
世話をしている家族	いる	214	68.2	15.9	13.6	2.3
	いない	3989	78.3	8.5	12.2	0.9
	答えたくない	91	60.4	18.7	18.7	2.2

④家族の世話の有無×遅刻や早退の状況

世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、遅刻や早退を「たまにする」、「よくする」割合が高くなっている。

(%)

		調査数 (nⅡ)	ほとんどしない	たまにする	よくする	無回答
世話をしている家族	いる	214	83.2	11.7	4.2	0.9
	いない	3989	87.8	9.3	1.9	1.0
	答えたくない	91	74.7	17.6	5.5	2.2

⑤家族の世話の有無×学校生活等であてはまること（複数回答）

世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、全体的に回答割合が高い傾向が見られ、「授業中に居眠りすることが多い」、「提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い」が高くなっている。

(%)

		調査数 (nⅡ)	授業中に居眠りすることが多い	宿題や課題ができていないことが多い	持ち物の忘れ物が多い	部活動や習い事を休むことが多い	提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い	修学旅行などの宿泊行事を欠席する	保健室で過ごすことが多い	学校では一人で過ごすことが多い	友人と遊んだりおしゃべりしたりする時間が少ない	特にない	無回答
世話をしている家族	いる	214	22.4	20.1	15.4	8.4	19.2	1.4	1.4	5.6	5.6	55.6	4.2
	いない	3989	14.4	17.4	14.3	4.1	15.2	0.2	0.8	4.9	3.9	60.5	3.4
	答えたくない	91	26.4	38.5	29.7	14.3	33.0	3.3	4.4	11.0	3.3	41.8	3.3

⑥家族の世話の有無×現在の悩みや困りごと（複数回答）

世話をしている家族がいる場合、いない場合を比較して、大きな差は見られない。

(%)

		調査数 (nII)	友人との関係のこと	学業成績のこと	進路のこと	部活動のこと	学費など学校生活に必要なお金のこと	塾（通信含む）や習い事ができない	家庭の経済的状況のこと
世話をしている家族	いる	214	15.0	34.1	28.5	16.8	1.9	2.3	3.3
	いない	3989	13.1	29.8	23.8	14.2	1.6	1.2	2.5
	答えたくない	91	19.8	27.5	26.4	18.7	7.7	7.7	11.0

		調査数 (nII)	自分と家族との関係のこと	家族内の人間関係のこと	病気や障がいのある家族のこと	自分のために使える時間が少ない	特にない	その他	無回答
世話をしている家族	いる	214	7.5	5.1	3.3	4.2	43.9	4.2	4.7
	いない	3989	3.5	2.8	0.7	3.5	51.0	1.8	4.5
	答えたくない	91	16.5	11.0	5.5	11.0	47.3	2.2	4.4

⑦家族の世話の有無×相談相手の有無

世話をしている家族がいる場合、いない場合を比較して、大きな差は見られない。

(%)

		調査数 (nII)	相談相手がいる話聞いて	相談相手がいない話聞いて	相談や話はしたくない	無回答
世話をしている家族	いる	214	80.4	3.7	13.6	2.3
	いない	3989	76.1	2.4	18.7	2.8
	答えたくない	91	41.8	7.7	44.0	6.6

(2) 性別による世話の状況の違い

①性別×家族の世話の有無

世話をしている家族の有無については、性別による大きな差は見られない。

(%)

	(調査数 n)	いる	いない	答えたくない
男性	1950	6.3	91.0	2.8
女性	2274	3.9	94.6	1.5
その他	15	-	100.0	-

②性別×世話の内容（複数回答）

世話の内容については、世話を必要としている家族が、
 父母の場合は、「見守り」と「外出の付き添い」は女性が高い。
 祖父母の場合は、「見守り」は女性が、「家事」と「外出の付き添い」は男性が高い。
 兄弟・姉妹の場合は、「家事」、「兄弟・姉妹の世話や保育所等への送迎」は女性が、「外出の付き添い」は男性が高い。

[父母への世話の内容]

(%)

	(n)	家事	身体的な介護	外出の付き添い	通院の付き添い	感情面のサポート	見守り	通訳	金銭管理	薬の管理	その他	無回答
男性	40	57.5	5.0	25.0	-	5.0	12.5	-	5.0	-	-	27.5
女性	24	54.2	4.2	33.3	4.2	12.5	20.8	-	4.2	4.2	-	33.3
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

[祖父母への世話の内容]

(%)

	(n)	家事	身体的な介護	外出の付き添い	通院の付き添い	感情面のサポート	見守り	通訳	金銭管理	薬の管理	その他	無回答
男性	31	51.6	3.2	32.3	-	16.1	25.8	-	3.2	-	6.5	9.7
女性	13	38.5	7.7	23.1	7.7	15.4	38.5	-	-	-	-	23.1
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

[兄弟・姉妹への世話の内容]

(%)

	(n)	家事	兄弟・姉妹の世話や保育所等への送迎など	身体的な介護	外出の付き添い	通院の付き添い	感情面のサポート	見守り	通訳	金銭管理	薬の管理	その他	無回答
男性	52	32.7	23.1	13.5	32.7	1.9	5.8	57.7	-	1.9	-	5.8	13.5
女性	53	47.2	39.6	17.0	18.9	1.9	9.4	56.6	-	-	-	1.9	7.5
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

③性別×世話の開始時期

世話を始めた時期については、男女とも「小学生（高学年）」が最も高くなっている。

(%)

	(調査数 n)	就学前	(小学生 低学年)	(小学生 高学年)	中学生以降	無回答
男性	122	8.2	15.6	33.6	23.0	19.7
女性	88	9.1	12.5	33.0	20.5	25.0
その他	-	-	-	-	-	-

④性別×世話の頻度

世話の頻度については、男女とも「ほぼ毎日」が最も高くなっている。

(%)

	(調査数 n)	ほぼ毎日	週に3〜5日	週に1〜2日	1ヶ月に数日	その他	無回答
男性	122	32.8	15.6	17.2	9.8	5.7	18.9
女性	88	33.0	15.9	20.5	9.1	3.4	18.2
その他	-	-	-	-	-	-	-

⑤性別×世話に費やす時間

世話に費やす時間については、女性の方が長めの傾向が見られる。

(%)

	(調査数 n)	1時間程度	2時間程度	3〜6時間	7時間以上	無回答
男性	122	50.0	14.8	12.3	3.3	19.7
女性	88	33.0	21.6	14.8	3.4	27.3
その他	-	-	-	-	-	-

⑥性別×世話のきつさ（複数回答）

世話をすることに感じているきつさについては、女性で「精神的にきつい」、「時間的余裕がない」が高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	身体的にきつい	精神的にきつい	時間的余裕がない	特にきつさは感じていない	無回答
男性	122	4.1	4.9	6.6	73.8	14.8
女性	88	2.3	11.4	14.8	64.8	17.0
その他	-	-	-	-	-	-

⑦性別×世話について相談した経験

世話について相談した経験の有無では、女性は男性に比べ「ある」の割合が高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	ある	ない	答えたくない
男性	122	14.8	74.6	10.7
女性	88	20.5	71.6	8.0
その他	-	-	-	-

⑧性別×世話についての相談相手（複数回答）

世話についての相談相手では、男女とも、「家族」次いで「友人」が高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	家族	親戚	友人	学校の先生	保健室の先生	スクールソーシャルワーカー・カウンセラー	医師や看護師、その他病院の人	福祉サービスの人	ヘルパー、ケアマネージャー、	役所や保健センターの人	近所の人	SNS上での知り合い	その他
男性	18	94.4	5.6	61.1	33.3	5.6	-	-	-	-	-	-	5.6	-
女性	18	77.8	-	50.0	22.2	5.6	11.1	5.6	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

⑨性別×学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援（複数回答）

学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援については、「特にない」は男女で大きな差は見られない。

(%)

	調査数 (nⅡ)	自分のいまの状況について話を聞いてほしい	家族の世話について相談にのってほしい	家族の病気や障がい、ケアなどわかりやすく説明してほしい	行っている世話をすべて代わりにしてくれる人やサービスがほしい	行っている世話の一部を代わりにしてくれる人やサービスがほしい	自由に使える時間がほしい	進路や就職など将来の相談にのってほしい	学校の勉強や受験勉強など学習のサポート	家庭への経済的な支援	わからない	特にない	その他	無回答
男性	122	8.2	6.6	2.5	1.6	0.8	5.7	6.6	6.6	4.1	17.2	63.1	-	9.0
女性	88	8.0	2.3	2.3	1.1	1.1	9.1	13.6	20.5	1.1	8.0	59.1	-	6.8
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(3) 家族構成による世話の状況の違い

① 家族構成×世話を必要としている家族（複数回答）

世話を必要としている家族について、三世代世帯で「兄弟・姉妹」と「祖父母」が、二世帯世帯では「兄弟・姉妹」が、ひとり親家庭では「兄弟・姉妹」が高くなっている。

(%)

	(調査数 n II)	父母	祖父母	兄弟・姉妹	その他	無回答
三世代世帯	50	32.0	44.0	46.0	14.0	6.0
二世帯世帯	123	30.1	9.8	55.3	9.8	10.6
ひとり親家庭	36	27.8	25.0	38.9	25.0	5.6
その他	2	50.0	50.0	50.0	50.0	-

②家族構成×世話の内容（複数回答）

父母及び祖父母への世話の内容では、いずれの家族構成でも「家事」が最も高い。
兄弟・姉妹への世話の内容では「見守り」が高くなっている。

[父母への世話の内容]

(%)

	調査数 (n)	家事	身体的な介護	外出の付き添い	通院の付き添い	感情面のサポート	見守り	通訳	金銭管理	薬の管理	その他	無回答
三世代世帯	16	62.5	12.5	31.3	-	6.3	12.5	-	12.5	-	-	25.0
二世帯世帯	37	56.8	2.7	27.0	2.7	8.1	18.9	-	2.7	2.7	-	32.4
ひとり親家庭	10	40.0	-	30.0	-	10.0	10.0	-	-	-	-	30.0
その他	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

[祖父母への世話の内容]

(%)

	調査数 (n)	家事	身体的な介護	外出の付き添い	通院の付き添い	感情面のサポート	見守り	通訳	金銭管理	薬の管理	その他	無回答
三世代世帯	22	54.5	9.1	31.8	-	22.7	27.3	-	4.5	-	4.5	13.6
二世帯世帯	12	25.0	-	33.3	-	8.3	25.0	-	-	-	8.3	25.0
ひとり親家庭	9	55.6	-	22.2	11.1	11.1	44.4	-	-	-	-	-
その他	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

[兄弟・姉妹への世話の内容]

(%)

	調査数 (n)	家事	兄弟・姉妹の世話を送迎など	身体的な介護	外出の付き添い	通院の付き添い	感情面のサポート	見守り	通訳	金銭管理	薬の管理	その他	無回答
三世代世帯	23	43.5	17.4	17.4	34.8	-	8.7	34.8	-	4.3	-	8.7	13.0
二世帯世帯	68	32.4	36.8	14.7	25.0	1.5	5.9	64.7	-	-	-	2.9	11.8
ひとり親家庭	14	64.3	35.7	14.3	21.4	7.1	14.3	57.1	-	-	-	-	-
その他	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

③家族構成×世話を一緒にする人（複数回答）

ひとり親家庭では、「兄弟・姉妹」の割合が他に比べ高くなっている。

(%)

	(調査数 n)	母親	父親	祖母	祖父	兄弟・姉妹	親戚の人	自分のみ	福祉サービスを利用	その他	無回答
三世帯世帯	50	68.0	46.0	32.0	22.0	30.0	6.0	18.0	6.0	4.0	14.0
二世帯世帯	123	62.6	56.1	8.9	4.9	32.5	3.3	11.4	0.8	0.8	21.1
ひとり親家庭	36	41.7	19.4	16.7	8.3	38.9	-	11.1	2.8	8.3	16.7
その他	2	-	-	50.0	50.0	-	-	50.0	-	-	-

④家族構成×世話の頻度

いずれの家族構成でも、「ほぼ毎日」の割合が他に比べ高くなっている。

(%)

	(調査数 n)	ほぼ毎日	週に3〜5日	週に1〜2日	1ヶ月に数日	その他	無回答
三世帯世帯	50	30.0	16.0	24.0	12.0	8.0	10.0
二世帯世帯	123	35.0	14.6	14.6	10.6	3.3	22.0
ひとり親家庭	36	30.6	19.4	22.2	2.8	5.6	19.4
その他	2	50.0	-	50.0	-	-	-

⑤家族構成×世話に費やす時間

世話に費やす時間は、いずれの家族構成でも2時間までで5割以上を占めている。

(%)

	(調査数 n)	1時間程度	2時間程度	3〜6時間	7時間以上	無回答
三世帯世帯	50	52.0	14.0	14.0	2.0	18.0
二世帯世帯	123	40.7	19.5	13.0	2.4	24.4
ひとり親家庭	36	41.7	11.1	13.9	8.3	25.0
その他	2	-	100.0	-	-	-

⑥家族構成×世話による制約（複数回答）

ひとり親家庭で、「宿題をする時間や勉強する時間が取れない」の割合が、他に比べ高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	学校に行きたくてもいけない	どうしても学校を遅刻・早退してしまう	宿題をする時間や勉強する時間が取れない	睡眠が十分に取れない	友人と遊ぶことができない	部活や習い事ができない、辞めざるを得なかった	進路の変更を考えざるを得ない、進路を変更した	自分の時間が取れない	特になし	その他	無回答
三世代世帯	50	2.0	-	8.0	6.0	6.0	-	2.0	12.0	78.0	-	8.0
二世帯世帯	123	0.8	0.8	5.7	4.1	3.3	0.8	-	6.5	69.1	-	18.7
ひとり親家庭	36	-	5.6	16.7	8.3	8.3	-	-	5.6	55.6	-	19.4
その他	2	-	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-	-

⑦家族構成×世話をすることに感じているきつさ（複数回答）

世話をすることに感じているきつさについては、ひとり親家庭で全般的に回答割合が高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	身体的にきつい	精神的にきつい	時間的余裕がない	特になしきつさは感じ	無回答
三世代世帯	50	4.0	6.0	10.0	76.0	10.0
二世帯世帯	123	3.3	7.3	8.9	69.1	17.9
ひとり親家庭	36	2.8	11.1	13.9	61.1	19.4
その他	2	-	-	-	100.0	-

⑧家族構成×学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援（複数回答）

学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援について「特にない」と回答した割合は、家族構成で差は見られない。

(%)

	調査数 (nⅡ)	自分のいまの状況について話を聞いてほしい	家族の世話について相談にのってほしい	家族の病気や障がい、ケアなどわかりやすく説明してほしい	家族の世話をすべて代わってくれる人やサービスがほしい	行っている世話を一部を代わってくれる人やサービスがほしい	自由に使える時間がほしい	進路や就職など将来の相談にのってほしい	学校の勉強や受験勉強など学習のサポート	家庭への経済的な支援	わからない	特にない	その他	無回答
三世代世帯	50	12.0	2.0	2.0	2.0	-	14.0	14.0	14.0	6.0	14.0	64.0	-	6.0
二世帯世帯	123	6.5	4.9	2.4	1.6	1.6	4.9	8.9	11.4	2.4	15.4	61.0	-	8.9
ひとり親家庭	36	5.6	5.6	2.8	-	-	5.6	5.6	13.9	-	5.6	61.1	-	8.3
その他	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-

(4) 平日1日あたりの世話に費やす時間による生活状況等

①平日1日あたりの世話に費やす時間×健康状態

世話に費やす時間と健康状態に相関は見られない。

(%)

	(調査数 n II)	よい・まあよい	ふつう	あまりない・よくない	無回答
1時間程度	92	81.5	15.2	1.1	2.2
2時間程度	37	67.6	21.6	10.8	-
3～6時間	28	75.0	21.4	3.6	-
7時間以上	7	100.0	-	-	-

②平日1日あたりの世話に費やす時間×欠席の状況

世話に費やす時間と欠席の状況に相関は見られない。

(%)

	(調査数 n II)	欠席ほとんどない	欠席たまにする	欠席よくする	無回答
1時間程度	92	73.9	17.4	5.4	3.3
2時間程度	37	56.8	24.3	18.9	-
3～6時間	28	78.6	3.6	17.9	-
7時間以上	7	85.7	14.3	-	-

③平日1日あたりの世話に費やす時間×遅刻や早退の状況

世話に費やす時間と遅刻や早退の状況に相関は見られない。

(%)

	(調査数 n II)	しほなどない	たまにする	よくする	無回答
1時間程度	92	85.9	10.9	2.2	1.1
2時間程度	37	64.9	24.3	10.8	-
3～6時間	28	85.7	10.7	3.6	-
7時間以上	7	100.0	-	-	-

④平日1日あたりの世話に費やす時間×学校生活等であてはまること（複数回答）

学校生活等であてはまることと世話に費やす時間に相関は見られない。

(%)

	調査数 (n)	授業中に居眠りすることが多い	宿題や課題ができていないことが多い	持ち物の忘れ物が多い	部活動や習い事を休むことが多い	提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い	修学旅行などの宿泊行事を欠席する	保健室で過ごすことが多い	学校では一人で過ごすことが多い	友人と遊んだりおしゃべりする時間が少ない	特になし	無回答
1時間程度	92	22.8	16.3	15.2	6.5	16.3	1.1	1.1	3.3	2.2	56.5	4.3
2時間程度	37	35.1	21.6	18.9	21.6	24.3	5.4	2.7	16.2	13.5	43.2	-
3～6時間	28	17.9	28.6	10.7	7.1	17.9	-	-	3.6	3.6	64.3	-
7時間以上	7	-	28.6	14.3	-	28.6	-	-	-	-	57.1	-

⑤平日1日あたりの世話に費やす時間×現在の悩みや困りごと（複数回答）

現在の悩みや困りごとが「特になし」割合は、世話に費やす時間が「3～6時間」の層で低くなっている。

(%)

	調査数 (n)	友人との関係のこと	学業成績のこと	進路のこと	部活動のこと	学費など学校生活に必要なお金のこと	塾（通信含む）や習い事ができない	と家庭の経済的状況のこと
1時間程度	92	15.2	34.8	29.3	22.8	1.1	2.2	4.3
2時間程度	37	13.5	24.3	16.2	10.8	2.7	5.4	2.7
3～6時間	28	14.3	53.6	46.4	14.3	3.6	-	7.1
7時間以上	7	-	28.6	14.3	-	-	14.3	-

	調査数 (n)	自分と家族との関係のこと	と家族内の人間関係のこと	病気や障がいのある家族のこと	自分のために使える時間が少ない	特になし	その他	無回答
1時間程度	92	7.6	4.3	4.3	5.4	42.4	3.3	4.3
2時間程度	37	13.5	8.1	2.7	5.4	54.1	5.4	2.7
3～6時間	28	7.1	10.7	7.1	3.6	25.0	3.6	7.1
7時間以上	7	-	-	-	14.3	57.1	-	-

⑥平日1日あたりの世話に費やす時間×世話をすることに感じるきつさ（複数回答）

世話に費やす時間と世話を感ずることに感じるきつさに相関は見られない。

(%)

	調査数 (n)	身体的にきつい	精神的にきつい	時間的余裕がない	特にきつさは感じていない	無回答
1時間程度	92	3.3	4.3	7.6	89.1	-
2時間程度	37	5.4	16.2	24.3	67.6	-
3～6時間	28	3.6	10.7	14.3	82.1	-
7時間以上	7	28.6	42.9	14.3	57.1	-

⑦平日1日あたりの世話に費やす時間×世話に関する相談の経験

世話に費やす時間と世話に関する相談の経験に相関は見られない。

(%)

	調査数 (n)	ある	ない	答えたくない
1時間程度	92	15.2	80.4	4.3
2時間程度	37	24.3	64.9	10.8
3～6時間	28	21.4	67.9	10.7
7時間以上	7	42.9	57.1	-

⑧平日1日あたりの世話に費やす時間×世話に関する相談相手（複数回答）

※母数が小さいためコメントしない。

(%)

	調査数 (n)	家族	親戚	友人	学校の先生	保健室の先生	スクールソーシャルワーカー・カウンセラー	医師や看護師、その他病院の人	ヘルパー、ケアマネージャー、福祉サービスの人	役所や保健センターの人	近所の人	SNS上での知り合い	その他
1時間程度	14	71.4	-	42.9	21.4	14.3	7.1	7.1	-	-	-	-	-
2時間程度	9	88.9	-	77.8	44.4	-	-	-	-	-	-	-	-
3～6時間	6	83.3	16.7	33.3	33.3	16.7	33.3	-	-	-	-	-	-
7時間以上	3	100.0	-	66.7	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-

⑨平日1日あたりの世話に費やす時間×世話に関する相談をしたことがない理由（複数回答）

世話に関する相談をしたことがない理由について、世話をする時間が長いほど、「家族以外の人に相談するような悩みではない」、「家族のこのため話しにくい」の割合が高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	誰かに相談するほどの悩みではない	家族以外の人に相談するよ	家族以外の人が身近に	相談できる人が身近に	家族のこのため話しにくい	家族のことを知られたくない	家族に対して偏見を持たれたくない	相談しても状況が変わると思わない	その他	無回答
1時間程度	74	60.8	8.1	6.8	4.1	2.7	4.1	1.4	8.1	2.7	18.9
2時間程度	24	66.7	12.5	4.2	4.2	4.2	-	-	16.7	-	12.5
3～6時間	19	63.2	15.8	5.3	-	10.5	-	5.3	5.3	21.1	10.5
7時間以上	4	50.0	25.0	-	-	25.0	-	-	-	25.0	-

(5) 世話を必要としている家族による世話の状況等

①世話を必要としている家族×(回答者の)性別

世話を必要としている家族が兄弟・姉妹の場合、他に比べ「女性」の割合が高くなっている。

(%)

	(調査数 n)	男性	女性	その他	無回答
父母	65	61.5	36.9	-	1.5
祖父母	44	70.5	29.5	-	-
兄弟・姉妹	107	48.6	49.5	-	1.9
その他	29	65.5	31.0	-	3.4

②世話を必要としている家族×世話を一緒にする人(複数回答)

世話を必要としている家族が祖父母と兄弟・姉妹の場合、「母親」の割合が他に比べ高くなっている。

(%)

	(調査数 n)	母親	父親	祖母	祖父	兄弟・姉妹	親戚の人	自分のみ	福祉サービスを 利用	その他	無回答
父母	65	52.3	44.6	15.4	7.7	27.7	3.1	9.2	3.1	-	27.7
祖父母	44	61.4	43.2	25.0	11.4	31.8	11.4	13.6	2.3	2.3	13.6
兄弟・姉妹	107	72.9	55.1	20.6	15.0	40.2	1.9	13.1	0.9	-	10.3
その他	29	37.9	31.0	10.3	3.4	37.9	-	17.2	3.4	17.2	17.2

③世話を必要としている家族×世話を始めた年齢

世話を必要としている家族が兄弟・姉妹の場合、他に比べ、「就学前」、「小学生(低学年)」の割合が高くなっている。

(%)

	(調査数 n)	就学前	(小学生 低学年)	(小学生 高学年)	中学生以降	無回答
父母	65	7.7	7.7	36.9	15.4	32.3
祖父母	44	6.8	6.8	36.4	29.5	20.5
兄弟・姉妹	107	10.3	19.6	36.4	20.6	13.1
その他	29	3.4	17.2	24.1	20.7	34.5

④世話を必要としている家族×世話の頻度

世話を必要としている家族が兄弟・姉妹の場合、「ほぼ毎日」の割合が他に比べ高くなっている。

(%)

	(調査数 n)	ほぼ毎日	週に3～5日	週に1～2日	1ヶ月に数日	その他	無回答
父母	65	16.9	20.0	20.0	12.3	3.1	27.7
祖父母	44	20.5	22.7	22.7	13.6	6.8	13.6
兄弟・姉妹	107	43.0	18.7	22.4	3.7	1.9	10.3
その他	29	48.3	3.4	6.9	-	13.8	27.6

⑤世話を必要としている家族×世話に費やす時間

世話を必要としている家族が兄弟・姉妹の場合、「3～6時間」の割合が他に比べ高くなっている。

(%)

	(調査数 n)	1時間程度	2時間程度	3～6時間	7時間以上	無回答
父母	65	47.7	15.4	4.6	3.1	29.2
祖父母	44	45.5	18.2	11.4	2.3	22.7
兄弟・姉妹	107	41.1	22.4	20.6	3.7	12.1
その他	29	44.8	13.8	3.4	3.4	34.5

⑥世話を必要としている家族×世話をすることに感じているきつさ（複数回答）

世話を必要としている家族が祖父母の場合、何らかのきつさを感じている割合が、他に比べ高くなっている。

(%)

	(調査数 n)	身体的にきつい	精神的にきつい	時間的余裕がない	特にきつさは感じない	無回答
父母	65	6.2	7.7	9.2	56.9	26.2
祖父母	44	4.5	13.6	15.9	68.2	9.1
兄弟・姉妹	107	2.8	11.2	14.0	72.9	9.3
その他	29	-	-	6.9	69.0	24.1

⑦世話を必要としている家族×世話に関する相談の経験

世話を必要としている家族が父母の場合、世話について相談したことが「ある」と回答した割合が高くなっている。

(%)

	(調査数 n)	ある	ない	答えたくない
父母	65	27.7	63.1	9.2
祖父母	44	22.7	68.2	9.1
兄弟・姉妹	107	18.7	73.8	7.5
その他	29	13.8	75.9	10.3

⑧世話を必要としている家族×世話について相談したことがない理由（複数回答）

世話について相談したことがない理由について、世話を必要としている家族が祖父母の場合、「誰に相談するのがよいかわからない」の割合が、他に比べ高くなっている。

(%)

	(調査数 n)	誰かには相談するほどの 悩みではない	家族以外の人に相談するよ うな悩みではない	誰に相談するのがよいかわ からない	相談できる人が身近に いない	家族のこのため話し にくい	家族のことを知られたくな い	家族に対して偏見を持たれ たくない	相談しても状況が変わると は思わない	その他	無回答
父母	41	48.8	9.8	2.4	2.4	-	2.4	-	-	2.4	36.6
祖父母	30	60.0	6.7	10.0	3.3	3.3	3.3	-	6.7	3.3	13.3
兄弟・姉妹	79	59.5	13.9	5.1	3.8	6.3	2.5	2.5	10.1	3.8	22.8
その他	22	40.9	4.5	-	4.5	-	-	-	18.2	9.1	27.3

(6) 世話をすることに感じているきつさによる世話の状況の違い

①世話をしていることに感じているきつさ×世話対象の状況（複数回答）

※母数が少ないため、コメントしない

[父母]

	(調査数 n)	高齢 (65歳以上)	要 介 護	認 知 症	身 体 障 が い	知 的 障 が い	精 神 疾 患 (疑 い 含 む)	依 存 症 (疑 い 含 む)	精 神 疾 患 ・ 依 存 症 以 外 の 病 気	そ の 他	無 回 答
身体的にきつい	4	50.0	-	-	-	25.0	-	-	-	25.0	-
精神的にきつい	5	40.0	-	-	-	40.0	-	-	-	20.0	20.0
時間的余裕がない	6	50.0	-	-	-	-	-	16.7	-	16.7	33.3
特にきつさは感じていない	37	29.7	8.1	2.7	5.4	5.4	5.4	8.1	5.4	5.4	43.2

[祖父母]

	(調査数 n)	高齢 (65歳以上)	要 介 護	認 知 症	身 体 障 が い	知 的 障 が い	精 神 疾 患 (疑 い 含 む)	依 存 症 (疑 い 含 む)	精 神 疾 患 ・ 依 存 症 以 外 の 病 気	そ の 他	無 回 答
身体的にきつい	2	50.0	-	-	50.0	100.0	-	-	-	-	-
精神的にきつい	6	66.7	-	-	16.7	33.3	-	-	-	16.7	16.7
時間的余裕がない	7	85.7	-	-	14.3	14.3	-	14.3	-	-	-
特にきつさは感じていない	30	80.0	6.7	10.0	3.3	-	-	-	-	-	16.7

[兄弟・姉妹]

	(調査数 n)	幼 い	認 知 症	身 体 障 が い	知 的 障 が い	精 神 疾 患 (疑 い 含 む)	依 存 症 (疑 い 含 む)	精 神 疾 患 ・ 依 存 症 以 外 の 病 気	そ の 他	無 回 答
身体的にきつい	3	100.0	-	33.3	33.3	-	-	-	-	-
精神的にきつい	12	75.0	-	8.3	8.3	-	-	-	8.3	8.3
時間的余裕がない	15	80.0	-	6.7	6.7	-	-	-	-	6.7
特にきつさは感じていない	78	74.4	-	2.6	11.5	-	2.6	1.3	5.1	6.4

②世話をしていることに感じているきつさ×世話の内容（複数回答）

※母数が少ないため、コメントしない

[父母]

	(n)	家事	身体的な介護	外出の付き添い	通院の付き添い	感情面のサポート	見守り	通訳	金銭管理	薬の管理	その他	無回答
身体的にきつい	4	100.0	-	25.0	-	25.0	-	-	-	-	-	-
精神的にきつい	5	60.0	20.0	40.0	-	20.0	20.0	-	-	-	-	-
時間的余裕がない	6	66.7	16.7	83.3	-	33.3	-	-	16.7	-	-	-
特にきつさは感じていない	37	75.7	5.4	35.1	2.7	5.4	24.3	-	5.4	2.7	-	10.8

[祖父母]

	(n)	家事	身体的な介護	外出の付き添い	通院の付き添い	感情面のサポート	見守り	通訳	金銭管理	薬の管理	その他	無回答
身体的にきつい	2	50.0	-	-	-	50.0	50.0	-	-	-	-	-
精神的にきつい	6	66.7	16.7	16.7	16.7	16.7	33.3	-	-	-	-	-
時間的余裕がない	7	57.1	14.3	57.1	-	14.3	28.6	-	14.3	-	-	-
特にきつさは感じていない	30	50.0	3.3	30.0	-	16.7	33.3	-	-	-	6.7	6.7

[兄弟・姉妹]

	(n)	家事	兄弟・姉妹の世話や 保育所等への送迎など	身体的な介護	外出の付き添い	通院の付き添い	感情面のサポート	見守り	通訳	金銭管理	薬の管理	その他	無回答
身体的にきつい	3	-	66.7	-	33.3	-	33.3	100.0	-	-	-	-	-
精神的にきつい	12	50.0	58.3	16.7	41.7	8.3	8.3	66.7	-	-	-	-	-
時間的余裕がない	15	66.7	40.0	20.0	60.0	6.7	6.7	60.0	-	6.7	-	-	-
特にきつさは感じていない	78	37.2	32.1	16.7	24.4	-	7.7	60.3	-	-	-	5.1	3.8

③世話をしていることに感じているきつさ×世話による制約（複数回答）

世話をしているために、やりたいことができていないことについては、「精神的にきつい」及び「時間的余裕はない」と回答した場合、「自分の時間が取れない」、「宿題をする時間や勉強する時間が取れない」が他に比べ高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	学校に行きたくてもいけない	どうしても学校を遅刻・早退してしまう	宿題をする時間や勉強する時間が取れない	睡眠が十分に取れない	友人と遊ぶことができない	部活や習い事ができない、辞めざるを得なかった	進路の変更を考えざるを得ない、進路を変更したい	自分の時間が取れない	特になし	その他	無回答
身体的にきつい	8	25.0	-	25.0	-	12.5	-	-	37.5	25.0	-	-
精神的にきつい	17	-	5.9	41.2	17.6	29.4	-	-	47.1	29.4	-	-
時間的余裕がない	22	-	-	50.0	31.8	22.7	-	4.5	50.0	27.3	-	-
特にきつさは感じていない	149	-	1.3	2.7	1.3	2.0	0.7	-	3.4	89.3	-	4.7

④世話をしていることに感じているきつさ×世話に関する相談経験の有無

「精神的にきつい」と回答した場合、世話について相談をしたことが「ある」と回答した割合が4割を超えている。

(%)

	調査数 (n)	ある	ない	答えたくない
身体的にきつい	8	75.0	12.5	12.5
精神的にきつい	17	47.1	29.4	23.5
時間的余裕がない	22	22.7	68.2	9.1
特にきつさは感じていない	149	14.8	79.2	6.0

⑤世話を感じていることに感じているきつさ×世話について相談をしたことがない理由（複数回答）

※母数が少ないため、コメントしない。

(%)

	調査数 (n//)	誰かに相談するほどの 悩みではない	家族以外の人に相談するよ うな悩みではない	誰に相談するのがよいかわ からない	相談できる人が身近に いない	家族のこのため話し にくい	家族のことを知られたくな い	家族に対して偏見を持たれ たくない	相談しても状況が変わると は思わない	その他	無回答
身体的にきつい	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-
精神的にきつい	5	20.0	-	20.0	20.0	20.0	-	-	40.0	-	20.0
時間的余裕がない	15	40.0	20.0	6.7	-	13.3	-	-	26.7	-	26.7
特にきつさは感じていない	118	63.6	9.3	4.2	3.4	3.4	2.5	1.7	7.6	5.9	16.9

⑥世話を感じていることに感じているきつさ×世話の悩みを聞いてくれる人の有無

※母数が少ないため、コメントしない。

(%)

	調査数 (n//)	いる	いない	無回答
身体的にきつい	1	100.0	-	-
精神的にきつい	5	60.0	20.0	20.0
時間的余裕がない	15	46.7	26.7	26.7
特にきつさは感じていない	118	76.3	17.8	5.9

(7) ヤングケアラーの自己認識による生活状況、世話の状況の違い

① ヤングケアラーの自己認識×健康状態

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」と回答した場合、「あてはまらない」と回答した場合に比べ、健康状態について「よくない」割合が高い。

(%)

		(調査数 n)	よい・まあよい	ふつう	あまりよくない	無回答
ヤングケアラーかどうか	あてはまる	69	73.9	15.9	8.7	1.4
	あてはまらない	3834	81.1	15.2	3.1	0.6
	わからない	367	64.6	26.4	7.4	1.6

② ヤングケアラーの自己認識×出席状況

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」と回答した場合、「あてはまらない」と回答した場合に比べ、「たまに欠席する」割合が高くなっている。

(%)

		(調査数 n)	ほとんどない	たまにする	よく欠席する	無回答
ヤングケアラーかどうか	あてはまる	69	72.5	13.0	13.0	1.4
	あてはまらない	3834	78.7	8.4	12.1	0.8
	わからない	367	66.8	15.8	16.3	1.1

③ ヤングケアラーの自己認識×遅刻や早退の状況

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」と回答した場合、「あてはまらない」と回答した場合に比べ、遅刻や早退を「たまにする」割合が高くなっている。

(%)

		(調査数 n)	ほとんどない	たまにする	よくする	無回答
ヤングケアラーかどうか	あてはまる	69	79.7	15.9	2.9	1.4
	あてはまらない	3834	88.4	8.7	2.0	0.9
	わからない	367	77.9	17.7	3.3	1.1

④ヤングケアラーの自己認識×学校生活等であてはまること（複数回答）

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」と回答した場合、「あてはまらない」と回答した場合に比べ、全体的に回答割合が高くなっているが、特に「持ち物の忘れ物が多い」、「授業中に居眠りすることが多い」の割合が高くなっている。

(%)

		(調査数 n)	授業中に居眠りすることが多い	宿題や課題ができていないことが多い	持ち物の忘れ物が多い	部活動や習い事を休むことが多い	提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い	修学旅行などの宿泊行事を欠席する	保健室で過ごすことが多い	学校では一人で過ごすことが多い	友人と遊んだりおしゃべりしたりする時間が少ない	特になし	無回答
ヤングケアラーかどうか	あてはまる	69	20.3	21.7	23.2	15.9	18.8	1.4	2.9	2.9	4.3	55.1	4.3
	あてはまらない	3834	14.1	17.0	14.1	4.0	15.0	0.3	0.8	4.9	3.9	61.1	3.3
	わからない	367	24.5	27.5	19.9	8.4	23.7	1.1	2.2	6.5	4.4	48.8	2.7

⑤ヤングケアラーの自己認識×現在の悩みや困りごと（複数回答）

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」と回答した場合、「あてはまらない」と回答した場合に比べ、全体的に回答割合が高くなっているが、特に「自分のために使える時間が少ない」、「部活動のこと」の割合が高くなっている。

(%)

		(調査数 n)	友人との関係のこと	学業成績のこと	進路のこと	部活動のこと	学費など学校生活に必要なお金のこと	塾（通信含む）や習い事ができない	と家庭の経済的状況のこと
ヤングケアラーかどうか	あてはまる	69	18.8	29.0	23.2	20.3	4.3	4.3	5.8
	あてはまらない	3834	13.1	29.6	23.6	14.1	1.6	1.1	2.3
	わからない	367	15.5	35.1	29.4	16.1	3.3	4.6	6.5

		(調査数 n)	自分と家族との関係のこと	と家族内の人間関係のこと	病気や障がいのある家族のこと	間が少なくて自分のために使える時間がない	特になし	その他	無回答
ヤングケアラーかどうか	あてはまる	69	4.3	5.8	2.9	10.1	47.8	4.3	1.4
	あてはまらない	3834	3.3	2.4	0.7	3.3	51.4	1.9	4.5
	わからない	367	10.4	9.5	3.3	7.1	44.4	2.5	4.1

⑥ヤングケアラーの自己認識×世話を一緒にする人（複数回答）

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」と回答した場合、「あてはまらない」と回答した場合に比べ、「自分のみ」の割合が高くなっている。

(%)

		(調査数 n)	母親	父親	祖母	祖父	兄弟・姉妹	親戚の人	自分のみ	福祉サービスを 利用	その他	無回答
ヤングケアラーかどうか	あてはまる	29	55.2	34.5	10.3	6.9	31.0	3.4	20.7	6.9	-	13.8
	あてはまらない	120	60.8	50.8	15.0	10.0	37.5	2.5	8.3	1.7	2.5	24.2
	わからない	60	61.7	46.7	21.7	11.7	26.7	5.0	18.3	1.7	5.0	6.7

⑦ヤングケアラーの自己認識×世話の頻度

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」と回答した場合、「あてはまらない」と回答した場合に比べ、世話の頻度について「ほぼ毎日」の割合が高くなっている。

(%)

		(調査数 n)	ほぼ毎日	週に3～5日	週に1～2日	1ヶ月に数日	その他	無回答
ヤングケアラーかどうか	あてはまる	29	58.6	10.3	17.2	6.9	-	6.9
	あてはまらない	120	27.5	17.5	17.5	9.2	5.0	23.3
	わからない	60	31.7	18.3	21.7	10.0	6.7	11.7

⑧ヤングケアラーの自己認識×世話に費やす時間

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」と回答した場合、「あてはまらない」と回答した場合に比べ、世話の頻度について「3時間」以上の割合が高くなっている。

(%)

		(調査数 n)	1時間程度	2時間程度	3～6時間	7時間以上	無回答
ヤングケアラーかどうか	あてはまる	29	31.0	17.2	34.5	6.9	10.3
	あてはまらない	120	44.2	16.7	10.0	2.5	26.7
	わからない	60	48.3	20.0	10.0	3.3	18.3

⑨ヤングケアラーの自己認識×世話による制約（複数回答）

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」と回答した場合、「あてはまらない」と回答した場合に比べ、全体的に回答割合が高くなっているが、特に「自分の時間が取れない」、「学校に行きたくてもいけない」の割合が高くなっている。

(%)

		(調査数 n II)	学校に行きたくてもいけない	どうしても学校を遅刻・早退してしまう	宿題をする時間や勉強する時間が取れない	睡眠が十分に取れない	友人と遊ぶことができない	部活や習い事ができない、辞めざるを得なかった	進路の変更を考えざるを得ない、進路を変更したい	自分の時間が取れない	特にな	その他	無回答
ヤングケアラーかどうか	あてはまる	29	6.9	3.4	6.9	3.4	3.4	-	-	13.8	69.0	-	6.9
	あてはまらない	120	-	1.7	4.2	4.2	3.3	-	-	2.5	72.5	-	18.3
	わからない	60	-	-	16.7	8.3	8.3	1.7	1.7	18.3	63.3	-	11.7

⑩ヤングケアラーの自己認識×世話をすることを感じているきつさ（複数回答）

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」と回答した場合、「あてはまらない」と回答した場合に比べ、特に「身体的にきつい」、「精神的にきつい」、「時間的余裕がない」いずれも割合が高くなっている。

(%)

		(調査数 n II)	身体的にきつい	精神的にきつい	時間的余裕がない	特にきつさは感じない	無回答
ヤングケアラーかどうか	あてはまる	29	10.3	10.3	17.2	62.1	10.3
	あてはまらない	120	-	2.5	4.2	75.0	19.2
	わからない	60	8.3	18.3	20.0	65.0	8.3

⑪ヤングケアラーの自己認識×世話に関しての相談の有無

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」と回答した場合、「あてはまらない」と回答した場合に比べ、世話について相談したことが「ある」と回答した割合が高くなっている。

(%)

		(調査数 n II)	ある	ない	答えたくない
ヤングケアラーかどうか	あてはまる	29	24.1	65.5	10.3
	あてはまらない	120	14.2	77.5	8.3
	わからない	60	21.7	66.7	11.7

⑫ヤングケアラーの自己認識×世話についての相談相手（複数回答）

世話について相談した相手は、全体的に「家族」が最も高くなっている。

(%)

		調査数 (n)	家族	親戚	友人	学校の先生	保健室の先生	スクールソーシャルワーカー・カウンセラー	医師や看護師、その他病院の人	ヘルパー、ケアマネージャー、福祉サービスの人	役所や保健センターの人	近所の人	SNS上での知り合い	その他
ヤングケアラーかどうか	あてはまる	7	85.7	14.3	14.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	あてはまらない	17	82.4	-	52.9	35.3	-	-	5.9	-	-	-	-	-
	わからない	13	84.6	-	76.9	30.8	23.1	23.1	-	-	-	-	7.7	-

⑬ヤングケアラーの自己認識×相談相手がいない理由（複数回答）

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」と回答した場合、「あてはまらない」と回答した場合に比べ、「家族以外の人に相談するような悩みではない」、「家族のこのため話しにくい」、「相談しても状況が変わるとは思わない」の割合が高くなっている。

(%)

		調査数 (n)	誰かに相談するほどの悩みではない	家族以外の人に相談するよ うな悩みではない	家族以外の人に相談するよ うな悩みではない	誰に相談するのがよいかわ からない	相談できる人が身近に いない	家族のこのため話し にくい	家族のことを知られたくな い	家族に対して偏見を持たれ たくない	相談しても状況が変わると は思わない	その他	無回答
ヤングケアラーかどうか	あてはまる	19	52.6	26.3	5.3	-	15.8	5.3	5.3	15.8	10.5	15.8	
	あてはまらない	93	61.3	6.5	2.2	3.2	2.2	1.1	1.1	5.4	2.2	28.0	
	わからない	40	45.0	7.5	10.0	5.0	2.5	2.5	-	15.0	7.5	17.5	

⑭ ヤングケアラーの自己認識×世話について悩みを聞いてくれる人の有無

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」と回答した場合、「あてはまらない」と回答した場合に比べ、世話について悩みを聞いてくれる人が「いない」と回答した割合が高くなっている。

(%)

		(調査数 n)	いる	いない	無回答
ヤングケアラーかどうか	あてはまる	19	68.4	26.3	5.3
	あてはまらない	93	68.8	18.3	12.9
	わからない	40	72.5	20	7.5

⑮ ヤングケアラーの自己認識×学校や大人に助けてほしいこと（複数回答）

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」と回答した場合、「あてはまらない」と回答した場合に比べ、全体的に回答割合が高くなっているが、特に「家族の世話について相談にのってほしい」、「家族の病気や障がい、ケアなどわかりやすく説明してほしい」、「自分のいまの状況について相談にのってほしい」、「学校の勉強や受験勉強など学習のサポート」の割合が高くなっている。

(%)

		(調査数 n)	自分のいまの状況について	家族の世話について相談にのってほしい	家族の病気や障がい、ケアなどわかりやすく説明してほしい	家族の病気や障がい、ケアなどわかりやすく説明してほしい	サビサビがほしくない	行ってほしい	サビサビがほしくない	自由に使える時間がほしい	進路や就職など将来の
ヤングケアラーかどうか	あてはまる	29	13.8	13.8	13.8	6.9	6.9	6.9	3.4		
	あてはまらない	120	4.2	2.5	-	-	-	4.2	9.2		
	わからない	60	15.0	6.7	1.7	1.7	-	13.3	13.3		

		(調査数 n)	学校の勉強や受験勉強など学習のサポート	家庭への経済的な支援	わからない	特にない	その他	無回答
ヤングケアラーかどうか	あてはまる	29	17.2	3.4	13.8	65.5	-	-
	あてはまらない	120	8.3	-	11.7	64.2	-	10.8
	わからない	60	18.3	8.3	16.7	56.7	-	1.7

(8) 世話に関する相談の状況

① 世話に関する相談の経験×世話の頻度

世話に関する相談をしたことが「ある」と回答した場合、「ない」と回答した場合に比べ、世話の頻度について「ほぼ毎日」の割合が高くなっている。

(%)

		(調査数 n)	ほぼ毎日	週に3～5日	週に1～2日	1ヶ月に数日	その他	無回答
世話に関する相談	ある	37	54.1	10.8	18.9	8.1	2.7	5.4
	ない	157	29.3	18.5	18.5	10.2	5.7	17.8
	答えたくない	20	20.0	10.0	15.0	5.0	-	50.0

② 世話に関する相談の経験×世話による制約（複数回答）

世話に関する相談をしたことが「ある」と回答した場合、「ない」と回答した場合に比べ、「自分の時間が取れない」、「宿題をする時間や勉強する時間が取れない」の割合が高くなっている。

(%)

		(調査数 n)	学校に行きたくてもいけない	どうしても学校を遅刻・早退してしまう	宿題をする時間や勉強する時間が取れない	睡眠が十分に取れない	友人と遊ぶことができない	部活や習い事ができない、辞めざるを得なかった	進路の変更を考えざるを得ない、進路を変更した	自分の時間が取れない	特になし	その他	無回答
世話に関する相談	ある	37	5.4	-	13.5	8.1	8.1	2.7	2.7	21.6	56.8	-	8.1
	ない	157	-	1.3	7.0	3.8	3.2	-	-	5.1	74.5	-	15.3
	答えたくない	20	-	5.0	5.0	10.0	10.0	-	-	10.0	45.0	-	35.0

II - 3. 自由意見

本調査において、さまざまな自由意見が寄せられた。項目別に意見をまとめ掲載する。
※原文掲載を基本とし、一部編集・抜粋の上掲載。

(1) 子どもの声

意見
人を思いやること（複数意見）
助け合うこと（複数意見）
周りの人の支え（複数意見）
周りが気づいてあげること（複数意見）
困っている人がいたら助ける・手伝う（複数意見）
呼びかけを行う（複数意見）
家族や周りの人が協力し合う（複数意見）
家族で協力してお世話をすることが必要だと思う（複数意見）
一人で抱え込まない（複数意見）
ヤングケアラーの把握をすること（複数意見）
ヤングケアラーの人が困っていたら助けてあげたい（複数意見）
みんなで助け合う・サポートする（複数意見）
みんながヤングケアラーについて理解する（複数意見）
みんながその状況を知り自分の立場になって考えればいいと思います（複数意見）
まず気づくこと（複数意見）
まずは多くの人に知ってもらうことが大切だと思う（複数意見）
障害者の差別をしない（複数意見）
政府の支援など（複数意見）
行政が支援する（複数意見）
「気付けなかった」ケースをつくらない
ヤングケアラーが増えないように大人の人が心がける
1人でやるのではなくみんなでやる！
いろんな人に目をむけて困っているひとがいたら助けてあげればいいと思う
オープンにしやすい世の中に。
思いやり
お金を貯める
お手伝いとヤングケアラーの境界線の認識を家庭や子供自身が正しく持てるようになると良いと思うので、もっとヤングケアラーという存在を多くの人に知ってもらう取り組みが必要だと思う。
お世話をして学校に行けなくて勉強や友達関係が上手く行かなかったりしている子に募金などをしてそのお金で施設に入ったり保育園に連れてったりしたらいいと思いました
お年寄りや障害を持った人のことを他人だと思わず助けること。
サイレントケアラーさんにも支援がちゃんと届くように、医療機関と行政の連携と具体的な支援策の発信が必要だと思います。
サポートする法律を可決させてください。
シングルマザー・ファザーの子育て支援や、子供がいてあまり裕福な家庭ではない人への支援をもっとしっかりする必要があります。また、実際にそう言う人たち（子供、保護者）の考えや意見を聞いたらいいと思います。それに、保護者にあまり恵まれていない子供がちゃんと頼れたりできるものも創造したらいいと思います。
そういう人がいるということが当たり前の世の中になってほしい
そのような人が一人で悩んだり苦しまないために周りの大人の方々がしっかり家庭環境を把握していくことが大切だと思います。

意見
その人が傷つかないような声掛けや家族全体で支えずに地域全体で支えていくこと。
ヤングケアラーの人たちの身にもなってあげると無理に詮索しないことも大切だと思う。
なぜなら特に手助けを求めている人もいるかもしれないからです
その人達にカウンセリングを受けてもらう。
そんな子どもたちが減ればいいと思う。
できることだけでも今のうちにやっておくことが必要だと思う
できるだけ早く、ヤングケアラーの人たちを見つけてあげて市や社会で支えてあげてほしいです。その人も自分たちと同じ子どもだから介護とかのサービスなどの支援、提供をしてあげるべきだと思います。あくまでも私一人の意見ではありますが、少しでもヤングケアラーを減らすために呼びかけとか自分たちでもできることやできる限りのことをしてあげてほしいです。
どうしても子供たち自身にはどうにもできないことだと思うから、政府や機関などの助けはすごく大切になると思う。わたしも家庭内の関係が温かいままであるために両親のことを大切にしたいと思う。
とにかく一人一人がヤングケアラーの存在を知って受け入れることが大切だと思う。
なくしていく事が大切だと思う。
なんでも話せる人を増やす
ふだんから周りの人のことを見ること
ポスターで助けてくれる人を探し、呼びかけをする。
まず、ヤングケアラーだと自覚する事
まずは家族で知ることが大切だと思う
まずは自分自身がヤングケアラーに関して深く知っていくことから始めたいと思います。
まわりとの絆
みんながその人がヤングケアラーだと知って、学校などで支えてあげる。理解し合う。募金する。
みんながもっと周りを見れるようにならなきゃいけないと思う
みんなが日頃から優しくなる。そうするともしヤングケアラーの人が居ても相談しやすくなると思う。
みんなの行動
みんな平等
もう少しみんなと同じような生活ができるような支援があるといいと思う。
もっとヤングケアラーを世界中の人に知ってもらうためにその話を今日家族で話す
もっとヤングケアラーを知っている人を増やすために広めれるような話を友達とする事が必要だと思いました。
もっと政府がしっかりするべき。もっとちゃんとむきあってほしい。
もっと地域の支援が必要だと思う。無理なく、みんなが楽しく過ごせるようになるといいなと思う。
ヤングケアラーがどんなものなのかを自分たちが知っていく必要があると思いました。
ヤングケアラーがなにか知ってもらって名乗り出してもらう
ヤングケアラーがもし身近にいたら無理させないように気を使って、自分もなにか役に立つことがないか考える。先生方などもヤングケアラーの支援をしていくなど、意識を高めるといいと思う。
ヤングケアラーがもっと楽しく生活するために、「ヤングケアラー」についての理解をもっと増やしていくことで、支援につながると思った。
ヤングケアラーが一番困っていることは、経済面だと思うので、経済面を支援すると思います。また、コロナの給付金詐欺というニュースがあったので、本人確認と実態調査などを徹底したらいいんじゃないからと思います。
ヤングケアラーが身の回りにもいるかも知れないと思って生活すること。
ヤングケアラーである子供の現状をよく理解し、サポートを充実させること。
ヤングケアラーで困っていない人でも、大変な状況の方もいることを理解して、少しでも多くの支援があればいいと思う。
ヤングケアラーで悩んでいる人がいるなら、話を聞いてあげたり、学校で不安なことがあるなら、できる限り手伝ったり、教えたりすることが必要だと思う。ネットでの相談室なども多く作ったらいいと思った。

(2) 話を聞いてほしい、理解してほしいこと

意見
ヤングケアラーの仕事を楽しいと思ったり、そんな可哀想、助けてあげなきゃっていう目線で見て欲しくない子もいると思う。一概になくそうとするんじゃなくて話をちゃんと聞いたりしてから本人がどうしたいかを大切にしてほしい
もっと気軽に相談できる環境を増やしていけば良いと思います。僕の通っている学校にもカウンセラーは来ていますが、来る頻度が少なくほとんど見ることはありません。これでは、相談しようと思ってもなかなかできず、気軽に相談することはできません。一方、小学校の頃は週2程度で学校にカウンセラーが来ていて何もないときでも結構喋っていました。こういった信頼関係があることで本当に困ったときでも、気軽に相談でき早期解決につながるのではないかと思います
必要なことは、ヤングケアラーを体験したことがない人や聞いたことがないにそういう人たちに普段の自分の生活と違うことを実感してほしいです
相談できる場所をもっと増やしていったらいいのではないのでしょうか。僕は家族のことが大好きです。家族のために少しでも役に立ちたいと思って僕はいつもお手伝いをしています。それはヤングケアラーの人達も同じだと考えます。でも、最初はお手伝いでも次第にお手伝い以上のことをヤングケアラーの人達はしていると思います。疲れているのに助けを求めることができない、気持ちを話すことができないのはとても辛いことだと思います。僕はその気持ちを人に話したら気持ちが少しでも楽になるのではないかと思います
障害や病気などをもっている人が家庭内に居る事を他人に知られたくない為、隠して過ごしている家庭は多いと思います。なかなか難しいですが、どんな家庭環境の中で子供が育てているのか把握できれば、少しは何かの手助けができるのではないかと思います
介護をするのが当たり前だと思っており、色々な希望や気持ちを諦めてしまい、言わない言えない環境だと思えます。ヤングケアラーとは何かを広め気がつける人を増やし、どこに何を伝えれば良いか明確に広めて行って欲しいです
先生が言う「お母さんとお父さんに…」のような全員両親が二人ともいるとは限らないから普通の家族っていうのを当たり前にしなしてほしい、言うなら保護者にしてほしい
このようなアンケートを実施するのも良い案だと思われるが、まずアンケートに答える上での情報を、生徒側が教師側に「知ってほしい、聞いてほしい」と思えるような信頼関係を築くことがヤングケアラーの支援になる一番のポイントだと思う。 ちなみに私がヤングケアラーだったらあなた達に知られたくない。理由は、どうせ伝えるだけで終わって行動しなさそうだから、それなりの対応を求めるために言ったのに、結局他人事だと思われて軽いことで済ませられそうだから(経験談)
貧困家庭にヤングケアラーが多いと思う。スマホすら持てない子も多い中、ネットでの回答がどこまで実態調査になるのか不思議だ
もしも子供が迷っている雰囲気や少しでも大人が感じたら本人に聞いてみる。子供の力だけでは限界のある事がたくさんあるので、学校の先生もむやみに聞く事だけをするのではなくもっと中学生の事を考えて行動したら少しでも悩みが減る子供たちが増えていくのではないかなと思う。アンケートを取ることは誰にでもできるので、アンケートをした後の行動が大切。何かあってからでは遅いと思う

(3) 要望、求める支援(世話をしている家族がいると回答した生徒の意見)

意見
募金(複数意見)
声をかける
ちゃんとヤングケアラーの人の心を理解してあげること
どこかの場所でみんなで話していること。
友人などに相談すること
ヤングケアラーが相談できる機関をつくる
悩んでいる人が気軽に相談できる環境が整うと良い
金銭面では、生活保護など
ヤングケアラーの補助
広げていくために、呼びかけ、ポスターを作ることが必要だと思う

(4) ヤングケアラーに必要なだと思う支援

ア) 相談体制の充実、相談しやすい・話しやすい環境づくり

意見
誰かに相談することが大事（複数意見）
相談にのることが大切（複数意見）
相談しやすい環境・場所をつくる（複数意見）
相談できる窓口・場所を増やす（複数意見）
相談できる人を作る・増やす（複数意見）
友達など家族以外で関わられる人が支えることが大切（複数意見）
大人の人にヘルプを出せる環境を学校や市の窓口につくるが必要だと思う
ボランティアの訪問、こども食堂のように食事を作る（月に数回届ける計画）リモート教育への理解
こういうアンケートを幅広い年代に実施してヤングケアラーの子供たちの人数を把握し、各学校のカウンセラーに優先的に話す機会を与える。 ヤングケアラーの人たちは周りにそのことを話したがるので話しやすい環境に努める。 ヤングケアラーの人たちは時間がないので、提出物等ができない可能性もなくはないので強制させない。 ヤングケアラーの人たちの希望する人に給付金を与える。
家庭の事情などで悩んでいる子が気軽に相談したり、自分の気持ちを話せる場所を作って欲しい。
本当に助けを求めている人は、あまり口に出さないため、私からも、辛そうな人に声をかけていけたらいいと思う。
自分の中で、辛かったり困っていたりしたら抱え込まずに周りの人や信頼できる人に相談することが大切だと思う。
ヤングケアラーを、身近な人に相談できる環境つまり優しい世の中になってくことが大切
話を聞いてあげる人。信頼できる人
無理をせずに周りの人に相談する。話せなかったらネットの相談のやつを利用することだと思う。
相談できる大人や団体が増えるといい
子供達の生活環境を大人がある程度把握すること、子供が相談しやすくなる事
誰でも気軽に相談できる施設を少しでも増やしたら良いとおもいました。
ヤングケアラーの人に相談の場をもっと与えれば良いと思う。学校などでもその人が嫌がらない程度に対応して上げれば良いと思う。
スクールカウンセラーに相談する
もっと子供たちに寄り添ってはなしをする
そのことを聞いてなにか隠しているなと思ったら、すぐに話を聞いてあげること
友達とか相談しやすい人がそばにいてあげる・みんながヤングケアラーについて理解して相談しやすく居心地がいい環境をつくったりすることが必要がと思いました。
ヤングケアラーへの相談所などについて全く知らないの、みんなが知れるような機会があれば、困っている人が相談できるようになると思った。
相談出来る所を学校内にもつくる。
子どもたちの小さな変化を見逃さないくらいの各学校へ配置する
ヤングケアラーへの支援を全国に広げるためにヤングケアラーのことを知ってもらって自分がヤングケアラーだということを相談できる場所をつくったらいいと思います。
相談しやすい大人への連絡先を、子供達に知らせとく。
学校の先生にいつでも話せるようにする（話しやすい環境）をつくること。
話しやすい環境を作ってあげることや、知らない人がいると思うから知る機会を作ってあげることが必要だと思う。
ひとりひとりゆっくり話を聞いてあげたらその人もちょっとは楽になると思います
サポート会社みたいなものを作って、気軽に相談できたり、休んだりしゃべったりする場所をつくったらいいと思う。

(4) ヤングケアラーに必要なと思う支援

イ) 子どもたちの意見を伝えられる環境づくり、意思の尊重

意見
このようなアンケートが必要・継続する(複数意見)
小6、中2、高2以外の学年などにもこのアンケートを取ればいいと思いました(複数意見)
このようなアンケートを定期的に行ったり、気軽に相談できる場所を設けてそれを多くの人に広めたりしたらいいと思います(複数意見)
定期的なアンケート・面談を行う。
このようなそっと意見を言えるような場所を増やす。
誰がどのように1日1日をすごしているのかを、このような形でアンケートをとったりすること。
このようなアンケートで困っている人を見つけず相談にのってあげることが必要だと思います
ヤングケアラーの人が相談しやすくなるようにアンケートの回数を増やしたらいいと思った。
周りの人に助けを求めやすい環境をつくる
ヤングケアラーをしている人の実態を知り、その人の希望に応じて対応を検討する。
また、ヤングケアラーになる人が出ないように対策をしたり、このアンケートのように随時アンケートを行う。
学校内でもアンケートを実施し、少しでも助けになるように協力する。
市が家に訪問したり今回みたいにアンケートすればいいと思う
アンケートで本当のことを言うとは限らない。そこをちゃんとしてほしい。支援を出せた。自己満なんですか？その先ちゃんとしてくれるか信用性がない。
自分が助けて欲しい時に、助けて！と言える場所があると良い。
支援がほしいと言いやすい環境を作ることが必要だと思います。
このアンケートだけでは発見のきっかけにはなるとはありますが、根本的な解決にはならないと思います。継続的な活動があるといいと思います。
このようなアンケートなどを通して、ヤングケアラーについて知る人が増えたり、ヤングケアラーで、助けを必要とする方が、周りの人に相談しやすい環境にしたりすることが大切だと思う。
電話で相談などの機器が必要になる物は、番号にかける暇がない、また自分が一人でできないことの方が多いので、いじめアンケートと同じように定期的にヤングケアラーについてのアンケートの場を設けた方がいいのでは。
学校でアンケート等を取り、困っている人に手を差し伸べるシステムを構築してほしい
全員にアンケートをとる機会を増やしたり、気軽に相談できる施設を増やす。

(4) ヤングケアラーに必要なと思う支援
ウ) 学校におけるサポートや配慮

意見
家族構成の調査をしたりする
一つ一つ家庭を調査すれば良いと思います
勉強の補助
ヤングケアラーだった場合、どう対処したら良いかについて先生に相談できるようにする
よく遅刻する人や欠席する人にヤングケアラーじゃないか聞いてみる
面談の際の必須項目にする
子供の相談に学校側がもっと親身に対応する必要があると思う
生徒一人ひとりの家庭に教師が訪問すればいいと思った
担任の先生等が生徒と1対1で面談などを定期的に行ったりして、悩みを話すきっかけを作るのはどうですか
教育者が家庭の状況を理解してほしい
学校でも、教師がもっと寄り添うことが大切だと思う！中学の先生は小学校の先生に比べて相談しても少し声を掛けるぐらいで、本気で解決しようとしなから、居心地悪く感じる人もいるんだと思う。
私も含め全員がヤングケアラーについて知っていければいいと思う。
登校時間をちょっと遅らせたければいいと思う
友達とかには話しにくいので学校で相談できればいいなと思います。もしもこの先友達に相談されたり見たりしたら自分の親にどうすればいいか相談したいと思いました
もちろん学校とかでプリントを配ることも必要だと思うけど、すぐに対応が必要なヤングケアラーは学校にも来れないから、もっと対応の仕方を増やして行った方がいいと思う
ヤングケアラーに当てはまる子を調べる
ヤングケアラーで学校に行けない人とかにオンラインで授業をしてもらえばいいと思う
ヤングケアラーの人に支援する。勉強が受けられる環境を作る
もっとスクールカウンセラーなどと会いやすくするべきだと思う
学校に余裕を作る 学校でやることを素早くこなす
ヤングケアラーが欠席や遅刻をしやすいようにすること
担任の先生が生徒一人一人の家庭状況を把握し、該当する生徒に対して個別に話しやすい場所をつくり本人の希望を聞いてケアしてあげる
遅刻したり学校にあまり来れてない子がサボっているなどと勝手に決めつけない
家から授業が受けられるようにする
早退や遅刻があっても冷やかな目で見ないことと、学校の授業に追いつけていない子がいるなら授業の内容を確認できるようにしたら良いと思う
ヤングケアラーの人が1人で抱え込まずに相談できるように、スクールカウンセラーなどに相談できる場を増やせばいいと思う
ヤングケアラーか調査して、支援すること
子供の相談相手になる、学校を楽しい場所にする
学校の勉強などの負担を減らす
不安や心配事をみんなで共有すれば少しは気がまぎれるのでは

(4) ヤングケアラーに必要なだと思う支援
エ) 周囲の大人の理解や寄り添い

意見
大人が支援してあげるといいと思う (複数意見)
近くの大人が気づいてあげることが大切だと思います (複数意見)
周りの思いやり
周りの信用できる大人に相談する
「家庭訪問」を毎年行うこと。 毎朝、地域の人たちや周りにいる人に「挨拶」を交わすこと。
周りの人が理解すること
地域の大人が助ける
負担を減らすために大人とかがしっかりする
受け入れる
周りのことにも気にかける
大人にヤングケアラーについてもっと知ってもらう必要があると思う
大人がしっかりすることが必要。でも私達もヤングケアラーの手伝いができたらいいと思う
近隣の人たちと触れ合う時間を作る。
周りからの声かけ
自分でヤングケアラーだと言えない子がいるかもしれないから、隣近所や町内の人からの聞き取りをして、正しい支援をしてあげたらいいのかなあと思いました
周りの人も一緒にお世話をすればいいと思う
地域で支えていくこと
大人が子供の気持ちを考えることを嫌がらないことが大切だと思う
子供の状況をよく分かっていない親もいるかもしれないから、子供の様子を気にすることが大切だと思います。

(4) ヤングケアラーに必要なと思う支援
オ) その他の支援の充実等

意見
お金での支援 補助金、給付金など(複数意見)
お金を寄付する(複数意見)
家政婦・お手伝いさんを雇う(複数意見)
ヘルパーを頼む(複数意見)
ボランティアの方々(複数意見)
介護サービスの充実(複数意見)
介護施設を増やす(複数意見)
募金(複数意見)
生活が少しでも楽になるようにロボットをつける
母子家庭と父子家庭の差別化をなくす
学校や地域からの協力 ・市からの援助
お金と施設
お年寄りや幼い子供をあずける施設をつくる
こういうことで困っている人に対して、その親族の面倒を見てくれる施設に親族を預ける。
そういう人にお金や物資の支援をする。
どの役職も安定して給料をもらえるようにする
ベーシックインカムをすればいいと思う
ベビーシッターみたいに家族を見れる人をつけられればいいと思います。
ぼくはCMで知ったのでもっとCMをする。めっちゃ良いと思う。学校の保健体育で勉強をすればいいと思う
ボランティアで活動してくれる人を呼びかけたりしたら、いいと思います。
ヤングケアラーに当てはまる子供たちを支援する教会や、ヤングケアラーの子供たちを援助する制度をつくる。
ヤングケアラーの原因となっている人が病院や老人ホームなどに無償で入れるようにする
ヤングケアラーの子が少しでも楽になれるように相談や介護を代わりにやってくれる人が必要だと思います。
ヤングケアラーの子供がいたら、無料で大人の人を増やす。(その大人の方は「仕事」ということで子供を助ける)
ヤングケアラーの支援を広げていくために資金を集めて障害がある人などを助ける
ヤングケアラーの人たちに施設を設けたり人を看護できる人をお願いをしたりして、良い環境を作るのが良いと思う
ヤングケアラーの人たちへ自分の時間など作ってほしいので週一もしくは月一介護が必要な人たちをどこかに預けられるサービスを作った方がいいと思う。親のことで困っている子供には親の話が聞きたくない子も少なくないと思うので家の事情が良くない子がいるクラスで親の話をむやみに出さない方がいいと思う。
ヤングケアラーの人でも通える学校夜に通う学校があったらいいと思う
ヤングケアラーの人のいる家庭専門の家政婦さん的な人を作り出す(少しでも時間ができるように)
ヤングケアラーの方に給付金のような制度を作ればいいと思います
ヤングケアラーの方々の、助けになることを考えていく必要があると思う。
支援金やヤングケアラーの方たちを養う施設があるとよいと思う。
ヤングケアラーを求めている人の、情報をお世話する人へ流す
ヤングケアラーを支援する制度を設ける
医療、福祉の技術の発達
医療福祉の援助
家以外で勉強できる場所がある(土日祝日、放課後)。学校にいる間家族の世話をみてくれる人がいると良いと思う
家事や介護が必要なヤングケアラーをしている家に訪問介護、訪問家事を無料で、お手伝いしてくれる人がいれば、中高生は助かると思う。そういう社会を作るべき

(5) ヤングケアラーの普及啓発に向けて必要なこと

意見
ポスターで宣伝（複数意見）
テレビのニュースで広げる（複数意見）
テレビCMを流す（複数意見）
インターネットでの拡散 SNS、youtube、TikTok（複数意見）
チラシなどで広める（複数意見）
もっと宣伝する（複数意見）
ヤングケアラーの講演会をする（複数意見）
ヤングケアラーの授業をしたら良いと思う（複数意見）
ヤングケアラーの存在を知ってもらうこと（複数意見）
学校で広める（複数意見）
学校の授業で習うようにする（複数意見）
お便りで伝える
ポスターを作って世の中に知ってもらったり、インスタグラム、Twitter、YouTube、などにこのことを載せたら今はネット社会なので、すぐに世間に知らせることができると思います。その時間がないのならば、友人に話したりすれば友人からその友人へ、そこからまた違う人に知ってもらうことができるので良いと思います。
ポスターを書くだけじゃなくて、学校に講習会のように専門の人が考えを広めていくことが知るきっかけになるので、必要だと思う。
まずいることを知らせて理解を広めて協力を得ること
ヤングケアラーについての授業やサイトなどを見る、調べるなどする時間があったらいいと思った
みんなが理解し、分かり合えるようにする為授業で説明したりの授業をする
メディアや周りの人に伝えて宣伝してもらう。自分も積極的にまわりのひとに気を遣う。
もう少しインターネットや本、テレビなどでヤングケアラーというものを発信していかないといけないかなと思います
ヤングケアラーと言う言葉と意味を、沢山のの人に知ってもらうこと
ヤングケアラーについての理解を深める
ヤングケアラーについて詳しく知らない人のほうが多いだろうからもっと詳しく知ってもらうために、もっといろいろなところで取り上げたりするべきだと思う
ヤングケアラーのことを知らない人が多いと思うので学校や市町村などで、広告のようなものでみんなに「ヤングケアラー」をまずは知ってもらえればいいと思います。それからどんどん支援を広げていければいいと思います
ヤングケアラーのリアルな実態を世に発信していく
ヤングケアラーの人のために、できることを書いた漫画などを児童や親に配布する等をし、いろんな人にヤングケアラーを志ってもらい、その人たちにできることを知ったり、思考したりすることが必要だと思う
ヤングケアラーの人の実態をより知ってもらうための動画を作ってほしい。
ヤングケアラーをもっと色々な人に知ってもらうために、学校でヤングケアラーについて話したりするとういう。
ヤングケアラーを知ってもらうためにヤングケアラーの動画などをつくる
ヤングケアラーを知らない人のためにも、わかりやすい本のようなものを作る
家事とかを手伝ってくれる仕事とかが増えればいいと思った
簡単でわかりやすい説明
課題に対しての認知度を上げるために、このような活動を幅広く行うことが大切だと思う。そうすることで支援を求めている人は求めやすくなり、周りも助けやすくなるからだ。
回覧板にヤングケアラーの紙を貼ったりテレビで取り上げたりして多くの人に知ってもらうことが必要だと思う
学校の授業で詳しくやったりしてみんなに知ってもらう。テレビのパラエティー番組など手軽に見れたり学べる場所を作る

III. 調査結果 [高校2年生]

Ⅲ－１．基本分析 全体及び居住地別

(1) 基本情報

①性別

回答者の性別は、以下の通り。

(%)

	(調査数 n)	男性	女性	その他	無回答
全体	3114	45.0	52.6	0.2	2.2
南加賀	596	51.8	47.5	0.3	0.3
石川中央	1875	43.3	55.5	0.3	1.0
能登中部	384	49.5	49.5	-	1.0
能登北部	187	42.2	56.7	-	1.1

②居住地

回答者の居住地は、以下の通り。

(%)

	(調査数 n)	金沢市	七尾市	小松市	輪島市	珠洲市	加賀市	羽咋市	かほく市	白山市	能美市
全体	3114	37.0	5.4	9.6	1.4	2.1	4.7	2.3	4.5	8.0	4.3
南加賀	596	-	-	50.3	-	-	24.3	-	-	-	22.5
石川中央	1875	61.4	-	-	-	-	-	-	7.4	13.3	-
能登中部	384	-	44.0	-	-	-	-	18.5	-	-	-
能登北部	187	-	-	-	23.0	34.2	-	-	-	-	-

	(調査数 n)	野々市市	川北町	津幡町	内灘町	志賀町	宝達志水町	中能登町	穴水町	能登町	無回答
全体	3114	2.9	0.5	5.1	2.8	2.3	1.1	1.2	0.9	1.6	2.3
南加賀	596	-	2.9	-	-	-	-	-	-	-	-
石川中央	1875	4.7	-	8.5	4.7	-	-	-	-	-	-
能登中部	384	-	-	-	-	18.5	9.1	9.9	-	-	-
能登北部	187	-	-	-	-	-	-	-	15.5	27.3	-

③同居家族

「母親」が最も高く、次いで「父親」、「弟・妹」、「兄・姉」となっている。

(%)

	(調査数)	母親	父親	祖母	祖父	兄・姉	弟・妹	その他	無回答
全体	3114	93.2	80.5	24.4	16.3	34.7	47.0	5.8	2.0
南加賀	596	96.5	85.1	29.2	20.3	35.6	49.5	5.4	0.3
石川中央	1875	94.3	80.6	19.6	12.7	38.3	46.9	5.6	0.6
能登中部	384	93.5	81.0	32.3	23.4	25.5	48.2	7.0	0.5
能登北部	187	92.5	81.8	44.4	27.3	24.1	47.1	8.6	0.5

④家族構成

「二世代世帯」が最も高くなっている。

(%)

	(調査数)	三世代世帯	二世代世帯	ひとり親家庭	その他	無回答
全体	3114	20.2	58.3	16.7	2.8	2.0
南加賀	596	25.5	57.6	15.4	1.2	0.3
石川中央	1875	15.2	63.5	17.6	3.1	0.6
能登中部	384	27.9	50.8	17.2	3.6	0.5
能登北部	187	40.1	39.0	16.0	4.3	0.5

⑤健康状態

「よい」と「まあよい」を合わせ、「よい」と回答した人は7割を超えている。

(%)

	(調査数)	よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	無回答
全体	3114	53.2	22.3	18.0	4.1	0.8	1.6
南加賀	596	57.0	22.1	16.4	3.0	1.0	0.3
石川中央	1875	52.4	23.8	18.7	4.2	0.6	0.3
能登中部	384	54.4	19.8	20.6	3.9	1.0	0.3
能登北部	187	61.0	16.6	14.4	6.4	1.6	-

(2) ふだんの生活について

①学校への通学状況：出席状況

学校の出席状況は、「ほとんど欠席しない」が7割を超え、最も高くなっている。

(%)

	(調査数 n)	ほとんど 欠席しない	たまに 欠席する	よく 欠席する	無回答
全体	3114	75.1	11.0	12.3	1.6
南加賀	596	77.3	11.2	11.1	0.3
石川中央	1875	75.4	11.6	12.7	0.3
能登中部	384	79.7	8.1	12.2	-
能登北部	187	73.3	12.3	14.4	-

②学校への通学状況：遅刻や早退の状況

学校の遅刻や早退の状況は、「ほとんどしない」が9割弱と最も高くなっている。

(%)

	(調査数 n)	ほとんど しない	たまに する	よく する	無回答
全体	3114	88.9	8.6	0.9	1.7
南加賀	596	91.9	6.7	0.8	0.5
石川中央	1875	89.0	9.8	0.8	0.4
能登中部	384	92.2	6.5	1.0	0.3
能登北部	187	90.9	7.5	1.6	-

③部活動への参加状況

部活動の参加状況は、「参加している」が8割を超えている。

(%)

	(調査数 n)	参加 している	参加 していない	無回答
全体	3114	82.1	16.2	1.7
南加賀	596	88.3	11.2	0.5
石川中央	1875	80.0	19.7	0.3
能登中部	384	87.0	12.5	0.5
能登北部	187	93.0	6.4	0.5

④ふだんの学校生活等ではまること（複数回答）

ふだんの学校生活等ではまることについては、「特にない」が5割前後で最も高くなっているが、その他では、「授業中に居眠りすることが多い」が最も高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	授業中に居眠りすることが多い	宿題や課題ができていないことが多い	持ち物の忘れ物が多い	部活動や習い事を休むことが多い	提出しなればいけない書類などの提出が遅れることが多い	修学旅行などの宿泊行事を欠席する	保健室で過ごすことが多い	学校では一人で過ごすことが多い	友人と遊んだりおしゃべりした時間が少ない	特にない	無回答
全体	3114	34.6	18.1	12.7	4.4	13.6	0.5	0.8	6.5	5.1	46.6	3.4
南加賀	596	33.6	15.3	12.9	4.2	11.9	0.2	0.2	7.2	5.9	50.7	2.2
石川中央	1875	36.4	19.3	12.7	4.5	14.8	0.5	1.0	6.7	5.0	45.5	2.1
能登中部	384	32.8	21.6	13.5	4.9	12.8	-	0.3	4.4	4.4	49.0	2.1
能登北部	187	30.5	12.8	12.3	3.2	12.3	2.1	2.7	7.5	7.5	51.9	2.1

⑤現在の悩みや困りごと（複数回答）

現在の悩みや困りごとについては、「進路のこと」が最も高く、次いで「学業成績のこと」となっている。

(%)

	調査数 (n)	友人との関係のこと	学業成績のこと	進路のこと	部活動のこと	学費など学校生活に必要なお金のこと	塾（通信含む）や習い事ができない	家庭の経済状況のこと
全体	3114	11.2	37.6	44.2	14.2	4.5	0.9	4.6
南加賀	596	8.4	36.9	45.8	14.3	4.4	0.5	4.9
石川中央	1875	11.7	38.2	44.7	14.3	4.9	1.1	5.0
能登中部	384	13.5	42.2	43.8	13.8	3.6	0.5	3.4
能登北部	187	10.7	32.6	44.4	15.5	3.2	1.6	3.7

	調査数 (n)	自分と家族との関係のこと	家族内の人間関係のこと	病気や障がいのある家族のこと	自分のために使える時間が少ない	特にない	その他	無回答
全体	3114	4.2	3.3	1.4	6.7	34.5	2.0	3.9
南加賀	596	2.7	2.5	1.7	7.6	35.2	2.5	1.7
石川中央	1875	4.5	3.3	1.5	6.7	34.8	1.8	2.7
能登中部	384	4.7	3.1	1.3	7.0	34.9	2.6	2.1
能登北部	187	4.8	6.4	0.5	5.9	37.4	2.1	5.3

⑥悩みや困りごとの相談相手・話を聞いてくれる人の有無

何らかの悩みや困りごとがあると回答した人に、相談相手・話を聞いてくれる人の有無について聞いたところ、「相談相手や話を聞いてくれる人がいる」が7割を超え最も高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	相談相手や話を聞いてくれる人がいる	相談相手や話を聞いてくれる人がいない	相談や話はしたくない	無回答
全体	3114	76.1	3.1	17.6	3.3
南加賀	596	78.0	2.9	16.8	2.3
石川中央	1875	76.4	3.3	18.6	1.7
能登中部	384	78.6	2.1	17.7	1.6
能登北部	187	81.3	3.2	12.3	3.2

(3) 家庭や家族のことについて

①世話をしている家族の有無

世話をしている家族の有無については、以下の通り。

(%)

	(調査数 n)	いる	いない	答えたくない
全体	3114	3.2	94.4	2.4
南加賀	596	3.9	93.8	2.3
石川中央	1875	3.2	94.4	2.4
能登中部	384	1.8	96.1	2.1
能登北部	187	3.7	94.1	2.1

②世話を必要としている家族（複数回答）

世話を必要としている家族については、「兄弟・姉妹」が最も高くなっている。

(%)

	(調査数 n)	父母	祖父母	兄弟・姉妹	その他	無回答
全体	99	32.3	22.2	39.4	6.1	11.1
南加賀	23	34.8	30.4	34.8	4.3	8.7
石川中央	60	35.0	16.7	40.0	6.7	11.7
能登中部	7	14.3	42.9	57.1	-	-
能登北部	7	14.3	28.6	28.6	14.3	28.6

③父母の状況（複数回答）／父母への世話の内容（複数回答）

世話を必要としている家族として「父母」と回答した人に、父母の状況を聞いたところ、「高齢」と「身体障がい」が高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	高齢 (65歳以上)	要介護	認知症	身体障がい	知的障がい	精神疾患 (疑い含む)	依存症 (疑い含む)	精神疾患・ 依存症以外 の病気	その他	無回答
全 体	32	18.8	15.6	6.3	18.8	3.1	6.3	-	6.3	9.4	25.0
南加賀	8	25.0	-	12.5	25.0	-	12.5	-	-	12.5	12.5
石川中央	21	19.0	23.8	4.8	19.0	4.8	4.8	-	9.5	-	28.6
能登中部	1	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
能登北部	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0

世話を必要としている家族として「父母」と回答した人に、世話の内容を聞いたところ、「家事」が最も高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	家事	身体的な介護	外出の付き添い	通院の付き添い	感情面のサポート	見守り	通訳	金銭管理	薬の管理	その他	無回答
全 体	32	53.1	3.1	21.9	-	12.5	18.8	-	3.1	-	-	18.8
南加賀	8	50.0	-	37.5	-	-	12.5	-	-	-	-	12.5
石川中央	21	47.6	4.8	19.0	-	19.0	23.8	-	4.8	-	-	23.8
能登中部	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
能登北部	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

④祖父母の状況（複数回答）／祖父母への世話の内容（複数回答）

世話を必要としている家族として「祖父母」と回答した人に、祖父母の状況を聞いたところ、「高齢」が最も高く、次いで「認知症」となっている。

(%)

	調査数 (n)	高齢 (65歳以上)	要介護	認知症	身体障がい	知的障がい	精神疾患 (疑い含む)	依存症 (疑い含む)	精神疾患・ 依存症以外 の病気	その他	無回答
全 体	22	81.8	18.2	27.3	22.7	4.5	-	4.5	-	4.5	4.5
南加賀	7	85.7	28.6	42.9	28.6	-	-	-	-	14.3	-
石川中央	10	80.0	10.0	30.0	20.0	10.0	-	10.0	-	-	-
能登中部	3	100.0	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-	-
能登北部	2	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0

世話を必要としている家族として「祖父母」と回答した人に、世話の内容を聞いたところ、「家事」と「見守り」が高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	家事	身体的な介護	外出の付き添い	通院の付き添い	感情面のサポート	見守り	通訳	金銭管理	薬の管理	その他	無回答
全 体	22	54.5	18.2	18.2	13.6	13.6	40.9	-	-	9.1	4.5	4.5
南加賀	7	57.1	57.1	28.6	28.6	14.3	28.6	-	-	28.6	-	-
石川中央	10	50.0	-	20.0	10.0	20.0	60.0	-	-	-	10.0	10.0
能登中部	3	33.3	-	-	-	-	33.3	-	-	-	-	33.3
能登北部	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

⑤兄弟・姉妹の状況（複数回答）／兄弟・姉妹への世話の内容（複数回答）

世話を必要としている家族として「兄弟・姉妹」と回答した人に、兄弟・姉妹の状況を聞いたところ、「若い」が最も高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	若い	要介護	認知症	身体障がい	知的障がい	精神疾患 (疑い含む)	依存症 (疑い含む)	精神疾患・ 依存症以外 の病気	その他	無回答
全 体	39	59.0	-	2.6	2.6	20.5	-	-	-	7.7	7.7
南加賀	8	75.0	-	-	-	25.0	-	-	-	-	-
石川中央	24	54.2	-	4.2	-	20.8	-	-	-	12.5	8.3
能登中部	4	75.0	-	-	25.0	-	-	-	-	-	-
能登北部	2	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	50.0

世話を必要としている家族として「兄弟・姉妹」と回答した人に、世話の内容を聞いたところ、「見守り」が最も高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	家事	兄弟・姉妹の 育所等への送迎 や保	身体的な 介護	外出の 付き添い	通院の 付き添い	感情面の サポート	見守り	通訳	金銭管理	薬の 管理	その他	無回答
全 体	39	35.9	35.9	15.4	20.5	2.6	17.9	56.4	-	-	2.6	-	5.1
南加賀	8	25.0	37.5	12.5	37.5	-	37.5	75.0	-	-	-	-	-
石川中央	24	41.7	37.5	16.7	12.5	-	16.7	54.2	-	-	-	-	4.2
能登中部	4	25.0	50.0	25.0	50.0	25.0	-	50.0	-	-	25.0	-	-
能登北部	2	50.0	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-

⑥世話を一緒にしている人（複数回答）

世話を一緒にしている人については、「母親」が最も高くなっている。

(%)

	(調査数 n)	母親	父親	祖母	祖父	兄弟・姉妹	親戚の人	自分のみ	福祉サービスを利用	その他	無回答
全 体	99	58.6	35.4	21.2	10.1	27.3	6.1	10.1	3.0	1.0	19.2
南加賀	23	69.6	47.8	39.1	26.1	43.5	4.3	4.3	-	-	8.7
石川中央	60	51.7	28.3	11.7	3.3	21.7	8.3	11.7	5.0	-	26.7
能登中部	7	85.7	71.4	42.9	14.3	42.9	-	14.3	-	-	-
能登北部	7	57.1	14.3	28.6	14.3	-	-	14.3	-	14.3	14.3

⑦世話を始めた年齢

世話を始めた時期については、「中学生以降」が最も高くなっている。

(%)

	(調査数 n)	就学前	小学校 (低学年)	小学校 (高学年)	中学生以降	無回答
全 体	99	11.1	8.0	13.1	44.4	23.2
南加賀	23	17.4	8.6	13.0	52.1	8.7
石川中央	60	6.7	6.7	15.0	40.0	31.7
能登中部	7	28.6	14.3	-	57.2	-
能登北部	7	14.3	14.3	14.3	28.6	28.6

⑧世話をしている頻度

世話をしている頻度については、「ほぼ毎日」が最も高くなっている。

(%)

	(調査数 n)	ほぼ毎日	週に3〜5日	週に1〜2日	1ヶ月に数日	その他	無回答
全 体	99	35.4	20.2	14.1	12.1	-	18.2
南加賀	23	43.5	17.4	13.0	17.4	-	8.7
石川中央	60	28.3	20.0	16.7	11.7	-	23.3
能登中部	7	57.1	42.9	-	-	-	-
能登北部	7	42.9	14.3	14.3	-	-	28.6

⑨平日1日あたりに世話に費やす時間

平日1日あたりに世話に費やす時間については、「1時間程度」が最も高く、平均では2時間前後となっている。

	(調査数 n)	1時間程度	2時間程度	3～6時間	7時間以上	無回答	平均(時間)
全体	99	43.4	14.1	16.2	3.0	23.2	2.1
南加賀	23	60.9	8.7	8.7	8.7	13.0	2.3
石川中央	60	31.7	16.7	21.7	1.7	28.3	2.1
能登中部	7	85.7	-	-	-	14.3	1.0
能登北部	7	42.9	14.3	14.3	-	28.6	1.8

⑩世話をしているために、やりたいけれどできていないこと(複数回答)

世話をしているために、やりたいけれどできていないことについては、「特にない」が最も高く5割強を占めているが、その他では「自分の時間が取れない」、「宿題や勉強する時間が取れない」、「睡眠が十分に取れない」が高くなっている。

	(調査数 n)	学校に行きたくてもいけない	どうしても学校を遅刻・早退してしまう	宿題をする時間や勉強する時間が取れない	睡眠が十分に取れない	友人と遊ぶことができない	部活や習い事ができない、辞めざるを得なかった	進路の変更を考えざるを得ない、進路を変更した	自分の時間が取れない	特にない	その他	無回答
全体	99	3.0	4.0	11.1	11.1	5.1	3.0	5.1	12.1	54.5	3.0	14.1
南加賀	23	4.3	4.3	17.4	-	4.3	-	-	8.7	65.2	4.3	4.3
石川中央	60	1.7	5.0	10.0	16.7	6.7	3.3	6.7	13.3	46.7	3.3	20.0
能登中部	7	-	-	-	-	-	14.3	14.3	14.3	71.4	-	-
能登北部	7	14.3	-	-	-	-	-	-	-	71.4	-	14.3

⑪世話のきつさ（複数回答）

世話をすることを感じているきつさについては、「特にきつさは感じていない」が最も高く、その他では「時間的余裕がない」が最も高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	身体的にきつい	精神的にきつい	時間的余裕がない	特にきつさは感じていない	無回答
全体	99	5.1	11.1	14.1	62.6	14.1
南加賀	23	-	8.7	8.7	78.3	8.7
石川中央	60	6.7	13.3	18.3	53.3	18.3
能登中部	7	-	14.3	-	85.7	-
能登北部	7	14.3	-	-	71.4	14.3

⑫世話について相談した経験

世話について相談した経験は、「ある」が2割前後となっている。

(%)

	調査数 (n)	ある	ない	答えたくない
全体	99	19.2	71.7	9.1
南加賀	23	21.7	69.6	8.7
石川中央	60	20.0	68.3	11.7
能登中部	7	14.3	85.7	-
能登北部	7	14.3	85.7	-

⑬世話についての相談相手（複数回答）

世話についての相談相手は、「家族」と「友人」が高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	家族	親戚	友人	学校の先生	保健室の先生	カウンセラー	スクールソーシャルワーカー	医師や看護師、その他病院の人	福祉サービスの人	ヘルパー、ケアマネージャー、	役所や保健センターの人	近所の人	SNS上での知り合い	その他
全体	19	52.6	5.3	52.6	15.8	10.5	5.3	-	-	-	-	-	-	5.3	5.3
南加賀	5	80.0	-	20.0	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川中央	12	33.3	8.3	75.0	16.7	16.7	8.3	-	-	-	-	-	-	8.3	8.3
能登中部	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
能登北部	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

⑭世話について相談したことがない理由（複数回答）

世話について相談した経験が「ない」と回答した人に、その理由について聞いたところ、「誰かに相談するほどの悩みではない」が6割で最も高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	誰かに相談するほどの悩みではない	家族以外の人に相談する	家族以外の人が身近に	相談できる人が身近に	家族のこのため話し	家族のこのことを知られたくない	家族に対して偏見を持た	相談しても状況が変わるとは思わない	その他	無回答
全体	71	60.6	7.0	2.8	1.4	-	4.2	7.0	9.9	1.4	19.7
南加賀	16	68.8	-	-	-	-	-	-	18.8	-	12.5
石川中央	41	61.0	9.8	4.9	2.4	-	4.9	7.3	9.8	-	19.5
能登中部	6	66.7	-	-	-	-	-	33.3	-	16.7	16.7
能登北部	6	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0

⑮世話について悩みを聞いてくれる人の有無

世話について相談した経験が「ない」と回答した人に、世話について悩みを聞いてくれる人の有無を聞いたところ、7割弱が「いる」と回答している。

(%)

	調査数 (n)	いる	いない	無回答
全 体	71	66.2	18.3	15.5
南加賀	16	75.0	18.8	6.3
石川中央	41	61.0	22.0	17.1
能登中部	6	66.7	16.7	16.7
能登北部	6	66.7	-	33.3

⑮学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援（複数回答）

学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援については、「特にない」が5割強を占めているが、その他では、「自分のいまの状況について話を聞いてほしい」、「家族の世話について相談にのってほしい」が高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	話を聞いてほしい	自分のいまの状況について	家族の世話について相談にのってほしい	家族の病気や障がい、ケアなどわかりやすく説明してほしい	家族の病気や障がい、ケアなど	行っている人やサービスを代わって	行っている人やサービスを代わって	自由に使える時間がほしい	進路や就職など将来の相談にのってほしい	学校の勉強や受験勉強など学習のサポート	家庭への経済的な支援	わからない	特にない	その他	無回答
全 体	99	9.1	8.1	4.0	-	2.0	4.0	4.0	7.1	7.1	16.2	51.5	-	-	9.1	
南加賀	23	4.3	13.0	-	-	4.3	4.3	-	-	-	17.4	56.5	-	-	4.3	
石川中央	60	10.0	8.3	6.7	-	1.7	5.0	5.0	10.0	11.7	18.3	45.0	-	-	10.0	
能登中部	7	14.3	-	-	-	-	-	14.3	14.3	-	-	85.7	-	-	-	
能登北部	7	14.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	57.1	-	-	28.6	

(4) ヤングケアラーについて

①ヤングケアラーの自覚

自分がヤングケアラーにあてはまると思うかについて聞いたところ、「あてはまる」が全体で1.4%となっている。

家族の世話の有無別に見ると、家族の世話をしていると回答した人のうち、15.2%が「自分がヤングケアラーにあてはまる」と回答し、39.4%が「あてはまらない」と回答している。

(%)

	調査数 (n)	あてはまる	あてはまらない	わからない	無回答
全体	3114	1.4	88.8	9.2	0.6
南加賀	596	1.7	89.6	8.7	-
石川中央	1875	1.3	88.7	9.3	0.7
能登中部	384	1.6	90.6	7.6	0.3
能登北部	187	1.6	87.7	10.7	-

[家族の世話の有無別]

(%)

		調査数 (n)	あてはまる	あてはまらない	わからない	無回答
世話をしている家族	いる	99	15.2	39.4	41.4	4.0
	いない	2940	0.9	91.6	7.0	0.5
	答えたくない	75	4.0	45.3	50.7	-

②ヤングケアラーの認知度

ヤングケアラーの認知度については、「聞いたことがあり、内容も知っている」が全体の27.3%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が全体の22.3%となっている。

(%)

	調査数 (n)	聞いたことがあり、 内容も知っている	聞いたことはあるが、 よく知らない	聞いたことはない	答えたくない
全体	3114	27.3	22.3	49.4	1.1
南加賀	596	24.7	24.5	49.5	1.3
石川中央	1875	29.7	23.6	45.7	1.0
能登中部	384	22.1	16.4	60.4	1.0
能登北部	187	22.5	15.0	62.6	-

③ヤングケアラーについて知ったきっかけ（複数回答）

ヤングケアラーについて、「聞いたことがあり、内容も知っている」、「聞いたことはあるが、よく知らない」と回答した人に、知ったきっかけを聞いたところ、「テレビや新聞、ラジオ」が6割を超え最も高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	テレビや新聞、 ラジオ	雑誌や本	SNSや インターネット	広報やチラシ、 提示物	イベントや交流会など	学校	友人・知人から聞いた	その他	無回答
全体	1544	61.3	5.4	24.9	7.3	0.9	39.8	2.8	1.4	2.1
南加賀	293	57.0	2.7	20.5	7.5	0.3	42.3	1.4	2.4	2.0
石川中央	1000	59.4	5.2	25.0	7.3	1.1	43.2	3.3	1.1	2.0
能登中部	148	72.3	8.8	33.1	6.8	0.7	23.6	0.7	2.7	2.7
能登北部	70	80.0	14.3	32.9	8.6	1.4	22.9	4.3	-	-

III - 2. 追加分析

(1) 家族の世話の有無による学校生活等の状況

① 家族の世話×家族構成

世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、「ひとり親家庭」の割合が高くなっている。

(%)

		(調査数 n)	三世 代世 帯	二世 代世 帯	ひとり 親家 庭	その他	無回 答
世話をしている家族	いる	99	30.3	45.5	21.2	1.0	2.0
	いない	2940	19.7	59.1	16.5	2.8	1.9
	答えたくない	75	29.3	40.0	20.0	6.7	4.0

② 家族の世話の有無×健康状態

世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、健康状態が「よくない・あまりよくない」割合が高くなっている。

(%)

		(調査数 n)	よい ・ま あ よい	ふ つ う	よ あ く ま り よ く な い ・	無回 答
世話をしている家族	いる	99	66.7	20.2	11.1	2.0
	いない	2940	76.2	17.7	4.5	1.6
	答えたくない	75	58.7	26.7	12.0	2.7

③ 家族の世話の有無×出席状況

世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、学校を「たまに欠席する」割合が高くなっている。

(%)

		(調査数 n)	欠 ほ と し ん だ い	欠 た ま に す る	欠 よ く す る	無回 答
世話をしている家族	いる	99	63.6	23.2	11.1	2.0
	いない	2940	75.6	10.5	12.3	1.5
	答えたくない	75	68.0	14.7	14.7	2.7

④家族の世話の有無×遅刻や早退の状況

世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、遅刻や早退を「たまにする」、「よくする」割合が高くなっている。

(%)

		(調査数 n)	ほとんどしない	たまにする	よくする	無回答
世話をしている家族	いる	99	81.8	11.1	4.0	3.0
	いない	2940	89.1	8.4	0.8	1.6
	答えたくない	75	86.7	10.7	-	2.7

⑤家族の世話の有無×学校生活等であてはまること（複数回答）

世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、全体的に回答割合が高い傾向が見られ、「提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い」、「授業中に居眠りすることが多い」が高くなっている。

(%)

		(調査数 n)	授業中に居眠りすることが多い	宿題や課題ができていないことが多い	持ち物の忘れ物が多い	多活動や習い事を休むことが多い	提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い	修学旅行などの宿泊行事を欠席する	保健室で過ごすことが多い	学校では一人で過ごすことが多い	友人と遊んだりおしゃべりしたりする時間が少ない	特にない	無回答
世話をしている家族	いる	99	38.4	19.2	14.1	7.1	20.2	-	1.0	8.1	6.1	42.4	3.0
	いない	2940	34.4	17.7	12.4	4.3	13.1	0.5	0.8	6.3	4.9	46.9	3.4
	答えたくない	75	40.0	32.0	25.3	4.0	26.7	1.3	-	10.7	12.0	37.3	6.7

⑥家族の世話の有無×現在の悩みや困りごと（複数回答）

世話をしている家族がいる場合、いない場合を比較して、大きな差は見られない。

(%)

		調査数 (n)	友人との関係のこと	学業成績のこと	進路のこと	部活動のこと	学費など学校生活に必要なお金のこと	塾（通信含む）や習い事ができない	家庭の経済的状況のこと
世話をしている家族	いる	99	11.1	35.4	39.4	14.1	6.1	-	12.1
	いない	2940	11.0	37.6	44.5	14.1	4.2	0.9	4.1
	答えたくない	75	18.7	40.0	41.3	16.0	13.3	5.3	13.3

		調査数 (n)	自分と家族との関係のこと	家族内の人間関係のこと	病気や障がいのある家族のこと	自分のために使える時間が少ない	特にない	その他	無回答
世話をしている家族	いる	99	8.1	6.1	8.1	13.1	36.4	2.0	3.0
	いない	2940	3.8	2.9	1.1	6.4	34.5	2.0	4.0
	答えたくない	75	12.0	14.7	8.0	12.0	33.3	1.3	4.0

⑦家族の世話の有無×相談相手の有無

世話をしている家族がいる場合、いない場合を比較して、大きな差は見られない。

(%)

		調査数 (n)	相談相手や話を聞いている人がいる	相談相手や話を聞いていない	相談や話はしたくない	無回答
世話をしている家族	いる	99	76.8	5.1	14.1	4.0
	いない	2940	76.7	2.9	17.1	3.3
	答えたくない	75	50.7	6.7	40.0	2.7

(2) 性別による世話の状況の違い

①性別×家族の世話の有無

世話をしている家族の有無については、性別による大きな差は見られない。

(%)

	(調査数 n)	いる	いない	答えたくない
男性	1401	2.9	94.1	3.1
女性	1638	3.4	94.9	1.7
その他	7	-	85.7	14.3

②性別×世話の内容（複数回答）

世話の内容については、世話を必要としている家族が、
 父母の場合は、「見守り」は女性が、「家事」は男性が高い。
 祖父母の場合は、「身体的な介護」は女性が高い。
 兄弟・姉妹の場合は、「家事」、「兄弟・姉妹の世話や保育所等への送迎」、「外出の付き添い」は女性が、「見守り」は男性が高い。

[父母への世話の内容]

(%)

	(n)	家事	身体的な介護	外出の付き添い	通院の付き添い	感情面のサポート	見守り	通訳	金銭管理	薬の管理	その他	無回答
男性	15	66.7	-	20.0	-	13.3	6.7	-	-	-	-	13.3
女性	16	37.5	6.3	25.0	-	12.5	31.3	-	6.3	-	-	25.0
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

[祖父母への世話の内容]

(%)

	(n)	家事	身体的な介護	外出の付き添い	通院の付き添い	感情面のサポート	見守り	通訳	金銭管理	薬の管理	その他	無回答
男性	12	58.3	8.3	25.0	8.3	16.7	41.7	-	-	-	8.3	-
女性	10	50.0	30.0	10.0	20.0	10.0	40.0	-	-	20.0	-	10.0
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

[兄弟・姉妹への世話の内容]

(%)

	(n)	家事	兄弟・姉妹の世話や保育所等への送迎など	身体的な介護	外出の付き添い	通院の付き添い	感情面のサポート	見守り	通訳	金銭管理	薬の管理	その他	無回答
男性	10	10.0	10.0	20.0	10.0	-	-	80.0	-	-	-	-	-
女性	27	44.4	48.1	14.8	25.9	3.7	25.9	51.9	-	-	3.7	-	3.7
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

③性別×世話の開始時期

世話を始めた時期については、男女とも「中学生以降」が最も高くなっている。

(%)

	(調査数)	就学前	小学生 (低学年)	小学生 (高学年)	中学生以降	無回答
男性	40	12.5	10.0	7.5	45.0	25.0
女性	56	7.1	7.1	8.9	55.4	21.4
その他	-	-	-	-	-	-

④性別×世話の頻度

世話の頻度については、男女とも「ほぼ毎日」が最も高くなっている。

(%)

	(調査数)	ほぼ毎日	週に3〜5日	週に1〜2日	1ヶ月に数日	その他	無回答
男性	40	40.0	15.0	12.5	15.0	-	17.5
女性	56	32.1	23.2	16.1	8.9	-	19.6
その他	-	-	-	-	-	-	-

⑤性別×世話に費やす時間

世話に費やす時間については、女性の方が長めの傾向が見られる。

(%)

	(調査数)	1時間程度	2時間程度	3〜6時間	7時間以上	無回答
男性	40	52.5	7.5	15.0	5.0	20.0
女性	56	37.5	17.9	17.9	1.8	25.0
その他	-	-	-	-	-	-

⑥性別×世話のきつさ（複数回答）

世話をすることを感じているきつさについては、女性で「精神的にきつい」、「時間的余裕がない」が高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	身体的にきつい	精神的にきつい	時間的余裕がない	特にきつさは感じていない	無回答
男性	40	7.5	7.5	10.0	65.0	12.5
女性	56	3.6	14.3	16.1	62.5	14.3
その他	-	-	-	-	-	-

⑦性別×世話について相談した経験

世話について相談した経験の有無では、女性は男性に比べ「ある」の割合が高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	ある	ない	答えたくない
男性	40	17.5	67.5	15.0
女性	56	21.4	75.0	3.6
その他	-	-	-	-

⑧性別×世話についての相談相手（複数回答）

世話についての相談相手では、男性では「家族」が、女性では「友人」が最も高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	家族	親戚	友人	学校の先生	保健室の先生	スクールソーシャルワーカー・カウンセラー	医師や看護師、その他病院の人	福祉サービスの人	ヘルパー、ケアマネージャー、	役所や保健センターの人	近所の人	SNS上での知り合い	その他
男性	7	85.7	-	28.6	14.3	-	-	-	-	-	-	-	14.3	-
女性	12	33.3	8.3	66.7	16.7	16.7	8.3	-	-	-	-	-	-	8.3
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

⑨性別×学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援（複数回答）

学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援については、「特にない」は男女で差は見られない。

(%)

	調査数 (n=)	自分のいまの状況について話を聞いてほしい	家族の世話について相談にのってほしい	家族の病気や障がい、ケアなどわかりやすく説明してほしい	家族の病気や障がい、ケアなどしてくれる人やサービスがほしい	行っている世話をすべて代わりにしてくれる人やサービスがほしい	行っている世話の一部を代わりにしてくれる人やサービスがほしい	自由に使える時間がほしい	進路や就職など将来の相談にのってほしい	学習のサポート	学校の勉強や受験勉強など	家庭への経済的な支援	わからない	特にない	その他	無回答
男性	40	10.0	5.0	5.0	-	-	2.5	2.5	7.5	5.0	15.0	52.5	-	-	7.5	
女性	56	8.9	10.7	3.6	-	3.6	5.4	5.4	7.1	8.9	14.3	51.8	-	-	10.7	
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

(3) 家族構成による世話の状況の違い

① 家族構成×世話を必要としている家族（複数回答）

世話を必要としている家族について、三世代世帯では「祖父母」が、二世代世帯では「兄弟・姉妹」が、ひとり親家庭では「父母」が最も高くなっている。

(%)

	(調査数)	父母	祖父母	兄弟・姉妹	その他	無回答
三世代世帯	30	23.3	46.7	33.3	6.7	10.0
二世代世帯	45	35.6	11.1	51.1	-	11.1
ひとり親家庭	21	38.1	14.3	23.8	14.3	14.3
その他	1	-	-	-	100.0	-

②家族構成×世話の内容（複数回答）

父母及び祖父母への世話の内容では、いずれの家族構成でも「家事」が最も高い。
兄弟・姉妹の世話の内容では、三世帯世帯、二世帯世帯で「見守り」の割合が高い。

[父母への世話の内容]

(%)

	調査数 (n)	家事	身体的な介護	外出の付き添い	通院の付き添い	感情面のサポート	見守り	通訳	金銭管理	薬の管理	その他	無回答
三世帯世帯	7	57.1	-	42.9	-	14.3	28.6	-	-	-	-	28.6
二世帯世帯	16	56.3	-	18.8	-	6.3	6.3	-	-	-	-	25.0
ひとり親家庭	8	37.5	12.5	12.5	-	25.0	37.5	-	12.5	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

[祖父母への世話の内容]

(%)

	調査数 (n)	家事	身体的な介護	外出の付き添い	通院の付き添い	感情面のサポート	見守り	通訳	金銭管理	薬の管理	その他	無回答
三世帯世帯	14	78.6	14.3	21.4	14.3	14.3	42.9	-	-	7.1	7.1	-
二世帯世帯	5	20.0	20.0	20.0	20.0	-	20.0	-	-	-	-	20.0
ひとり親家庭	3	-	33.3	-	-	33.3	66.7	-	-	33.3	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

[兄弟・姉妹への世話の内容]

(%)

	調査数 (n)	家事	兄弟・姉妹の世話や 保育所等への送迎など	身体的な介護	外出の付き添い	通院の付き添い	感情面のサポート	見守り	通訳	金銭管理	薬の管理	その他	無回答
三世帯世帯	10	30.0	40.0	20.0	30.0	-	30.0	50.0	-	-	-	-	10.0
二世帯世帯	23	39.1	39.1	8.7	21.7	4.3	13.0	65.2	-	-	4.3	-	-
ひとり親家庭	5	40.0	20.0	40.0	-	-	20.0	40.0	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

③家族構成×世話を一緒にする人（複数回答）

ひとり親家庭では、「自分のみ」の割合が他に比べ高くなっている。

(%)

	(調査数 n)	母親	父親	祖母	祖父	兄弟・姉妹	親戚の人	自分のみ	福祉サービスを利用	その他	無回答
三世代世帯	30	80.0	40.0	40.0	26.7	33.3	3.3	10.0	3.3	-	13.3
二世帯世帯	45	60.0	44.4	4.4	2.2	28.9	6.7	6.7	-	-	24.4
ひとり親家庭	21	28.6	9.5	33.3	4.8	14.3	9.5	19.0	9.5	-	19.0
その他	1	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-

④家族構成×世話の頻度

三世代世帯で、「ほぼ毎日」の割合が他に比べ高くなっている。

(%)

	(調査数 n)	ほぼ毎日	週に3〜5日	週に1〜2日	1ヶ月に数日	その他	無回答
三世代世帯	30	46.7	16.7	13.3	6.7	-	16.7
二世帯世帯	45	31.1	17.8	20.0	11.1	-	20.0
ひとり親家庭	21	23.8	33.3	4.8	19.0	-	19.0
その他	1	100.0	-	-	-	-	-

⑤家族構成×世話に費やす時間

世話に費やす時間は、いずれの家族構成でも2時間までで5割以上を占めている。

(%)

	(調査数 n)	1時間程度	2時間程度	3〜6時間	7時間以上	無回答
三世代世帯	30	50.0	16.7	10.0	3.3	20.0
二世帯世帯	45	35.6	13.3	20.0	4.4	26.7
ひとり親家庭	21	47.6	9.5	19.0	-	23.8
その他	1	100.0	-	-	-	-

⑥家族構成×世話による制約（複数回答）

二世帯世帯では「睡眠が十分に取れない」、ひとり親家庭では「進路の変更を考えざるを得ない、進路を変更した」の割合が、他に比べ高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	学校に行きたくてもいけない	どうしても学校を遅刻・早退してしまう	宿題をする時間や勉強する時間が取れない	睡眠が十分に取れない	友人と遊ぶことができない	部活や習い事ができない、辞めざるを得なかった	進路の変更を考えざるを得ない、進路を変更した	自分の時間が取れない	特にな	その他	無回答
三世帯世帯	30	6.7	-	3.3	3.3	3.3	3.3	-	10.0	63.3	3.3	13.3
二世帯世帯	45	2.2	6.7	13.3	20.0	4.4	2.2	4.4	13.3	57.8	2.2	11.1
ひとり親家庭	21	-	4.8	14.3	-	9.5	4.8	14.3	9.5	33.3	4.8	23.8
その他	1	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-

⑦家族構成×世話をすることに感じているきつさ

世話をすることに感じているきつさについては、二世帯世帯で全般的に回答割合が高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	身体的にきつい	精神的にきつい	時間的余裕がない	特になきつさは感じ	無回答
三世帯世帯	30	3.3	3.3	6.7	73.3	13.3
二世帯世帯	45	8.9	15.6	20.0	60.0	11.1
ひとり親家庭	21	-	14.3	9.5	52.4	23.8
その他	1	-	-	-	100.0	-

⑧家族構成×学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援（複数回答）

学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援については、ひとり親家庭で全体的に回答割合が高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	自分のいまの状況について話を聞いてほしい	家族の世話について相談にのってほしい	家族の病気や障がい、ケアなどわかりやすく説明してほしい	家族の病気や障がい、ケアなどわかってほしい	行っている世話をすべて代わってくれる人やサービスがほしい	行っている世話の一部を代わってくれる人やサービスがほしい	自由に使える時間がほしい	進路や就職など将来の相談にのってほしい	学習のサポート	学校の勉強や受験勉強など	家庭への経済的な支援	わからない	特にない	その他	無回答
三世代世帯	30	3.3	6.7	3.3	-	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	-	-	10.0	63.3	-	10.0
二世帯世帯	45	11.1	13.3	2.2	-	2.2	4.4	2.2	6.7	6.7	6.7	6.7	17.8	53.3	-	4.4
ひとり親家庭	21	14.3	-	9.5	-	-	4.8	9.5	14.3	19.0	19.0	19.0	19.0	28.6	-	19.0
その他	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-

(4) 平日1日あたりの世話に費やす時間による生活状況等

① 平日1日あたりの世話に費やす時間×健康状態

世話に費やす時間と健康状態に相関は見られない。

(%)

	(調査数 n)	よい・まあよい	ふつう	あまりない・よくない	無回答
1時間程度	43	74.4	16.3	7.0	2.3
2時間程度	14	28.6	35.7	28.6	7.1
3～6時間	16	68.8	25.0	6.3	-
7時間以上	3	100.0	-	-	-

② 平日1日あたりの世話に費やす時間×欠席の状況

世話に費やす時間と欠席の状況に相関は見られない。

(%)

	(調査数 n)	欠席ほとんどない	欠席たまにする	欠席よくする	無回答
1時間程度	43	65.1	23.3	9.3	2.3
2時間程度	14	35.7	57.1	-	7.1
3～6時間	16	68.8	18.8	12.5	-
7時間以上	3	100.0	-	-	-

③ 平日1日あたりの世話に費やす時間×遅刻や早退の状況

世話に費やす時間が長いほど、遅刻や早退を「よくする」割合が高くなっている

(%)

	(調査数 n)	ほとんどない	たまにする	よくする	無回答
1時間程度	43	86.0	9.3	2.3	2.3
2時間程度	14	71.4	14.3	7.1	7.1
3～6時間	16	68.8	12.5	12.5	6.3
7時間以上	3	100.0	-	-	-

④平日1日あたりの世話に費やす時間×学校生活等であてはまること（複数回答）

学校生活等であてはまることについて、世話に費やす時間が長い方が、全体的に回答割合が高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	授業中に居眠りすることが多い	宿題や課題ができていないことが多い	持ち物の忘れ物が多い	部活動や習い事を休むことが多い	提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い	修学旅行などの宿泊行事を欠席する	保健室で過ごすことが多い	学校では一人で過ごすことが多い	友人と遊んだりおしゃべりしたりする時間が少ない	特にない	無回答
1時間程度	43	27.9	14.0	14.0	9.3	18.6	-	2.3	14.0	9.3	51.2	2.3
2時間程度	14	64.3	21.4	7.1	7.1	14.3	-	-	-	-	35.7	7.1
3～6時間	16	43.8	31.3	31.3	-	31.3	-	-	-	6.3	37.5	-
7時間以上	3	33.3	-	-	33.3	-	-	-	-	-	33.3	-

⑤平日1日あたりの世話に費やす時間×現在の悩みや困りごと（複数回答）

世話に費やす時間と現在の悩みや困りごとでの大きな傾向は見られない。

(%)

	調査数 (n)	友人との関係のこと	学業成績のこと	進路のこと	部活動のこと	学費など学校生活に必要なお金のこと	塾（通信含む）や習い事ができない	と家庭の経済的状況のこと
1時間程度	43	14.0	34.9	41.9	16.3	4.7	-	9.3
2時間程度	14	-	28.6	42.9	14.3	14.3	-	14.3
3～6時間	16	6.3	37.5	31.3	18.8	6.3	-	18.8
7時間以上	3	33.3	33.3	-	33.3	-	-	-

	調査数 (n)	自分と家族との関係のこと	と家族内の人間関係のこと	病気や障がいのある家族のこと	間が少ないために使える時間	特にない	その他	無回答
1時間程度	43	4.7	2.3	14.0	14.0	30.2	-	2.3
2時間程度	14	7.1	21.4	7.1	21.4	28.6	7.1	7.1
3～6時間	16	18.8	6.3	-	25.0	43.8	-	-
7時間以上	3	-	-	-	-	66.7	-	-

⑥平日1日あたりの世話に費やす時間×世話をすることに感じるきつさ（複数回答）

世話に費やす時間が長いほど、「身体にきつい」、「精神的にきつい」の割合が高くなっている。

(%)

	(調査数)	身体的にきつい	精神的にきつい	時間的余裕がない	特にきつさは感じない	無回答
1時間程度	43	2.3	9.3	9.3	79.1	-
2時間程度	14	7.1	7.1	42.9	50.0	7.1
3～6時間	16	12.5	18.8	18.8	68.8	-
7時間以上	3	33.3	66.7	-	33.3	-

⑦平日1日あたりの世話に費やす時間×世話に関する相談の経験

世話に費やす時間と世話に関する相談の経験に相関は見られない。

(%)

	(調査数)	ある	ない	答えたくない
1時間程度	43	25.6	72.1	2.3
2時間程度	14	21.4	78.6	-
3～6時間	16	18.8	75.0	6.3
7時間以上	3	33.3	-	66.7

⑧平日1日あたりの世話に費やす時間×世話に関する相談相手（複数回答）

※母数が小さいためコメントしない。

(%)

	調査数 (n)	家族	親戚	友人	学校の先生	保健室の先生	スクールソーシャルワーカー・ カウンセラー	医師や看護師、その他病院の人	ヘルパー、ケアマネージャー、 福祉サービスの人	役所や保健センターの人	近所の人	SNS上での知り合い	その他
1時間程度	11	63.6	9.1	36.4	18.2	-	-	-	-	-	-	-	9.1
2時間程度	3	33.3	-	100.0	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-
3～6時間	3	-	-	66.7	-	66.7	33.3	-	-	-	-	-	-
7時間以上	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

⑨平日1日あたりの世話に費やす時間×世話に関する相談をしたことがない理由（複数回答）

世話に関する相談をしたことがない理由について、世話をする時間が長いほど、「家族以外の人に相談するような悩みではない」の割合が高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	誰かに相談するほどの 悩みではない	家族以外の人に相談する ような悩みではない	家族以外の人が身近に いない	相談できる人が身近に いない	家族のこのため話し にくい	家族のことを知られたく ない	家族に対して偏見を持た れたくない	相談しても状況が変わる とは思わない	その他	無回答
1時間程度	31	71.0	3.2	3.2	-	-	3.2	6.5	9.7	3.2	9.7
2時間程度	11	63.6	9.1	-	-	-	-	-	18.2	-	9.1
3～6時間	12	66.7	25.0	-	-	-	16.7	16.7	8.3	-	8.3
7時間以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(5) 世話を必要としている家族による世話の状況等

①世話を必要としている家族×(回答者の)性別

世話を必要としている家族が兄弟・姉妹の場合、他に比べ「女性」の割合が高くなっている。

(%)

	(調査数 n)	男性	女性	その他	無回答
父母	32	46.9	50.0	-	3.1
祖父母	22	54.5	45.5	-	-
兄弟・姉妹	39	25.6	69.2	-	5.1
その他	6	50.0	50.0	-	-

②世話を必要としている家族×世話を一緒にする人(複数回答)

世話を必要としている家族が祖父母の場合、「母親」の割合が、兄弟・姉妹の場合、「自分のみ」の割合が他に比べ高くなっている。

(%)

	(調査数 n)	母親	父親	祖母	祖父	兄弟・姉妹	親戚の人	自分のみ	福祉サービスを利用	その他	無回答
父母	32	46.9	18.8	21.9	12.5	21.9	12.5	9.4	9.4	-	18.8
祖父母	22	86.4	40.9	22.7	13.6	27.3	4.5	4.5	4.5	-	4.5
兄弟・姉妹	39	79.5	59.0	25.6	12.8	38.5	2.6	12.8	-	-	7.7
その他	6	33.3	-	16.7	-	33.3	-	-	-	16.7	33.3

③世話を必要としている家族×世話を始めた年齢

世話を必要としている家族が兄弟・姉妹の場合、他に比べ、「小学生(低学年)」、「小学生(高学年)」の割合が高くなっている。

(%)

	(調査数 n)	就学前	(小学生 低学年)	(小学生 高学年)	中学生以降	無回答
父母	32	12.5	6.3	9.4	43.8	28.1
祖父母	22	9.1	4.5	9.1	72.7	4.5
兄弟・姉妹	39	10.3	15.4	10.3	56.4	7.7
その他	6	-	-	16.7	50.0	33.3

④世話を必要としている家族×世話の頻度

世話を必要としている家族が兄弟・姉妹の場合、「ほぼ毎日」の割合が他に比べ高くなっている。

(%)

	(調査数 n)	ほぼ毎日	週に3～5日	週に1～2日	1ヶ月に数日	その他	無回答
父母	32	31.3	18.8	18.8	12.5	-	18.8
祖父母	22	36.4	22.7	13.6	22.7	-	4.5
兄弟・姉妹	39	48.7	23.1	12.8	10.3	-	5.1
その他	6	50.0	-	16.7	-	-	33.3

⑤世話を必要としている家族×世話に費やす時間

世話を必要としている家族が兄弟・姉妹の場合、「3～6時間」の割合が他に比べ高くなっている。

(%)

	(調査数 n)	1時間程度	2時間程度	3～6時間	7時間以上	無回答
父母	32	46.9	12.5	18.8	3.1	18.8
祖父母	22	59.1	13.6	13.6	4.5	9.1
兄弟・姉妹	39	46.2	15.4	23.1	2.6	12.8
その他	6	50.0	-	16.7	-	33.3

⑥世話を必要としている家族×世話をすることを感じているきつさ（複数回答）

世話を必要としている家族が兄弟・姉妹の場合、何らかのきつさを感じている割合が、他に比べ高くなっている。

(%)

	(調査数 n)	身体的にきつい	精神的にきつい	時間的余裕がない	て特になきつさは感じ	無回答
父母	32	6.3	9.4	12.5	62.5	12.5
祖父母	22	4.5	4.5	9.1	77.3	4.5
兄弟・姉妹	39	7.7	17.9	23.1	59.0	7.7
その他	6	-	-	-	66.7	33.3

⑦世話を必要としている家族×世話に関する相談の経験

世話を必要としている家族が父母の場合、世話について相談したことが「ある」と回答した割合が高くなっている。

(%)

	(調査数 n)	ある	ない	答えたくない
父母	32	31.3	59.4	9.4
祖父母	22	27.3	72.7	-
兄弟・姉妹	39	17.9	74.4	7.7
その他	6	16.7	83.3	-

⑧世話を必要としている家族×世話について相談したことがない理由（複数回答）

世話について相談したことがない理由について、世話を必要としている家族が父母の場合、「家族以外の人に相談するような悩みではない」の割合が、他に比べ高くなっている。

(%)

	(調査数 n)	誰かには相談するほどの悩みではない	家族以外の人に相談するようない	誰に相談するのがよいかわからない	相談できる人が身近にいない	家族のこのため話しにくい	家族のことを知られたくない	家族に対して偏見を持たれたくない	相談しても状況が変わるとは思わない	その他	無回答
父母	19	47.4	26.3	-	-	-	-	5.3	5.3	5.3	15.8
祖父母	16	81.3	6.3	-	-	-	-	6.3	6.3	-	6.3
兄弟・姉妹	29	65.5	3.4	3.4	-	-	-	6.9	10.3	17.2	13.8
その他	5	60.0	-	-	-	-	-	20.0	20.0	-	40.0

(6) 世話をすることに感じているきつさによる世話の状況の違い

①世話をしていることに感じているきつさ×世話対象の状況（複数回答）

※母数が少ないため、コメントしない

[父母]

(%)

	調査数 (n)	高齢 (65歳以上)	要介護	認知症	身体障がい	知的障がい	精神疾患 (疑い含む)	依存症 (疑い含む)	精神疾患・ 依存症以外 の病気	その他	無回答
身体的にきつい	2	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0
精神的にきつい	3	33.3	66.7	-	33.3	-	33.3	-	-	-	33.3
時間的余裕がない	4	-	25.0	25.0	-	-	-	-	-	25.0	-
特にきつさは感じていない	20	20.0	15.0	5.0	25.0	5.0	5.0	-	10.0	10.0	10.0

[祖父母]

(%)

	調査数 (n)	高齢 (65歳以上)	要介護	認知症	身体障がい	知的障がい	精神疾患 (疑い含む)	依存症 (疑い含む)	精神疾患・ 依存症以外 の病気	その他	無回答
身体的にきつい	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
精神的にきつい	1	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
時間的余裕がない	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
特にきつさは感じていない	17	82.4	23.5	29.4	29.4	5.9	-	5.9	-	5.9	-

[兄弟・姉妹]

(%)

	調査数 (n)	幼い	認知症	身体障がい	知的障がい	精神疾患 (疑い含む)	依存症 (疑い含む)	精神疾患・ 依存症以外 の病気	その他	無回答
身体的にきつい	3	66.7	33.3	-	-	-	-	-	-	-
精神的にきつい	7	57.1	14.3	-	14.3	-	-	-	14.3	-
時間的余裕がない	9	77.8	-	-	11.1	-	-	-	-	11.1
特にきつさは感じていない	23	60.9	-	4.3	26.1	-	-	-	4.3	4.3

②世話をしていることに感じているきつさ×世話の内容（複数回答）

※母数が少ないため、コメントしない

[父母]

(%)

	調査数 (n)	家事	身体的な介護	外出の付き添い	通院の付き添い	感情面のサポート	見守り	通訳	金銭管理	薬の管理	その他	無回答
身体的にきつい	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
精神的にきつい	3	33.3	-	33.3	-	33.3	66.7	-	-	-	-	-
時間的余裕がない	4	75.0	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-
特にきつさは感じていない	20	55.0	5.0	30.0	-	15.0	20.0	-	5.0	-	-	10.0

[祖父母]

(%)

	調査数 (n)	家事	身体的な介護	外出の付き添い	通院の付き添い	感情面のサポート	見守り	通訳	金銭管理	薬の管理	その他	無回答
身体的にきつい	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
精神的にきつい	1	100.0	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
時間的余裕がない	2	50.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-
特にきつさは感じていない	17	52.9	11.8	17.6	11.8	17.6	52.9	-	-	11.8	5.9	-

[兄弟・姉妹]

(%)

	調査数 (n)	家事	兄弟・姉妹の世話や 保育所等への送迎など	身体的な介護	外出の付き添い	通院の付き添い	感情面のサポート	見守り	通訳	金銭管理	薬の管理	その他	無回答
身体的にきつい	3	66.7	66.7	33.3	-	-	-	66.7	-	-	-	-	-
精神的にきつい	7	28.6	71.4	14.3	14.3	-	14.3	71.4	-	-	-	-	-
時間的余裕がない	9	55.6	55.6	22.2	11.1	-	11.1	44.4	-	-	-	-	-
特にきつさは感じていない	23	30.4	30.4	17.4	26.1	4.3	21.7	60.9	-	-	4.3	-	4.3

③世話を感じていることに感じているきつさ×世話による制約（複数回答）

※母数が少ないため、コメントしない。

(%)

	調査数 (n)	学校に行きたくてもいけない	どうしても学校を遅刻・早退してしまう	宿題をする時間や勉強する時間が取れない	睡眠が十分に取れない	友人と遊ぶことができない	部活や習い事ができない、辞めざるを得なかった	進路の変更を考えざるを得ない、進路を変更した	自分の時間が取れない	特になし	その他	無回答
身体的にきつい	5	40.0	40.0	20.0	60.0	40.0	-	20.0	40.0	-	-	-
精神的にきつい	11	9.1	18.2	18.2	45.5	27.3	-	18.2	18.2	27.3	9.1	-
時間的余裕がない	14	-	21.4	35.7	50.0	21.4	7.1	7.1	57.1	21.4	-	-
特にきつさは感じていない	62	-	-	8.1	3.2	1.6	3.2	4.8	6.5	77.4	3.2	3.2

④世話を感じていることに感じているきつさ×世話に関する相談経験の有無

※母数が少ないため、コメントしない。

(%)

	調査数 (n)	ある	ない	答えたくない
身体的にきつい	5	20.0	40.0	40.0
精神的にきつい	11	45.5	36.4	18.2
時間的余裕がない	14	28.6	71.4	-
特にきつさは感じていない	62	14.5	80.6	4.8

⑤世話を感じていることに感じているきつさ×世話について相談をしたことがない理由（複数回答）

※母数が少ないため、コメントしない。

(%)

	調査数 (n)	誰かに相談するほどの 悩みではない	家族以外の人に相談する ような悩みではない	家族以外の人がよいか わからない	誰に相談するのがよいか わからない	相談できる人が身近に いない	家族のこのため話し にくい	家族のことを知られたく ない	家族に対して偏見を持た れたくない	相談しても状況が変わる とは思わない	その他	無回答
身体的にきつい	2	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	50.0
精神的にきつい	4	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-	25.0	-	25.0
時間的余裕がない	10	30.0	30.0	10.0	-	-	-	-	-	20.0	-	20.0
特にきつさは感じていない	50	74.0	4.0	2.0	2.0	-	-	6.0	10.0	8.0	2.0	10.0

⑥世話を感じていることに感じているきつさ×世話の悩みを聞いてくれる人の有無

※母数が少ないため、コメントしない。

(%)

	調査数 (n)	いる	いない	無回答
身体的にきつい	2	50.0	-	50.0
精神的にきつい	4	75.0	-	25.0
時間的余裕がない	10	80.0	-	20.0
特にきつさは感じていない	50	72.0	20.0	8.0

(7) ヤングケアラーの自己認識による生活状況、世話の状況の違い

① ヤングケアラーの自己認識×健康状態

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」と回答した場合、「あてはまらない」と回答した場合に比べ、健康状態について大きな差は見られない。

(%)

		(調査数 n)	よい・まあよい	ふつう	あまりない・よくない	無回答
ヤングケアラーかどうか	あてはまる	45	71.1	22.2	6.7	-
	あてはまらない	2765	76.8	17.4	4.4	1.4
	わからない	285	63.5	23.9	10.2	2.5

② ヤングケアラーの自己認識×出席状況

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」と回答した場合、「あてはまらない」と回答した場合に比べ、「たまに欠席する」割合が高くなっている。

(%)

		(調査数 n)	欠席としない	たまに欠席する	よく欠席する	無回答
ヤングケアラーかどうか	あてはまる	45	66.7	24.4	8.9	-
	あてはまらない	2765	76.4	10.1	12.1	1.3
	わからない	285	64.6	17.5	15.4	2.5

③ ヤングケアラーの自己認識×遅刻や早退の状況

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」と回答した場合、「あてはまらない」と回答した場合に比べ、遅刻や早退を「よくする」割合が高くなっている。

(%)

		(調査数 n)	ほとんどない	たまにする	よくする	無回答
ヤングケアラーかどうか	あてはまる	45	84.4	6.7	6.7	2.2
	あてはまらない	2765	89.8	8.1	0.7	1.4
	わからない	285	81.8	13.7	1.8	2.8

④ヤングケアラーの自己認識×学校生活等であてはまること（複数回答）

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」と回答した場合、「あてはまらない」と回答した場合に比べ、全体的に回答割合が高くなっているが、特に「授業中に居眠りすることが多い」、「宿題や課題ができていないことが多い」の割合が高くなっている。

(%)

		(調査数 nII)	授業中に居眠りすることが多い	宿題や課題ができていないことが多い	持ち物の忘れ物が多い	部活動や習い事を休むことが多い	提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い	提出しなればいけない書類など	修学旅行などの宿泊行事を欠席する	保健室で過ごすことが多い	学校では一人で過ごすことが多い	友人と遊んだりおしゃべりする時間が少ない	特にない	無回答
ヤングケアラーかどうか	あてはまる	45	46.7	28.9	22.2	11.1	24.4	-	-	8.9	6.7	37.8	2.2	
	あてはまらない	2765	33.6	17.4	12.4	4.0	12.7	0.4	0.8	6.4	5.0	47.5	3.2	
	わからない	285	43.5	24.2	15.1	6.7	21.1	1.1	1.4	7.7	6.3	40.4	3.5	

⑤ヤングケアラーの自己認識×現在の悩みや困りごと（複数回答）

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」と回答した場合、「あてはまらない」と回答した場合に比べ、全体的に回答割合が高くなっているが、特に「家庭の経済状況のこと」、「家族内の人間関係のこと」、「病気や障がいのある家族のこと」の割合が高くなっている。

(%)

		(調査数 nII)	友人との関係のこと	学業成績のこと	進路のこと	部活動のこと	学費など学校生活に必要なお金のこと	塾（通信含む）や習い事ができない	と家庭の経済的状況のこと
ヤングケアラーかどうか	あてはまる	45	17.8	37.8	40.0	15.6	6.7	-	13.3
	あてはまらない	2765	11.1	37.5	44.6	14.0	3.9	0.8	3.5
	わからない	285	11.9	38.6	42.8	16.1	9.5	2.8	14.0

		(調査数 nII)	自分と家族との関係のこと	と家族内の人間関係のこと	病気や障がいのある家族のこと	間が少ないために使える時間	特にない	その他	無回答
ヤングケアラーかどうか	あてはまる	45	8.9	13.3	15.6	15.6	31.1	2.2	-
	あてはまらない	2765	3.6	2.6	0.8	6.3	34.6	2.0	3.7
	わからない	285	9.1	8.4	5.3	10.2	34.4	2.8	4.2

⑥ヤングケアラーの自己認識×世話を一緒にする人（複数回答）

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」と回答した場合、「あてはまらない」と回答した場合に比べ、「母親」と「祖母」の割合が高くなっている。

(%)

		(調査数 n)	母親	父親	祖母	祖父	兄弟・姉妹	親戚の人	自分のみ	福祉サービスを利用	その他	無回答
ヤングケアラーかどうか	あてはまる	15	86.7	46.7	46.7	13.3	20.0	-	6.7	-	-	-
	あてはまらない	39	61.5	38.5	20.5	15.4	33.3	2.6	7.7	2.6	-	20.5
	わからない	41	48.8	31.7	14.6	4.9	26.8	12.2	14.6	4.9	2.4	19.5

⑦ヤングケアラーの自己認識×世話の頻度

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」と回答した場合、「あてはまらない」と回答した場合に比べ、世話の頻度について「ほぼ毎日」の割合が高くなっている。

(%)

		(調査数 n)	ほぼ毎日	週に3〜5日	週に1〜2日	1ヶ月に数日	その他	無回答
ヤングケアラーかどうか	あてはまる	15	40.0	33.3	6.7	20.0	-	-
	あてはまらない	39	30.8	20.5	17.9	12.8	-	17.9
	わからない	41	41.5	17.1	14.6	9.8	-	17.1

⑧ヤングケアラーの自己認識×世話に費やす時間

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」と回答した場合、「あてはまらない」と回答した場合に比べ、世話の頻度について「2時間」以上の割合が高くなっている。

(%)

		(調査数 n)	1時間程度	2時間程度	3〜6時間	7時間以上	無回答
ヤングケアラーかどうか	あてはまる	15	60.0	20.0	20.0	-	-
	あてはまらない	39	46.2	10.3	10.3	5.1	28.2
	わからない	41	39.0	17.1	22.0	2.4	19.5

⑨ヤングケアラーの自己認識×世話による制約（複数回答）

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」と回答した場合、「あてはまらない」と回答した場合に比べ、全体的に回答割合が高くなっているが、特に「自分の時間が取れない」、「宿題をする時間や勉強する時間が取れない」の割合が高くなっている。

(%)

		(調査数 n II)	学校に行きたくてもいけない	どうしても学校を遅刻・早退してしまう	宿題をする時間や勉強する時間が取れない	睡眠が十分に取れない	友人と遊ぶことができない	部活や習い事ができない、辞めざるを得なかった	進路の変更を考えた	進路の変更を考えざるを得ない	自分の時間が取れない	特にな	その他	無回答
ヤングケアラーかどうか	あてはまる	15	6.7	6.7	20.0	13.3	13.3	-	-	20.0	53.3	13.3	-	
	あてはまらない	39	2.6	2.6	5.1	5.1	-	5.1	-	7.7	66.7	-	15.4	
	わからない	41	2.4	4.9	14.6	17.1	7.3	2.4	12.2	14.6	48.8	2.4	9.8	

⑩ヤングケアラーの自己認識×世話をすることに感じているきつさ（複数回答）

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」と回答した場合、「あてはまらない」と回答した場合に比べ、特に「身体的にきつい」、「精神的にきつい」の割合が高くなっている。

(%)

		(調査数 n II)	身体的にきつい	精神的にきつい	時間的余裕がない	特にきつさは感じない	無回答
ヤングケアラーかどうか	あてはまる	15	13.3	13.3	20.0	66.7	-
	あてはまらない	39	-	7.7	10.3	69.2	15.4
	わからない	41	7.3	14.6	17.1	61.0	9.8

⑪ヤングケアラーの自己認識×世話に関しての相談の有無

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」と回答した場合、「あてはまらない」と回答した場合に比べ、世話について相談したことが「ある」と回答した割合が高くなっている。

(%)

		(調査数 n II)	ある	ない	答えたくない
ヤングケアラーかどうか	あてはまる	15	20.0	73.3	6.7
	あてはまらない	39	15.4	76.9	7.7
	わからない	41	24.4	65.9	9.8

⑫ヤングケアラーの自己認識×世話についての相談相手（複数回答）

※母数が少ないため、コメントしない。

(%)

		調査数 (n)	家族	親戚	友人	学校の先生	保健室の先生	スクールソーシャルワーカー・ カウンセラー	医師や看護師、その他病院の人	福祉サービスの人	ヘルパー、ケアマネージャー、 役所や保健センターの人	近所の人	SNS上での知り合い	その他
ヤングケアラー かどうか	あてはまる	3	66.7	-	-	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	-
	あてはまらない	6	83.3	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	16.7	-
	わからない	10	30.0	10.0	80.0	20.0	10.0	10.0	-	-	-	-	-	10.0

⑬ヤングケアラーの自己認識×相談相手がいない理由（複数回答）

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」と回答した場合、「あてはまらない」と回答した場合に比べ、「相談しても状況が変わるとは思わない」の割合が高くなっている。

(%)

		調査数 (n)	誰かには相談するほどの 悩みではない	家族以外の人に相談する ような悩みではない	家族以外の人がよいか わからない	誰に相談するのがよいか わからない	相談できる人が身近に いない	家族のこのため話し にくい	家族のことを知られたく ない	家族に対して偏見を持た れたくない	相談しても状況が変わ るとは思わない	その他	無回答
ヤングケアラー かどうか	あてはまる	11	63.6	9.1	-	-	-	-	-	-	18.2	-	9.1
	あてはまらない	30	60.0	-	3.3	3.3	-	6.7	3.3	6.7	3.3	23.3	-
	わからない	27	66.7	14.8	3.7	-	-	3.7	14.8	11.1	-	-	11.1

⑭ ヤングケアラーの自己認識×世話について悩みを聞いてくれる人の有無

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」と回答した場合、「あてはまらない」と回答した場合に比べ、世話について悩みを聞いてくれる人が「いる」と回答した割合が高くなっている。

(%)

		(調査数 n)	いる	いない	無回答
ヤングケアラー かどうか	あてはまる	11	81.8	18.2	-
	あてはまらない	30	63.3	23.3	13.3
	わからない	27	70.4	14.8	14.8

⑮ ヤングケアラーの自己認識×学校や大人に助けてほしいこと（複数回答）

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」と回答した場合、「あてはまらない」と回答した場合に比べ、全体的に回答割合が高くなっているが、特に「家族の世話について相談にのってほしい」、「自由に使える時間がほしい」、「家庭への経済的な支援」の割合が高くなっている。

(%)

		(調査数 n)	自分 の 話 を い ま い て ほ し い	家 族 の 世 話 に つ い て 相 談 に の つ て ほ し い	家 族 の 病 気 や 障 が い 、 説 明 し て ほ し い	サ ー ビ ス が ほ し い	行 っ て い る 世 話 を す べ く	サ ー ビ ス が ほ し い	行 っ て い る 世 話 の 一 部	自 由 に 使 え る 時 間 が ほ し い	相 談 に の つ て ほ し い
ヤングケアラー かどうか	あてはまる	15	6.7	20.0	-	-	6.7	13.3	-		
	あてはまらない	39	2.6	5.1	5.1	-	-	2.6	2.6		
	わからない	41	17.1	7.3	4.9	-	2.4	2.4	7.3		

		(調査数 n)	学 校 の 勉 強 や サ ー ポ ー ト	家 庭 へ の 経 済 的 な 支 援	わ か ら な い	特 に な い	そ の 他	無 回 答
ヤングケアラー かどうか	あてはまる	15	-	13.3	20.0	53.3	-	-
	あてはまらない	39	7.7	5.1	7.7	61.5	-	10.3
	わからない	41	9.8	7.3	24.4	46.3	-	2.4

(8) 世話に関する相談の状況

① 世話に関する相談の経験×世話の頻度

世話に関する相談をしたことが「ある」と回答した場合、「ない」と回答した場合に比べ、世話の頻度について「ほぼ毎日」の割合が高くなっている。

(%)

		(調査数 n)	ほぼ毎日	週に3〜5日	週に1〜2日	1ヶ月に数日	その他	無回答
世話に関する相談	ある	19	42.1	26.3	5.3	26.3	-	-
	ない	71	36.6	18.3	15.5	9.9	-	19.7
	答えたくない	9	11.1	22.2	22.2	-	-	44.4

② 世話に関する相談の経験×世話による制約（複数回答）

世話に関する相談をしたことが「ある」と回答した場合、「ない」と回答した場合に比べ、「宿題をする時間や勉強する時間が取れない」、「進路の変更を考えざるを得ない、進路を変更した」の割合が高くなっている。

(%)

		(調査数 n)	学校に行きたくてもいけない	どうしても学校を遅刻・早退してしまう	宿題をする時間や勉強する時間が取れない	睡眠が十分に取れない	友人と遊ぶことができない	部活や習い事ができない、辞めざるを得なかった	進路の変更を考えざるを得ない、進路を変更した	自分の時間が取れない	特にない	その他	無回答
世話に関する相談	ある	19	10.5	-	26.3	10.5	10.5	10.5	15.8	15.8	36.8	5.3	-
	ない	71	-	5.6	7.0	11.3	4.2	1.4	2.8	12.7	60.6	2.8	16.9
	答えたくない	9	11.1	-	11.1	11.1	-	-	-	-	44.4	-	22.2

III - 3. 自由意見

本調査において、さまざまな自由意見が寄せられた。項目別に意見をまとめ掲載する。
※原文掲載を基本とし、一部編集・抜粋の上掲載。

(1) 子どもの声

意見
ヤングケアラーとは何なのか、多数の人々が深く知る必要がある（複数意見）
国とか政府が支援してあげたらいいと思う（複数意見）
ヤングケアラーをなくすためには、行政が動くべきだと思う
現状を知り、その人たちに何が必要なのかを考え、実行すること
地域とか友達とかみんなを巻き込んで手伝う
日本は女性の貧困問題も深刻だから同時に経済的な支援など行えると良いと思う
周りの人に話しにくいことだと思うから、周りの人が気づいてあげないといけないと思いました
自分がヤングケアラーだと自覚していない人がいると思うので、まずはそこから改善・支援したほうがいいと思う
子供の意思を無視しないことが必要だと思います
まず現在の実態を知ること、そしてその人を一人で頑張らせずに周りに助けてもらうことが必要
ヤングケアラーの発信をして、色んな人に知ってもらい、支援を広げる
家庭内の状況を他の人に相談すること
ヤングケアラーという問題の事実を知り、その現状を社会全体で大きな問題として考えていくこと
ヤングケアラーについてもっと知りたい
障害や病気のある家族を保護できる施設が必要だと思います
特にないけど、それを助ける人が増えていけばいいと思います
個人個人の負担を減らすこと
自分が「ヤングケアラー」という言葉を初めて聞いたように知らない人が多いと思うので、広く周知させることが必要だと思う。
そういう言葉を知ること
困っていることがあったら話を聞いたり自分に出来ることがあれば手伝う。
ヤングケアラーということにマイナスのイメージを持たせない。そしてすぐ相談出来る場所を作ることが大切だと思う。
ヤングケアラーへの理解を深めることが必要だと思います。
自分が「ヤングケアラー」という言葉を知らなかったのですがまた、もっと知らせていけばいいと思いました
難しい
一人一人に目を向けて、その人自身と向き合って話をし、その人には何が必要かを判断して支援していく
ヤングケアラーに自覚を持ってもらう
助けてくれるサービスがあるのにそれを知らない人が多かったり、わかっているけどサービスを活用しない人がいるのでそのサービスを広める
若くても就職できる会社を増やす
アンケートで何が変わるのですか。どれだけアンケートを集めても生活は何ひとつ変わらないです。
ヤングケアラーの基準をはっきりさせる(家事の手伝いや兄弟のお世話のところ)、ヤングケアラー以外(子育てなど)の支援もする、他のケアラーの認知度も上げる
色々な先生(大人)と関わればヤングケアラーの問題も解決しやすくなると思う。担任からのコミュニケーションも大切ではあるが、顧問が幽霊部員に対しても積極的に話しかけていって悩みを話せる大人が子供にとって増える学校が増えると良いと考える

意見
もっと子供に寄り添ってくれるところがほしい
困っている人を見かけたら助ける
1人だけでなく、みんなで協力する。
ヤングケアラーは知られていないことが多いと聞いたことがあるのでその人のことを理解することが大事だと思います。
介護士の給料を上げて人員を増やすべき
ヤングケアラーが減ることを願う
みんながヤングケアラーを取り組めば良いと思う
ヤングケアラーが必要な人がいたら、すぐさま助けてあげる
ヤングケアラーの当事者の人はその環境が当たり前だと思っている可能性もあるので、その状態が普通ではない事をこのようなアンケート調査を通じて本人たちに気付かせることは大切なことだと思った。しかし、自分が当事者であると気付いたとしても本人だけで解決することは難しいと思うので、周りの人が異変に気付いて相談に乗ったり、国や県で支援できる体制を整えていくことが必要であると思う。
友達に家庭環境の都合上今バイトをしている人がいるけどバイトの時間があるせいでか成績が下がったと言っていたのでそういうご家庭に寄付金など渡して子供の負担を減らせるようにしたらいいと思う
少子化対策をする
これから高齢化社会になっていくので今から家事をこなしていきたいです。
色んな人が自分だけではなく身近な人などへの気配りをし常に周りを見ることが大切だと思いそれを行動にできる気持ちが大事だと思います。
家庭問題で親が働かなくてヤングケアラーになっている場合の対処を考えた方がいい
障害者のために若い人がお世話してるのは、いいことだけど、自分のことに集中出来ないのも、ちょっと可哀想だと思う
活動を続ける
ヤングケアラーをいち早く発見する

(2) 話を聞いてほしい、理解してほしいこと

意見
学校側もそれぞれの家庭の事情を知ろうとする努力をするべきである。例えば、離婚はできていないが実質離婚しているような状態で母子家庭の家であるにも関わらず、離婚していないのであれば学費の配慮はできないとひどい対応をされるのはおかしい
気軽に相談できる窓口を増やして欲しい
当たり前のようにしているので、親戚ら近隣の方とかからのお手伝いや助言等が必要だと思う
父や祖父母が頑張っているのに自分の事しか考えていない。お母さんと自分で頑張っている。周りも父や祖父母に何も言わないので変わらない。父は家や金を持って行って再婚までしてる。母子家庭だと差別される。うちは何も悪いことはしていない。奨学金も落ちたし変な勘違いされてお母さんが母子会の偉い人に変な疑いかけられた。小学校中学校といじめられたので高校は離れたとこに入学した。高校は冷たい。お母さんは治療費が沢山かかるのに治療出来ない。誰も助けてくれない
家事や弟の世話をやらないとスマホ没収とかされると悩んでいる友達があります。そんな子たちがもう少し自分の時間をとれるようになればいいと思います
家庭内において、何かをするのが当たり前。これをしなかったら言葉でけなされる。子供は、我慢して生活している。そんな環境を少しでもなくして欲しい。助けを求めることを我慢するにつれて、身体は限界を超え腹痛や頭痛を引き起こし、吐き気や手の震え、痺れなど。疲れがなかなか取れない身体になる。このような生徒への対応をもっと検討していただきたい。親に指図され生きている生徒を助けて欲しい

(3) 要望、求める支援（世話をしている家族がいると回答した生徒の意見）

意見
わたしは、障がいを持った兄弟がいることを、可哀想と思われるのが嫌です。悪いこと、ダメなことと思わせない広げ方をして欲しいです
自分が「ヤングケアラー」なのか「面倒見の良い子」なのかの境界線が分からず、良い子であろうと子供が無理をしてしまうことがあると思うので、ヤングケアラーの存在を小さな子供から大人まで様々な年代の人に知ってもらうことが必要だと思う
家の環境が特殊で、誰にも気づいて貰えないどころか、いじめの対象になった事もあった。担任もコミュカのない自分の事を何度か見せしめにした。中学で両親の精神病のケアをしながらコミュカを必死につけた。コミュカを付けられない環境の子供への学校側の配慮がほしい。親に声をあげられないよう教育されている自分達の事を誰か気づいて欲しい。教師への教育が必要だと思う
このようなアンケートなどをやっていくと悩みを隠さずに言えるので支援を広げることができるので、これから続けて欲しいと思いました
子供に精神的な苦痛を与えない
大変さを知る
みんなが平等な生活をする
相談する保健所
経済的支援

(4) ヤングケアラーに必要なと思う支援

ア) 相談体制の充実、相談しやすい・話しやすい環境づくり

意見
相談しやすいような場所を作る（複数意見）
常にコミュニケーション
大人に相談しやすい環境を学校でも社会全体でも作る
本人が相談しやすい環境整備
なんでもいえるともだち
気軽に相談できるサイトなどを作る
呼びかけ
たくさんお話する！
相談できる人、援助できる人を増やし、負担軽減できる仕組みづくり
ヤングケアラーの相談所みたいところを立ち上げるなどすると思います
子供は自分がヤングケアラーだと気づかないと思う。学校もしくは行政が把握できるシステムを作った方がいい。
悩んでいることがある人を対象に相談する会などを設ける
学校の先生とかじゃなくてちゃんと頼れる人を見つける
知人より赤の他人のほうが頼りやすいと思う

(4) ヤングケアラーに必要なと思う支援

イ) 子どもたちの意見を伝えられる環境づくり、意思の尊重

意見
定期的にアンケートを取る（複数意見）
ヤングケアラーへの偏見をなくすことが必要だと思う
もっと色々な世代にアンケートを実施する
周りに友達関係で困っていたりしている人に声をかけて相談に乗ることで少しでも安心出来る居場所を作ること
ヤングケアラーをはじめとした、人に言いにくいことってたくさんあると思います。もっと、悩みを、後ろめたさがなく、安心して言える環境をつくってほしいです。当事者でないと分からないことも、共有するべきだと思います。学校や街の相談所が、もっと利用しやすい雰囲気になるといいと思います。
言いやすい環境と言ったら必ず助けてもらえる環境が必要だと思う 言っても助けてもらえなかったら意味がない
このようなアンケート調査を、学年で限定するのではなく、すべての学年に対象を広げるべきだと思います
困っていると回答した人への迅速な対応をして信頼を得るべき
ヤングケアラーの方々が、助けを求められるような窓口などを充実させればいいと思う

(4) ヤングケアラーに必要なだと思う支援
ウ) 学校におけるサポートや配慮

意見
家庭訪問をする（複数意見）
宿題などできる範囲でいようにする
ヤングケアラーの子どもたちが他の人と同じように学校にしっかり通えるような学校側の支援などが充実するとい いと思います。
学校に相談できるカウンセラーの人をつけること。
個別授業を行ってあげる！
学生たちに適切な環境を与えること。
ヤングケアラーへのカウンセリング
学校側が、家庭環境をしっかり把握していることや、近所付き合いも大切だと思います。
学校では、相談室など気軽に相談できる場所や、スクールカウンセラーの存在があるが、そこへ向かうハードルを 下げるための雰囲気も必要だと思います。家族の事なので、余り周りには知られたくないと思うので秘密はしっかり 守られる事もアピールして行って欲しい。
教員と町と連絡を取るなどして家庭の状況をわかるようにして町で何かしらのお手伝いが出来るようにする
学校などでの生徒と教師の面談を増やす
学校側がそういったことを担っている生徒がいることを把握してサポートしていく必要があると思う。でも、過度 に他者と差をつけて接したり、不用意に周りに広めては行けないと思う
学校や周りが悩みを聞いてあげること
通学時間など減らしてあげるためにリモート授業を増やす
もっと学校でヤングケアラーについて教えてあげれば良かった。
学校側がヤングケアラーである人を把握して配慮をする
いじめアンケートみたいに匿名で〇〇さんたぶんヤングケアラーです、とかアンケートして、クラスメイトが分か ることもあると思う。

(4) ヤングケアラーに必要なだと思う支援
エ) 周囲の大人の理解や寄り添い

意見
周りの人が支え合うこと（複数意見）
近所などの地域での協力
近所の人やヤングケアラーに気付くよう日頃から近所付き合いを大切に
地域ぐるみなどでコミュニケーションを定期的にとれ、お互いの状況を確認しあえるようなコミュニティの場を設 ける
ヤングケアラーの方は自分がヤングケアラーであるということを自分から言いつらい間思うので周りの環境がヤン グケアラーの人も過ごしやすいようにしてほしいです
大人の手助け、支援が必要だと思う。
たくさんのひとに理解してもらおう
家族単位でなく地域社会で助け合うこと
周りの大人に頼りやすい環境づくり
教室とかを開いて色々な人を実感してもらおう
ヤングケアラーに一人で不安を抱えさせないよう、周りの人々が気づいてあげること。
人々にこの問題について理解してもらおう。

**(4) ヤングケアラーに必要なと思う支援
オ) その他の支援の充実等**

意見
支援金を支給する（複数意見）
無料で利用できるケアサービスの拡大（複数意見）
支援制度の整備
ヤングケアラーが身近に困っていることのサポートをする
介護施設を増やす
税金の徴収
募金活動をする
余裕を持たせるための支援金や教材費用の免除を学びたくても学べない方や兄弟、家族に障害がある方に提供したいと思う。県として。
ヤングケアラーが通うような施設の設置をしてはどうですか？
ヤングケアラー基金

(5) ヤングケアラーの普及啓発に向けて必要なこと

意見
講演する
学校でヤングケアラーについての教育の場をつくること（〇〇教室みたいな）。ヤングケアラーについて詳しい人の講演会を行う（学校で）
まだあまりヤングケアラーという言葉自体が浸透していない部分もあると思うので、学校などでヤングケアラーについて学べるような機会を積極的に設けていくことが必要だと思います。
授業とかで習ったらみんな知れると思います
SNSなどで情報をもっと発信する ヤングケアラーの特集などをTVで流す
SNSでヤングケアラーについて拡散する
教科書、パンフレットに載せる
CMなどを用いてTV、スマホを使う人に目を留めてもらえるようにする。
You TubeやテレビのCMで広める
YouTubeの有効活用
全国テレビでヤングケアラーについて特番などをする
広告
チラシを配る
ヤングケアラーを知る人が増えることで支援の広がりにも繋がると思うからドラマとかでヤングケアラーを取り上げる。私はドラマでヤングケアラーのことを知りました
漫画を作って理解を広める
皆が見る掲示板のような場所にヤングケアラーのポスターを張りヤングケアラーについて知るきっかけにする。今回のようなアンケートを続けることが必要だと思う。

IV. 調査結果とりまとめ、考察

(1) 調査結果とりまとめ

① 家族の世話をしているのは、小学6年生 8.0%、中学2年生 5.7%、高校2年生 4.1%

世話をしている家族がいると回答した小学6年生は8.0%、中学2年生は5.7%、高校2年生は4.1%であった。年齢が上がるほど家族の世話をしていると回答した割合が下がる傾向が見られる。

② 家族の世話をしていることで学校生活等に影響がみられる

家族の世話をしている場合、健康状態が「よくない・あまりよくない」と回答した者の割合が高校2年生で高く、欠席、遅刻や早退が「ある・たまにある」と回答した者の割合は小中高いずれでも高くなっており、家族の世話をしていない場合に比べ、健康状態や学校生活にも支障が生じていると思われる。

また、家族の世話をしている場合、欠席、遅刻や早退が多いことに加え、学校生活において「提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い」、「授業中に居眠りすることが多い」などの割合も高くなっており、こうした学校生活等での状況はヤングケアラーである可能性を示す兆候になりうると考えられる。

③ 長時間の世話が学校生活等に影響を及ぼす

平日1日あたりに世화에費やす時間については、小学6年生は平均2.7時間、中学2年生は平均2.2時間、高校2年生は平均2.2時間で、小中高とも「1時間程度」が最も多く、それぞれ40%強を占めている

平日1日あたりに世화에費やす時間と健康状態、欠席状況、遅刻や早退の状況については母数が少ないこともあり、明確な差異や傾向を見出すことができなかった。

しかし、学校生活で「宿題や課題ができていないことが多い」、「持ち物の忘れ物が多い」、「提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い」など、世화에費やす時間が「3時間以上」で、「2時間程度まで」よりも割合が高くなる傾向が見られ、ケアの長時間化による学校生活への影響が見られる。

④ 世話を必要としている家族により世話の状況や負担は異なる

世話をしている家族は、小中校とも「兄弟・姉妹」が最も高く「父母」が続く。

兄弟・姉妹の世話をしている場合には、父母や祖父母の場合に比べて、世話を始めた時期として「就学前」と「小学生」の割合が高くなっている。また、兄弟・姉妹の世話をしている場合には、世話の頻度が高く、世話をしていることに対する負担で「時間的余裕がない」の割合が高い傾向にあることから、世話対象が兄弟・姉妹の場合には、早期から世話を担っており、かつ、時間的な負担が大きい状況がうかがえる。

一方、父母の世話をしている場合には、世話について相談したことが「ある」と回答した割合が、中高生で他の世話対象と比べ高くなっている。

⑤ 家族構成による世話状況や負担感の違い

世話の頻度は、小中高とも「ほぼ毎日」、「週に3～5日」で5割前後を占め、世話に費やす時間は「1時間程度」が5割前後を占めている。ひとり親・二世帯世帯・三世帯世帯といった家族構成での差は見られない。世話に感じているきつさにおいても家族構成で差が見られず、世話に費やす時間が「1時間程度」の層が多いことが、影響を見えにくくしている可能性があることに考慮する必要があるだろう。

ひとり親家庭では、中学2年生で「宿題をする時間や勉強する時間が取れない」、高校2年生で「進路の変更を考えざるを得ない」を世話による制約としてあげる割合が高くなっている。また、学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援について、全体的に回答割合が他の家族構成に比べ高くなっている。

⑥ 性別による世話状況の違いや、相談に対する姿勢

性別を問わず、世話内容として「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」の割合が高い。兄弟・姉妹に対する世話内容では、「兄弟・姉妹の世話や保育所等への送迎」は女性の割合が高くなっている。

世話の頻度や世話に費やす時間は、男性に比べ女性で長い傾向が見られ、世話をすることに感じているきつさについても、女性は男性より「精神的にきつい」、「時間的余裕がない」の割合が高くなっており、女性で世話の負担が大きいことが推察される。

また、世話に関する相談をしたことがあると回答している割合も、男性より女性の方が高くなっている。相談相手についても、特に中高生で女性は「家族」の割合が男性より低く、「友人」、「スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー」の割合が男性より高くなっており、女性の方が相談をする傾向、かつ、家族外にも相談をする傾向がうかがえる。

⑦ 家族の世話の有無とヤングケアラーであると自己認識の違いの状況 ※中学2年生・高校2年生対象

自身がヤングケアラーに「あてはまる」と回答した場合、「あてはまらない」と回答した場合よりも、学校の欠席、遅刻や早退をする傾向にある。世話をすることにきつさを感じている割合や世話の頻度も高いことから、世話の負担感が非常に大きい状況にあることがうかがえる。

ヤングケアラーに「あてはまる」と回答した場合、世話に関する相談をした経験は「ない」が7割前後を占めるものの、「あてはまらない」と回答した場合よりも、相談した経験がある割合が高く、相談相手としては「家族」が最も高くなっている。

また、ヤングケアラーかどうかに対して「わからない」と回答した場合も、「あてはまらない」と回答した場合よりも、学校の欠席、遅刻や早退をする割合が高い傾向にあり、世話をすることにきつさを感じている割合も高くなっており、世話の負担が大きい傾向がうかがえる。加えて、世話について相談したことが「ある」割合も、ヤングケアラーに「あてはまる」と回答した場合と同程度あがっている。

⑧ 「ヤングケアラー」への理解と子どもに寄り添った支援の充実

アンケート調査の自由意見では、「ヤングケアラーを広く知ってもらうことが必要」といった普及啓発に関する意見が多くあげられた。また、「相談しやすい環境づくり」といった体制面のことや、「給付金」や「募金」など経済的支援、「このようなアンケートを続けていくべき」といった施策の持続性に関する要望もあがっていた。

また、「周囲の大人が気づいてあげる」など大人に対してもヤングケアラーへの理解や協力を求める意見や、「ヤングケアラーについて学校の授業で習う」といった意見が複数あがっていた。

IV. 調査結果とりまとめ、考察

(2) 考察

①父母の世話をしている子どもについて

世話をしている家族が「いる」と回答した割合は、中学2年生と高校2年生では国調査を下回っているが、小学6年生では石川県調査が国を上回っている。(表1)

国調査と比較すると小学6年生で「父母」の割合が高く、中学2年生及び高校2年生でもやや割合が高い傾向が見られる。(表2)

父母を世話をしている子どもに絞って傾向を見てみると、高校2年生では石川県調査と国調査で顕著な差は見られないが、中学2年生では国調査で「身体障害」と「精神疾患・依存症」の割合が、小学6年生では国調査で「日本語が苦手」や「こころの病気」の割合が高く、石川県調査の傾向と異なっている。(表3)

世話の内容について、「家事」、「外出の付き添い」、「見守り」の割合が高いことは石川県・国とも同様だが、石川県調査の小学6年生と中学2年生で「無回答」の割合が、国調査と比べ高いことに留意する必要がある。(表4)

父母の世話をすることの大変さ(きつさ)についても、小学6年生では石川県・国とも上位の項目は変わらないが、石川県調査の方が総じて割合が低く、「無回答」の割合が高い。(表5)

父母と一緒に世話する人については、中学2年生と高校2年生では石川県・国とで傾向は変わらないが、小学6年生では国で「兄弟・姉妹」が高いところだけ傾向が異なっている。ここでも小学6年生と中学2年生で「無回答」の割合が高くなっている。(表6)

また、父母の世話をする頻度は、小中高いずれも石川県調査が国調査を頻度的に下回り(表7)、父母の世話をする時間においても、石川県調査では小中高とも「1時間程度」が特に多くなっている。(表8)

これら調査結果から、**世話をしている家族が「いる」と回答した生徒について**、国調査でイメージされている家族の世話と比べ、**日常の簡単なお手伝いの範疇を「家族の世話をしている」と誤認した生徒も多分に含まれている可能性**が高い(特に小学6年生)ことが推察される。

特に小学6年生は国調査では質問紙で回答しているのに対し、石川県調査はインターネットのアンケートフォームで回答しており、質問紙であれば次に進んでいった時点で、認識の誤りに気付きやり直すことは容易だが、インターネット調査で数問戻することは小学生にはやや難しく、それら誤認した回答者があてはまる回答がないことから「無回答」を選択した可能性が高い。

父母の状況(表3)や父母の世話をする頻度(表7)、父母の世話をする時間(表8)などからも、ヤングケアラーに該当する小学6年生は調査結果(8.0%)より低いと推察される。

父母の世話の割合が国調査と比べて高いことは、日常のお手伝いなど普段の行いも含めてのことであり、**石川県の子どもたちが自覚を持って家族のお手伝いを日々行っていることの証左**と考えられ、石川県の共働き率が全国より高いことの影響も窺われる。

なお、本県で実施した調査は、国において実施した調査と同様なアンケート内容としており、国調査報告書において同趣旨の記述があるので、以下に引用する。

点線内の記述は、

令和3年度子ども・子育て支援推進調査研究事業

「ヤングケアラーの実態に関する調査研究」報告書（令和4年3月 ㈱日本総合研究所）より引用

世話をしている家族が「いる」と回答した人の中には、ケアを要する家族がいる訳ではない人や、大人が担うようなケア責任を引き受けているとまでは言えない、いわば子どもが行う範囲内の「お手伝い」として家事や家族の世話をしている人が一定数含まれていると推測されることから、「お世話をしている家族が「いる」と回答した人」＝「ヤングケアラー」ではないことに留意する必要がある。

調査票において世話の有無を聞く設問（「家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか」）では、「ここで「お世話」とは普通大人が行うような家事や家族のお世話を指す」との注記を付けているが、それに該当しない人（例えば幼い兄弟の遊び相手をする等）も含まれている可能性がある。また、家族の世話をしているとする回答の中には、病気や障がい、あるいは幼いといったケアを要する理由がない場合（例えば両親が共働きで多忙であるため家事を行っているケース等）が含まれている。こうした家事を担う子どもをヤングケアラー、若者ケアラーに含めるかどうかはあいまいな部分があり、今後議論が進むことが期待される。

また、同報告書では、

ヤングケアラーの支援の現場では、支援者の立場からは子どもの権利が守られていないと判断しうる事例でも、本人にその自覚がない場合があるとされていることから、ヤングケアラーの自覚があると回答した人の割合以上に支援を必要とする状況にある子どもがいる可能性についても留意が必要である。

とも述べており、本県においても、同様に留意する必要がある。

<参考> 共働き率（R2国勢調査）

- ・石川県の共働き率は全国より高い。
- ・子どもがいる家庭の共働き率が高い。

	全世帯	子どもがいない	子どもがいる
石川県	57.9%	43.2%	68.6%
全国	51.6%	39.9%	60.6%

■世話をしている家族がいる子ども（表1）

	小学6年生	中学2年生	高校2年生
石川県	8.0% (答えたくない2.5%)	5.0% (答えたくない2.1%)	3.2% (答えたくない2.4%)
国	6.5%	5.7% (無回答0.6%)	4.1% (無回答0.9%)

■子どもが世話をしている父母の割合（表2）

	小学6年生	中学2年生	高校2年生
石川県	母 42.6% 父 30.5% (無回答5.1%)	30.4% (無回答8.9%)	32.3% (無回答11.1%)
国	母 19.8% 父 13.2% (無回答5.7%)	23.5% (無回答9.4%)	29.6% (無回答8.8%)

■子どもが世話をしている父母の状況（表3）

	小学6年生 注)「父母のみ」世話している方	中学2年生	高校2年生
石川県	①高齢 3.4% ①身体障害 3.4% ③介護が必要 2.3% ③日本語が苦手 2.3% (無回答 34.1%)	①高齢 26.2% ②知的障害 6.2% ②依存症 6.2% ④要介護 4.6% (無回答 53.8%)	①高齢 18.8% ①身体障害 18.8% ③要介護 15.6% (無回答 25.0%)
国	①日本語が苦手 10.9% ②こころの病気 8.7% ②身体障害 8.0% ④高齢 5.1% (無回答 15.2%)	①身体障害 20.0% ②精神疾患・依存症 17.3% ③高齢 13.3% ④以外の病気 12.0% (無回答 32.0%)	①身体障害 15.4% ②精神疾患・依存症 14.3% ③高齢 13.2% ④要介護 9.9% (無回答 37.4%)

■父母の世話の内容（表4）

	小学6年生 注)「父母のみ」世話している方	中学2年生	高校2年生
石川県	①家事 36.4% ②買物や散歩と一緒にいく 18.2% ③話を聞く 18.2% ④見守り 12.5% ⑤お金の管理 4.5% (無回答 40.9%)	①家事 56.9% ②外出の付き添い 29.2% ③見守り 15.4% ④感情面のサポート7.7% (無回答 29.2%)	①家事 53.1% ②外出の付き添い 21.9% ③見守り 18.8% ④感情面のサポート12.5% (無回答 18.8%)
国	①家事 50.0% ②買い物や散歩と一緒にいく 18.9% ③話を聞く 17.6% ④病院へ一緒にいく13.5% ⑤入浴やトイレの世話8.1% ⑥見守り 8.1% ⑦お金の管理 8.1% (無回答 18.9%)	①家事 73.3% ②外出の付き添い 38.7% ③見守り 24.0% (無回答 9.3%)	①家事 68.1% ②外出の付き添い 26.4% ③感情面のサポート17.6% (無回答 13.2%)

■父母の世話をすることの大変さ（きつさ）（表5）

	小学6年生 注)「父母のみ」世話している方	中学2年生	高校2年生
石川県	①体力の面で大変 10.2% ②気持ちの面で大変 9.1% ③時間の余裕がない 5.7% 特に大変さを感じていない 43.2% (無回答 38.6%)	①時間的余裕がない 9.2% ②精神的にきつい 7.7% ③身体的にきつい 6.2% 特にきつさを感じていない 56.9% (無回答 26.2%)	①時間的余裕がない 12.5% ②精神的にきつい 9.4% ③身体的にきつい 6.3% 特にきつさを感じていない 62.5% (無回答 12.5%)
国	①体力の面で大変 18.9% ②気持ちの面で大変 17.6% ③時間の余裕がない 17.6% 特に大変さを感じていない 45.9% (無回答 12.2%)	①精神的にきつい 20.7% ②時間的余裕がない 19.0% ③身体的にきつい 10.6% 特にきつさを感じていない 43.6% (無回答 22.9%)	

■父母を一緒に世話する人（表6）

	小学6年生 注)「父母のみ」世話している方	中学2年生	高校2年生
石川県	①母親 35.2% ②父親 23.9% ③兄弟・姉妹 15.9% (無回答 44.3%)	①母親 59.3% ②父親 46.7% ③兄弟・姉妹 33.2% (無回答 27.7%)	①母親 58.6% ②父親 35.4% ③兄弟・姉妹 27.3% (無回答 18.8%)
国	①兄弟・姉妹 35.1% ②母親 29.7% ③父親 27.0% (無回答 21.6%)	①母親 58.3% ②父親 35.7% ③兄弟・姉妹 35.7% (無回答 14.1%)	①母親 52.1% ③兄弟・姉妹 34.5% ②父親 28.3% (無回答 16.3%)

■父母の世話をする頻度（表7）

	小学6年生 注)「父母のみ」世話している方	中学2年生	高校2年生
石川県	ほぼ毎日 20.5% 週に3～5日 10.2% 週に1～2日 15.9% (無回答 20.5%)	ほぼ毎日 16.9% 週に3～5日 20.0% 週に1～2日 20.0% (無回答 27.7%)	ほぼ毎日 31.3% 週に3～5日 18.8% 週に1～2日 18.8% (無回答 18.8%)
国	ほぼ毎日 29.7% 週に3～5日 12.2% 週に1～2日 25.7% (無回答 13.5%)	ほぼ毎日 37.3% 週に3～5日 14.7% 週に1～2日 17.3% (無回答 17.3%)	ほぼ毎日 38.5% 週に3～5日 18.7% 週に1～2日 6.6% (無回答 25.3%)

■父母の世話をする時間（表8）

	小学6年生 注)「父母のみ」世話している方	中学2年生	高校2年生
石川県	1時間程度 37.5% 2時間程度 8.0% 3～6時間 9.1% 7時間以上 3.4% (無回答 42.0%)	1時間程度 47.7% 2時間程度 15.4% 3～6時間 4.6% 7時間以上 3.1% (無回答 29.2%)	1時間程度 46.9% 2時間程度 12.5% 3～6時間 18.8% 7時間以上 3.1% (無回答 18.8%)
国	3時間未満 68.9% 3～6時間 9.5% 7時間以上 0.0% (無回答 21.6%)	3時間未満 45.3% 3～6時間 12.0% 7時間以上 9.3% (無回答 33.3%)	3時間未満 26.4% 3～6時間 18.7% 7時間以上 5.5% (無回答 49.5%)

②ヤングケアラーの自覚がある子どもについて

石川県調査では、自身がヤングケアラーに「あてはまる」と回答している生徒の割合は、中学2年生で1.6%（回答数69人、母数4,294人）、高校2年生で1.4%（回答数45人、母数3,114人）となっている。

回答数が多くはないため、分析・考察は限られるが、以下において国調査との比較を試みる。なお、国調査結果（R2年※）では、中学2年生と高校2年生の「あてはまる」と回答した生徒の回答を合算（回答数288人）して調査結果を取りまとめており、国調査結果との比較を行うため、石川県調査結果も同様に合算（回答数114人）した上で比較を行う。

（表2～表11）

自身がヤングケアラーに「あてはまる」と回答した生徒の割合は、中学2年生・高校2年生とも国調査を下回っている。（表1）

「あてはまる」と回答した生徒の健康状態（表2）、学校生活（表3）、現在の悩みや困りごと（表4）に関しては、国調査と比較して石川県調査の方が、全般的に世話の負担感が低い傾向が見られる。この傾向は、世話をする頻度（表5）や世話に費やす時間（表6）、世話による制約（表7）や世話をする事のきつさ（表8）についても同様となっている。

一方で、一緒に世話をする人（表9）は、国調査と石川県調査で傾向は変わらないが、世話に関する相談をする（表10）割合は国調査と比べ低くなっている。学校や周りの大人に助けてほしいこと（表11）でも、「特にない」と回答した割合は石川県調査の方が高い。

こうした比較から、石川県調査で「あてはまる」と回答した生徒については、国調査で「あてはまる」と回答した生徒と比べ、日常のお手伝いの範疇をヤングケアラーに「あてはまる」と認識している生徒も一部含まれている可能性が高いことが推察される。

以上に加えて留意すべき点は、**自身がヤングケアラーかどうか「わからない」と回答した生徒では**、「あてはまる」と回答した生徒よりも健康状態（表2）や学校生活（表3）、現在の悩みや困りごと（表4）、世話による制約（表7）、世話をする事のきつさ（表8）などで、**総じて世話の負担感が高い傾向**が見られることである。

「わからない」と回答した生徒は、世話をする頻度（表5）や世話に費やす時間（表6）は、「あてはまる」と回答した生徒を下回っており、**自覚はしていないが実はヤングケアラーという生徒が、全てではないが、一部含まれている可能性**が考えられる。

「わからない」と回答した生徒は、自身がヤングケアラーだと自覚していない分、過度に日常生活の一部として家族の世話を負担している可能性があり、また、自覚がない分、問題は深刻なものである可能性についても留意する必要がある。

こうしたことから、生徒にいま以上にヤングケアラーに対する認知・理解を高め、自分が他と違う環境であることを認識し、負担軽減に向け気軽に相談できる体制を構築していくことが肝要と思われる。

※令和2年度子ども・子育て支援推進調査研究事業

「ヤングケアラーの実態に関する調査研究 報告書」（令和3年3月 三菱UFリサーチ&コンサルティング）

■ヤングケアラーの自己認識（表1）

	「あてはまる」と回答した生徒	「わからない」と回答した生徒
石川県	中学2年生 1.6% 高校2年生 1.4%	中学2年生 8.5% 高校2年生 9.2%
国	中学2年生 1.8% 高校2年生※ 2.3%	中学2年生 12.5% 高校2年生※ 16.3%

※全日制高校

■健康状態（表2）

	「あてはまる」と回答した生徒	「わからない」と回答した生徒
石川県	よい・まあよい 72.8% あまりよくない・よくない 7.9%	よい・まあよい 64.1% あまりよくない・よくない 8.6%
国	よい・まあよい 57.3% あまりよくない・よくない 16.7%	よい・まあよい 60.3% あまりよくない・よくない 7.3%

■普段の学校生活等であてはまること（表3）

	「あてはまる」と回答した生徒	「わからない」と回答した生徒
石川県	①授業中に居眠りすることが多い 30.7% ②宿題や課題ができていないことが多い 24.6% ③持ち物の忘れ物が多い 22.8% ※特にない 48.2%	①授業中に居眠りすることが多い 32.8% ②宿題や課題ができていないことが多い 26.1% ③必要な書類の提出が遅れることが多い 22.5% ※特にない 45.1%
国	①授業中に居眠りすることが多い 41.7% ②宿題や課題ができていないことが多い 25.7% ③持ち物の忘れ物が多い 24.0% ※特にない 31.3%	①授業中に居眠りすることが多い 34.3% ②宿題や課題ができていないことが多い 20.8% ③持ち物の忘れ物が多い 19.6% ※特にない 43.1%

■現在の悩みや困りごと（表4）

	「あてはまる」と回答した生徒	「わからない」と回答した生徒
石川県	①学業成績のこと 32.5% ②進路のこと 29.8% ③部活動のこと 18.4% ※特にない 41.2%	①学業成績のこと 36.7% ②進路のこと 35.3% ③部活動のこと 16.1% ※特にない 40.0%
国	①進路のこと 52.8% ②学業成績のこと 47.2% ③友人との関係のこと 23.3% ※特にない 16.7%	①進路のこと 47.5% ②学業成績のこと 35.3% ③友人との関係のこと 18.5% ※特にない 33.2%

■世話をする頻度（表5）

	「あてはまる」と回答した生徒	「わからない」と回答した生徒
石川県	ほぼ毎日 52.3% 週に3～5日 18.2% 週に1～2日 13.6% (無回答 4.5%)	ほぼ毎日 35.6% 週に3～5日 17.8% 週に1～2日 18.8% (無回答 13.9%)
国	ほぼ毎日 63.2% 週に3～5日 14.2% 週に1～2日 11.3% (無回答 1.9%)	ほぼ毎日 47.9% 週に3～5日 17.6% 週に1～2日 13.0% (無回答 11.3%)

■世話に費やす時間（表6）

	「あてはまる」と回答した生徒	「わからない」と回答した生徒
石川県	1時間程度 40.9% 2時間程度 18.2% 3～6時間 29.5% 7時間以上 4.5% (無回答 6.8%)	1時間程度 44.6% 2時間程度 18.8% 3～6時間 14.9% 7時間以上 3.0% (無回答 18.8%)
国	3時間未満 31.1% 3～6時間 35.8% 7時間以上 21.7% (無回答 11.3%)	3時間未満 35.7% 3～6時間 25.2% 7時間以上 13.0% (無回答 26.1%)

■世話による制約（表7）

	「あてはまる」と回答した生徒	「わからない」と回答した生徒
石川県	①自分の時間が取れない 15.9% ②宿題や勉強する時間が取れない 11.4% ※特にない 63.6%	①自分の時間が取れない 16.8% ②宿題や勉強する時間が取れない 15.8% ③睡眠が十分に取れない 11.9% ※特にない 57.4%
国	①自分の時間が取れない 33.0% ②宿題や勉強する時間が取れない 29.2% ③睡眠が十分に取れない 24.5% ③友人と遊ぶことができない 24.5% ※特にない 39.6%	①自分の時間が取れない 22.3% ②宿題や勉強する時間が取れない 16.4% ③友人と遊ぶことができない 13.4% ※特にない 54.6%

■世話をすることに感じているきつさ（表8）

	「あてはまる」と回答した生徒	「わからない」と回答した生徒
石川県	①時間的余裕がない 11.5% ②精神的にきつい 11.4% ②身体的にきつい 11.4% ※特にきつさは感じていない 63.6%	①時間的余裕がない 18.8% ②精神的にきつい 16.8% ②身体的にきつい 7.9% ※特にきつさは感じていない 63.4%
国	①時間的余裕がない 38.7% ②精神的にきつい 37.7% ③身体的にきつい 18.9% ※特にきつさは感じていない 34.0%	①精神的にきつい 23.1% ②時間的余裕がない 17.2% ③身体的にきつい 7.1% ※特にきつさは感じていない 55.9%

■一緒に世話する人（表9）

	「あてはまる」と回答した生徒	「わからない」と回答した生徒
石川県	①母親 65.9% ②父親 38.6% ③兄弟・姉妹 27.3%	①母親 56.4% ②父親 40.6% ③兄弟・姉妹 26.7%
国	①母親 60.4% ②父親 38.7% ③兄弟・姉妹 35.8%	①母親 53.4% ②兄弟・姉妹 31.5% ③父親 29.8%

■世話に関しての相談の有無（表10）

	「あてはまる」と回答した生徒	「わからない」と回答した生徒
石川県	ある 22.7%	ある 22.8%
国	ある 37.7%	ある 22.7%

■学校や周りの大人に助けてほしいこと（表11）

	「あてはまる」と回答した生徒	「わからない」と回答した生徒
石川県	①家族の世話について相談に乗ってほしい 15.9% ②自分のいまの状況について話を聞いてほしい 11.4% ②学校の勉強や受験勉強など学習のサポート 11.4% ※特にない 61.4%	①自分のいまの状況について話を聞いてほしい 15.8% ②学校の勉強や受験勉強など学習のサポート 14.9% ③進路や就職など将来の相談に乗ってほしい 10.9% ※特にない 52.5%
国	①学校の勉強や受験勉強など学習のサポート 34.9% ①自由に使える時間がほしい 34.9% ③自分のいまの状況について話を聞いてほしい 26.4% ※特にない 25.5%	①自由に使える時間がほしい 20.6% ②学校の勉強や受験勉強など学習のサポート 14.7% ③自分のいまの状況について話を聞いてほしい 13.0% ※特にない 42.0%

添付資料（調査票）

小学生のふだんのくらしのアンケート

答えたくない質問には答えず、次の質問に進んでもかまいません。アンケートは名前を書きませんので、だれが答えたかわからないようになっています。安心してお答えください。（アンケートにかかる時間は10～15分ほどです。）

*必須

1. あなたの性別を教えてください。

1つだけマークしてください。

男性

女性

答えたくない

その他: _____

2. いま住んでいる市町を教えてください。

1つだけマークしてください。

- 金沢市（かなざわし）
- 七尾市（ななおし）
- 小松市（こまつし）
- 輪島市（わじまし）
- 珠洲市（すずし）
- 加賀市（かがし）
- 羽咋市（はくいし）
- かほく市
- 白山市（はくさんし）
- 能美市（のみし）
- 野々市市（ののいちし）
- 川北町（かわきたまち）
- 津幡町（つばたまち）
- 内灘町（うちなだまち）
- 志賀町（しかまち）
- 宝達志水町（ほうだつしみずちょう）
- 中能登町（なかのとまち）
- 穴水町（あなみずまち）
- 能登町（のとちょう）

3. あなたがいっしょに住んでいるのは誰（だれ）ですか。（あてはまるものすべて）

当てはまるものをすべて選択してください。

- お母さん
- お父さん
- おばあさん
- おじいさん
- 兄・姉
- 弟・妹
- その他: _____

4. あなたの健康状態（けんこうじょうたい）について教えてください。

1つだけマークしてください。

- よい
- まあよい
- ふつう
- あまりよくない
- よくない

◎ここからはふだんの生活についてお聞きします。

5. あなたは学校を欠席したりすることがありますか。

1つだけマークしてください。

- ほとんど欠席しない
- たまに欠席する
- よく欠席する

6. 遅刻（ちこく）や早退（そうたい）をすることはありますか。

1つだけマークしてください。

- ほとんどしない
- たまにする
- よくする

7. 放課後、習い事などをしてありますか

1つだけマークしてください。

- している
- していない

8. ふだんの学校生活などにおいて、以下（いか）の中であてはまるものはありますか。（あてはまるものすべて）

当てはまるものをすべて選択してください。

- 授業中に寝（ね）てしまうことが多い
- 宿題ができていないことが多い
- 持ち物の忘れ物（わすれもの）が多い
- 習い事を休むことが多い
- 提出物を出すのが遅（おく）れることが多い
- 修学旅行などの宿泊行事（しゅくはくぎょうじ）を欠席（けっせき）する
- 保健室ですごくことが多い
- 学校では1人ですごくことが多い
- 友だちと遊んだりおしゃべりしたりする時間が少ない
- 特にない

9. あなたが悩（なや）んでいることはありますか。（あてはまるものすべて）

当てはまるものをすべて選択してください。

- 友達のこと
- 学校の成績のこと
- 習い事のこと
- 家族のこと
- 生活や勉強に必要なお金のこと
- 自分のために使える時間が少ないこと
- 特にない
- その他: _____

10. 悩（なや）んでいることについて、話を聞いてくれる人はいますか。

1つだけマークしてください。

- いる
- いない
- 話はしたくない

◎ここからは家庭や家族のことについてお聞きします。

11. 家族の中に、あなたがお世話をしている人はいますか。（ここで「お世話」*とは、ふつう大人がおこなうような家事や家族のお世話をすることをさします。）

1つだけマークしてください。

- いる
- いない
セクション7（これでアンケートは終わりです。ご協力いただきありがとうございました。※「送信ボタン」を押してください。）にスキップ
- 答えたくない
セクション7（これでアンケートは終わりです。ご協力いただきありがとうございました。※「送信ボタン」を押してください。）にスキップ

お世話をしている人がいる方

12. あなたがお世話をしている人はどなたですか。（あてはまる人すべて）

当てはまるものをすべて選択してください。

- お母さん
- お父さん
- おばあさん
- おじいさん
- 兄弟・姉妹
- その他: _____

13. お母さん、あるいはお父さんをお世話している人にお聞きします。それはどのような理由からですか。（あてはまるものすべて）

当てはまるものをすべて選択してください。

- 高齢（こうれい）（65才以上）
- 介護（かいご：食事や身のまわりのお世話のこと）が必要
- 認知症（にんちしょう）
- 身体障がい（しんたいしょうがい）
- 知的障がい（ちてきしょうがい）
- こころの病気 ※疑い（うたがい） ふくむ
- 依存症（いぞんしょう：お酒やギャンブルなどをやめられず、生活に問題をかかえている） ※疑い（うたがい） ふくむ
- こころの病気や依存症（いぞんしょう）以外の病気
- 日本語が苦手
- わからない
- その他: _____

14. おばあさん、あるいはおじいさんをお世話している人にお聞きします。それはどのような理由からですか。（あてはまるものすべて）

当てはまるものをすべて選択してください。

- 高齢（こうれい）（65才以上）
- 介護（かいご：食事や身のまわりのお世話のこと）が必要
- 認知症（にんちしょう）
- 身体障がい（しんたいしょうがい）
- 知的障がい（ちてきしょうがい）
- こころの病気 ※疑い（うたがい） ふくむ
- 依存症（いぞんしょう：お酒やギャンブルなどをやめられず、生活に問題をかかえている） ※疑い（うたがい） ふくむ
- こころの病気や依存症（いぞんしょう）以外の病気
- 日本語が苦手
- わからない
- その他: _____

15. 兄弟・姉妹をお世話している人にお聞きします。それはどのような理由からですか。（あてはまるものすべて）

当てはまるものをすべて選択してください。

- 若い
- 介護（かいご：食事や身のまわりのお世話のこと）が必要
- 身体障がい（しんたいしょうがい）
- 知的障がい（ちてきしょうがい）
- 病気
- 日本語が苦手
- わからない
- その他: _____

16. 「その他（父母、祖父母、兄弟・姉妹以外）」の人をお世話している人にお聞きします。それはどのような理由からですか。（あてはまるものすべて）

当てはまるものをすべて選択してください。

- 高齢（こうれい）（65才以上）
- 若い
- 介護（かいご：食事や身のまわりのお世話のこと）が必要
- 認知症（にんちしょう）
- 身体障がい（しんたいしょうがい）
- 知的障がい（ちてきしょうがい）
- こころの病気 ※疑い（うたがい） ふくむ
- 依存症（いそんしょう：お酒やギャンブルなどをやめられず、生活に問題をかかえている） ※疑い（うたがい） ふくむ
- こころの病気や依存症（いそんしょう）以外の病気
- 日本語が苦手
- わからない
- その他: _____

ここからは、お世話をしている人が何人いる場合も、それぞれの人ごとではなくまとめてお答えください。

17. あなたはどのようなお世話をしていますか。 お世話をしている人が何人かいる場合には、あてはまるものすべて選んでください。

当てはまるものをすべて選択してください。

- 家事（食事の準備や掃除（そうじ）、洗濯（せんたく））
- 兄弟・姉妹のお世話や送りむかえ
- 入浴やトイレのお世話
- 買い物や散歩にいっしょに行く
- 病院へいっしょに行く
- 話を聞く
- 見守り
- 通訳（つうやく：日本語や手話（しゅわ）など）
- お金の管理
- 薬の管理
- その他: _____

18. あなたはお世話を誰（だれ）といっしょにしていますか。 何人かお世話をしている人がいる場合も、あてはまるものすべて選んでください。

当てはまるものをすべて選択してください。

- お母さん
- お父さん
- おばあさん
- おじいさん
- 兄弟・姉妹
- しんせきの人
- 自分のみ
- 福祉（ふくし）サービス（ヘルパーなど）を利用
- その他: _____

19. あなたは何才からお世話をしていますか。（はっきりとわからない場合は、だいたいの年（とし）でかまいません）

1つだけマークしてください。

- 5才以下
- 6才から
- 7才から
- 8才から
- 9才から
- 10才から
- 11才から
- 12才から

20. あなたはどのくらいお世話をしていますか。

1つだけマークしてください。

- ほぼ毎日
- 週に3～5日
- 週に1～2日
- 1か月に数日（すうじつ）
- その他: _____

21. あなたは平日（へいじつ）何時間くらいお世話をしていますか。※日によってちがう場合は、この1か月でいちばん長かった日の時間を教えてください。

1つだけマークしてください。

- 1日1時間くらい
- 1日2時間くらい
- 1日3時間くらい
- 1日4時間くらい
- 1日5時間くらい
- 1日6時間くらい
- 1日7時間くらい
- 1日8時間くらい
- 1日9時間くらい
- 1日10時間くらい
- 1日11時間くらい
- 1日12時間くらい
- 1日13時間くらい
- 1日14時間くらい
- 1日15時間くらい
- 1日16時間くらい
- 1日17時間くらい
- 1日18時間くらい
- 1日19時間くらい
- 1日20時間以上

22. お世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか。（あてはまるものすべて）

当てはまるものをすべて選択してください。

- 学校を休んでしまう
- 遅刻（ちこく）や早退（そうたい）をしてしまう
- 宿題など勉強する時間がない
- 眠（ねむ）る時間がたりない
- 友だちと遊ぶことができない
- 習い事ができない
- 自分の時間がとれない
- 特にない
- その他: _____

23. お世話をすることに大変（たいへん）さを感じていますか。（あてはまるものすべて）

当てはまるものをすべて選択してください。

- 体力の面で大変（たいへん）
- 気持ちの面で大変（たいへん）
- 時間の余裕（よゆう）がない
- 特に大変（たいへん）さは感じていない

24. あなたがお世話をしている家族のことや、お世話の悩み（なやみ）について、誰（だれ）かに相談したことはありますか。

1つだけマークしてください。

- ある
- ない 質問 26 にスキップします
- 答えたくない 質問 30 にスキップします

悩み（なやみ）など、誰か（だれか）に相談したことがある方

25. 相談した人は誰（だれ）ですか。（あてはまる方すべて）

当てはまるものをすべて選択してください。

- 家族（お父さん、お母さん、おじいさん、おばあさん、兄弟・姉妹）
- しんせき（おじ、おばなど）
- 友だち
- 学校の先生（保健室の先生はふくみません）
- 保健室の先生
- スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー
- 病院・医療（いりょう）・福祉（ふくし）サービスの人
- 近所の人
- SNS上での知りあい
- その他: _____

質問 28 にスキップします

悩み（なやみ）など、誰か（だれか）に相談したことがない方

26. 相談していない理由を教えてください。（あてはまるものすべて）

当てはまるものをすべて選択してください。

- 相談するほどの悩み（なやみ）ではないから
- 誰（だれ）に相談するのがよいかわからないから
- 相談できる人がいないから
- 家族のことを話したくないから
- 相談しても何も変わらないから
- その他: _____

27. あなたがお世話をしている家族のことや、お世話の悩み（なやみ）を聞いてくれる人はいますか。

1つだけマークしてください。

- いる
- いない

お世話をしている人がいる方

28. 学校やまわりの大人にしてもらいたいことはありますか。（あてはまるものすべて）

当てはまるものをすべて選択してください。

- 自分のことについて話を聞いてほしい
- 家族のお世話について相談にのってほしい
- 家族の病気や障がい（しょうがい）、お世話のことなどについて、わかりやすく説明してほしい
- 自分がおこなっているお世話のすべてを誰か（だれか）に代わってほしい
- 自分がおこなっているお世話の一部を誰か（だれか）に代わってほしい
- 自由に使える時間がほしい
- 勉強を教えてほしい
- お金の面で支援（しえん）してほしい
- わからない
- 特にない
- その他: _____

29. ひとつ前の質問で「自分のことについて話を聞いてほしい」「家族のお世話について相談にのってほしい」を選んだ人にお聞きします。どのような方法で話を聞いたり相談にのったりしてほしいですか。（あてはまるものすべて）

当てはまるものをすべて選択してください。

- 直接（ちよくせつ）会って
- 電話
- SNS
- 電子（でんし）メール

最後の質問です。

30. 家族のお世話をしている子どものために、必要だと思うことや、学校やまわりの大人にしてもらいたいことを自由に書いてください。

これでアンケートは終わりです。ご協力いただきありがとうございました。
※ [送信ボタン] を押してください。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム

中学生の生活実態に関するアンケート

答えたくない質問には答えず、次の質問に進んでも構いません。アンケートは無記名で行い、個人は特定されませんので安心してご回答ください。（回答時間は10～15分ほどです）

*必須

1. あなたの性別を教えてください。

1つだけマークしてください。

男性

女性

その他: _____

◎中学生と高校生の調査票は冒頭のタイトル以外共通のため、中学生版のみ掲載

2. 現在住んでいる市町を教えてください。

1つだけマークしてください。

- 金沢市
- 七尾市
- 小松市
- 輪島市
- 珠洲市
- 加賀市
- 羽咋市
- かほく市
- 白山市
- 能美市
- 野々市市
- 川北町
- 津幡町
- 内灘町
- 志賀町
- 宝達志水町
- 中能登町
- 穴水町
- 能登町

3. 現在いっしょに住んでいる家族について教えてください。（あてはまるものすべて）

当てはまるものをすべて選択してください。

- 母親
- 父親
- 祖母
- 祖父
- 兄・姉
- 弟・妹
- その他: _____

4. あなたの健康状態について教えてください。

1つだけマークしてください。

- よい
- まあよい
- ふつう
- あまりよくない
- よくない

◎ここからはふだんの生活についてお伺いします。

5. 学校への出席状況について教えてください。

1つだけマークしてください。

- ほとんど欠席しない
- たまに欠席する
- よく欠席する

6. 遅刻や早退の状況について教えてください。

1つだけマークしてください。

- ほとんどしない
- たまにする
- よくする

7. 部活動（学校外での活動を含む）に参加していますか

1つだけマークしてください。

- 参加している
- 参加していない

8. ふだんの学校生活等において、以下の中であてはまるものはありますか。（あてはまるものすべて）

当てはまるものをすべて選択してください。

- 授業中に居眠りすることが多い
- 宿題や課題ができていないことが多い
- 持ち物の忘れ物が多い
- 部活動や習い事を休むことが多い
- 提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い
- 修学旅行などの宿泊行事を欠席する
- 保健室で過ごすことが多い
- 学校では1人で過ごすことが多い
- 友人と遊んだりおしゃべりしたりする時間が少ない
- 特にない

9. 現在、悩んだり困っていることはありますか。（あてはまるものすべて）

当てはまるものをすべて選択してください。

- 友人との関係のこと
- 学業成績のこと
- 進路のこと
- 部活動のこと
- 学費（授業料）など、学校生活に必要なお金のこと
- 塾（通信含む）や習い事ができない
- 家庭の経済的状況のこと
- 自分と家族との関係のこと
- 家族内の人間関係のこと（両親の仲が良くないなど）
- 病気や障がいのある家族のこと
- 自分のために使える時間が少ない
- 特にない
- その他: _____

10. 現在の悩みや困りごとについて、相談に乗ってくれたり、話を聞いてくれる人がいますか。

1つだけマークしてください。

- 相談相手や話を聞いてくれる人がいる
 相談相手や話を聞いてくれる人がいない
 相談や話はしたくない

◎ここからは家庭や家族のことについてお伺いします。

11. 家族の中に、あなたがお世話をしている人はいますか。（ここで「お世話」とは本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などをすることです）*

1つだけマークしてください。

- いる
 いない 質問 26 にスキップします
 答えたくない 質問 26 にスキップします

お世話をしている人がいる方

12. お世話を必要としている方はどなたですか。（あてはまる方すべて）

当てはまるものをすべて選択してください。

- 母親
 父親
 祖母
 祖父
 兄弟・姉妹
 その他: _____

13. お世話を必要としている方の状況を教えてください。（あてはまるものすべて）

当てはまるものをすべて選択してください。

- 高齢（65歳以上）
- 若い
- 要介護（介護が必要な状態）
- 認知症
- 身体障がい
- 知的障がい
- 精神疾患（疑い含む）
- 依存症（アルコール依存症、ギャンブル依存症など）（疑い含む）
- 精神疾患・依存症以外の病気
- その他: _____

14. あなたが行っているお世話の内容を教えてください。（あてはまるものすべて）

当てはまるものをすべて選択してください。

- 家事（食事の準備や掃除、洗濯）
- 兄弟・姉妹の世話や保育所等への送迎など
- 身体的な介護（入浴やトイレのお世話など）
- 外出の付き添い（買い物、散歩など）
- 通院の付き添い
- 感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）
- 見守り
- 通訳（日本語や手話など）
- 金銭管理
- 薬の管理
- その他: _____

これ以降は、お世話を必要としている方が複数いる場合も、それぞれの方ごとではなく一括でお答えください。

15. お世話は誰と行っていますか。(あてはまる方すべて)

当てはまるものをすべて選択してください。

- 母親
- 父親
- 祖母
- 祖父
- 兄弟・姉妹
- 親戚の人
- 自分のみ
- 福祉サービス（ヘルパーなど）を利用
- その他: _____

16. お世話はいつから行っていますか。お世話を始めた年齢をお答えください。
(はっきりとわからない場合は、だいたいの年齢でかまいません)

1つだけマークしてください。

- 5歳以下
- 6歳から
- 7歳から
- 8歳から
- 9歳から
- 10歳から
- 11歳から
- 12歳から
- 13歳から
- 14歳から

注) 本質問のみ、高校生調査で選択肢が異なる

[高校生 選択肢]

- 5歳以下
- 6歳から
- 7歳から
- 8歳から
- 9歳から
- 10歳から
- 11歳から
- 12歳から
- 13歳から
- 14歳から
- 15歳から
- 16歳から
- 17歳から

17. お世話をしている頻度を教えてください。

1つだけマークしてください。

- ほぼ毎日
- 週に3～5日
- 週に1～2日
- 1か月に数日
- その他: _____

18. 平日にお世話はどれくらい行っていますか。時間数をお答えください。

1つだけマークしてください。

- 1日1時間程度
- 1日2時間程度
- 1日3時間程度
- 1日4時間程度
- 1日5時間程度
- 1日6時間程度
- 1日7時間程度
- 1日8時間程度
- 1日9時間程度
- 1日10時間程度
- 1日11時間程度
- 1日12時間程度
- 1日13時間程度
- 1日14時間程度
- 1日15時間程度
- 1日16時間程度
- 1日17時間程度
- 1日18時間程度
- 1日19時間程度
- 1日20時間以上

19. お世話をしていることで、やりたいけど、できていないことはありますか。
(あてはまるものすべて)

当てはまるものをすべて選択してください。

- 学校に行きたくてもいけない
- どうしても学校を遅刻・早退してしまう
- 宿題をする時間や勉強する時間が取れない
- 睡眠が十分に取れない
- 友人と遊ぶことができない
- 部活や習い事ができない、もしくは辞めざるを得なかった
- 進路の変更を考えざるを得ない、もしくは進路を変更した
- 自分の時間が取れない
- 特にない
- その他: _____

20. お世話をすることにきつさを感じていますか。(あてはまるものすべて)

当てはまるものをすべて選択してください。

- 身体的にきつい
- 精神的にきつい
- 時間的余裕がない
- 特にきつさは感じていない

21. お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを誰かに相談したこと *
はありますか。

1つだけマークしてください。

- ある
- ない 質問 23 にスキップします
- 答えたくない 質問 25 にスキップします

悩みなど誰かに相談したことがある方

22. 相談した相手は誰ですか。（あてはまる方すべて）

当てはまるものをすべて選択してください。

- 家族（父、母、祖父、祖母、兄弟・姉妹）
- 親戚（おじ、おばなど）
- 友人
- 学校の先生（保健室の先生以外）
- 保健室の先生
- スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー
- 医師や看護師、その他病院の人
- ヘルパーやケアマネージャー、福祉サービスの人
- 役所や保健センターの人
- 近所の人
- SNS上での知り合い
- その他: _____

質問 25 にスキップします

悩みなど誰かに相談したことがない方

23. 相談していない理由を教えてください。（あてはまるものすべて）

当てはまるものをすべて選択してください。

- 誰かに相談するほどの悩みではない
- 家族以外の人に相談するような悩みではない
- 誰に相談するのがよいかわからない
- 相談できる人が身近にいない
- 家族のここのため話しにくい
- 家族のことを知られたくない
- 家族に対して偏見を持たれたくない
- 相談しても状況が変わるとは思わない
- その他: _____

24. お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを聞いてくれる人はいますか。

1つだけマークしてください。

- いる
 いない

お世話をしている人がいる方

25. 学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援はありますか。（あてはまるものすべて）

当てはまるものをすべて選択してください。

- 自分のいまの状況について話を聞いてほしい
 家族のお世話について相談にのってほしい
 家族の病気や障がい、ケアのことなどについて、わかりやすく説明してほしい
 自分が行っているお世話のすべてを代わってくれる人やサービスがほしい
 自分が行っているお世話の一部を代わってくれる人やサービスがほしい
 自由に使える時間がほしい
 進路や就職など将来の相談にのってほしい
 学校の勉強や受験勉強など学習のサポート
 家庭への経済的な支援
 わからない
 特にない
 その他: _____

全員が回答

最後に、「ヤングケアラー」についてお伺いします。

ヤングケアラーとは、「本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを、日常的に行っていることにより、子ども自身がやりたいことができないなど、子ども自身の権利が守られていないと思われる子ども」のことをいいます。

ヤングケアラーのイメージ例



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている。



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている。



目の離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている。



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている。



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている。



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している。



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている。



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている。



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている。

26. あなた自身は「ヤングケアラー」にあてはまると感じますか。

1つだけマークしてください。

- あてはまる
- あてはまらない
- わからない

27. 「ヤングケアラー」という言葉を、これまでに聞いたことがありましたか。*

1つだけマークしてください。

- 聞いたことがあり、内容も知っている
- 聞いたことはあるが、よく知らない
- 聞いたことはない 質問 29 にスキップします
- 答えたくない 質問 29 にスキップします

「ヤングケアラー」を知っていた方

28. 「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。（あてはまるものすべて）

当てはまるものをすべて選択してください。

- テレビや新聞、ラジオ
- 雑誌や本
- SNSやインターネット
- 広報やチラシ、掲示物
- イベントや交流会など
- 学校
- 友人・知人から聞いた
- その他: _____

全員が回答

29. ヤングケアラーへの支援を広げていくために必要だと思うことや、ご要望などありましたらご記入ください。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム